

白 河 市

子育てしやすい環境づくりを進めるための
アンケート調査報告書（案）

平成31年3月
白河市

目次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象者.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 配布数と回収状況.....	1
6 調査結果の表示方法.....	2
第2章 調査結果.....	3
I. 就学前児童.....	3
1 お住まいの地域について.....	3
2 お子さんご家族の状況について.....	4
3 保護者の方の就労状況について.....	6
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況・利用希望について.....	9
5 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	19
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	25
7 幼児教育・保育無償化について.....	28
8 お子さんの病気の際の対応について.....	29
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	31
10 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	34
11 家庭の子育て、地域の子育て環境について.....	36
II. 小学生.....	54
1 お住まいの地域について.....	54
2 お子さんご家族の状況について.....	55
3 保護者の方の就労状況について.....	57
4 放課後の過ごし方について.....	61
5 お子さんの病気の際の対応について.....	67
6 家庭の子育て、地域の子育て環境について.....	69

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本市では、幼児教育や保育、子育て支援の更なる充実を図り、すべての子どもが尊重され、健やかに成長できる子育て環境の整備を目指すため、平成26年度に計画期間を5年間とする「白河市子ども・子育て計画」を策定いたしました。本調査は、32年度から5年間を計画期間とする第2期計画に、市民の皆様の子育てに関する御意見を反映するため実施したものです。

2 調査対象者

就学前児童、小学生の保護者のうち、無作為に抽出した2,000名（抽出率 51.0%）

【内訳】

就学前児童	小学生	合計
1,000名	1,000名	2,000名

3 調査期間

(1) 調査期間 : 平成30年11月1日(木)～12月5日(水)

4 調査方法

(1) 郵送による配布回収

5 配布数と回収状況

	就学前児童	小学生	全体
配布数	1,000	1,000	2,000
回収数	431	461	892
回収率	43.1%	46.1%	44.6%
無効回答	7	2	9
有効回答数	424	459	883
有効回答率	42.4%	45.9%	44.2%

6 調査結果の表示方法

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n値)を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- クロス集計については、原則として「無回答」を除いています。また、「その他」や回答者数が少なく統計上有意でないと判断した項目などは適宜除外しています。
- クロス集計結果についてのコメントは、回答者数が少なく、統計上有意でないと判断した項目については省略しています。

第2章 調査結果

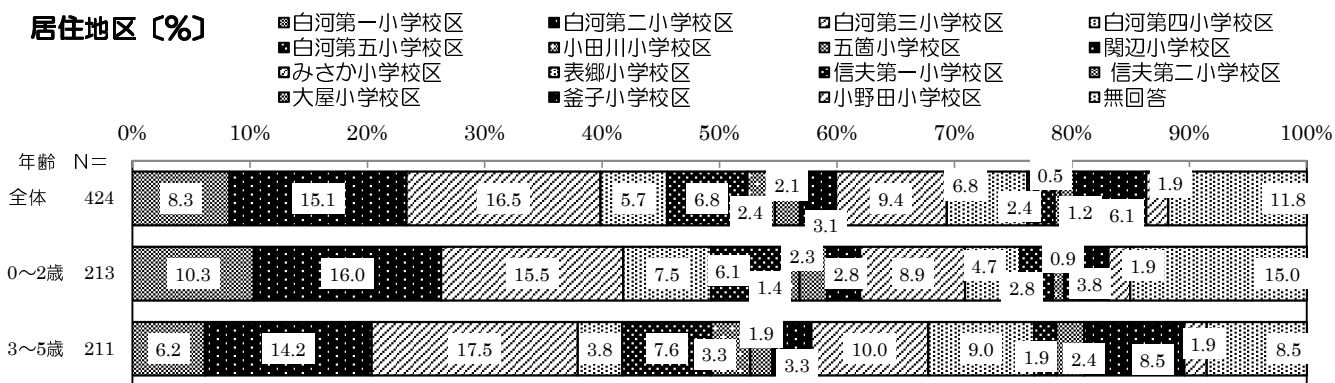
第2章 調査結果

I. 就学前児童

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

最も多い「白河第三小学校区(16.5%)」に対し、最も少ないのは「信夫第二小学校区(0.5%)」となっています。また、「信夫第二小学校区」では3歳～5歳の区分、「大屋小学校区」では0歳～2歳の区分で、回答者が0人となりました。



就学前児童アンケート回答者は問2の年齢別に、以下の通りとなっています。 [人]

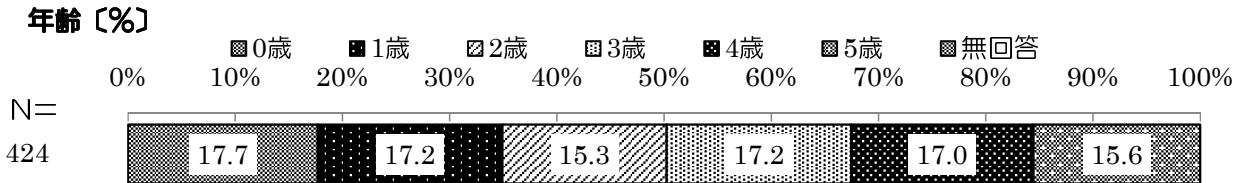
		合計	問2. お子さんの年齢 (質問は生年月)					
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
全体		424	75	73	65	73	72	66
問1. お住まいの地区はどちらですか。	白河第一小学校区	35	5	8	9	4	5	4
	白河第二小学校区	64	14	12	8	6	12	12
	白河第三小学校区	70	10	14	9	15	10	12
	白河第四小学校区	24	4	5	7	2	2	4
	白河第五小学校区	29	6	6	1	12	3	1
	小田川小学校区	10	2	1	0	2	1	4
	五箇小学校区	9	2	3	0	1	1	2
	関辺小学校区	13	3	1	2	1	4	2
	みさか小学校区	40	3	8	8	9	7	5
	表郷小学校区	29	5	2	3	5	5	9
	信夫第一小学校区	10	2	1	3	2	1	1
	信夫第二小学校区	2	1	0	1	0	0	0
	大屋小学校区	5	0	0	0	2	2	1
	釜子小学校区	26	4	3	1	7	10	1
	小野田小学校区	8	1	1	2	0	3	1

※年齢は平成30年4月1日時点で生年月より算出

2 お子さんご家族の状況について

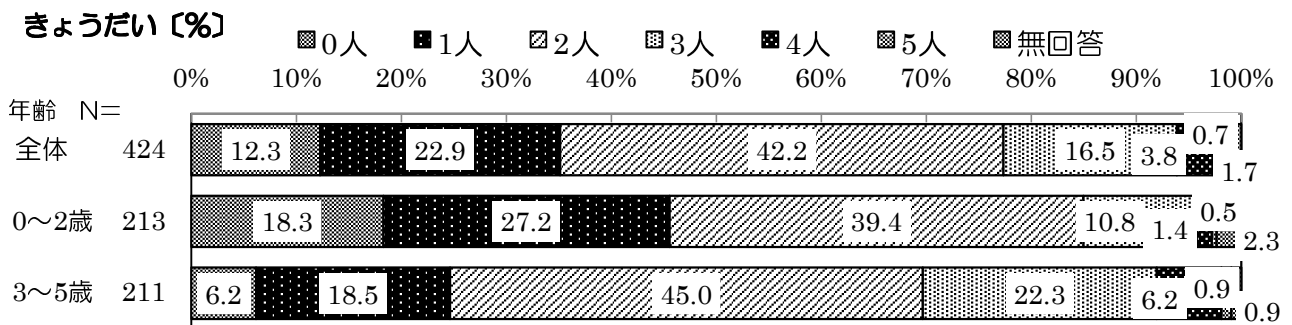
問2 お子さんの年齢を教えてください。(実際の記入は生年月)

アンケートを回答されたお子さんの年齢割合は以下の通りとなっています。ほぼ各年齢均等となっています。



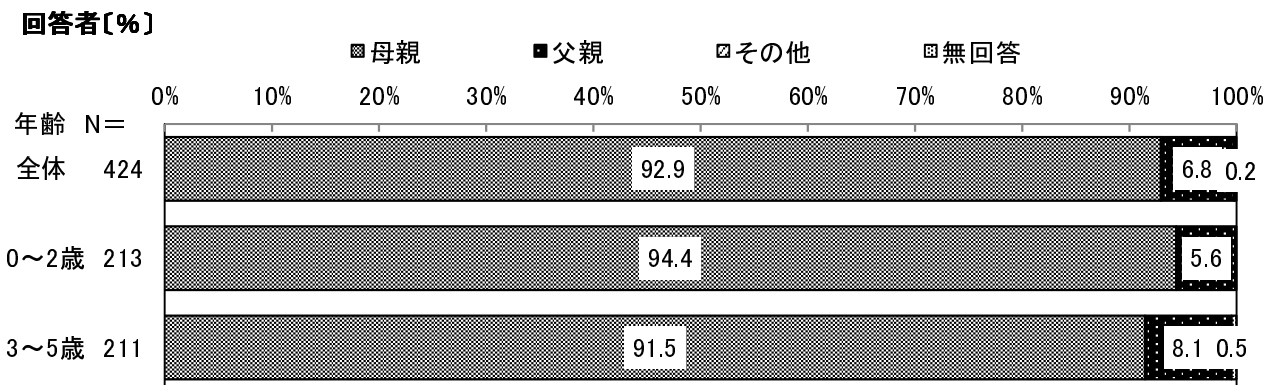
問3 きょうだいの人数と末子の方の年齢(末子の方の実際の記入は生年月)を教えてください。(きょうだいの人数は、調査対象の子を含めた人数)

きょうだいの人数は2人が最も多く、全体の42.2%を占めています。ただし、きょうだい“0人”と回答された方が、全体で12.3%あり、きょうだいの人数については、精査が必要です。今回の調査対象の方が末子の方は141人で、対象の方以外に末子がいる方は107人で、不明が19人です。



問4 ご回答いただく方はどなたですか。

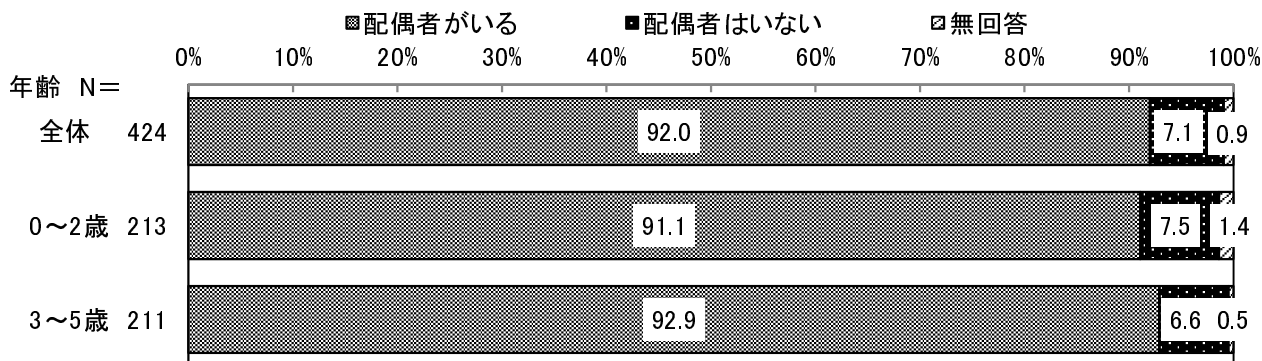
回答された方は、夫婦で子育てをされている家庭でも、母親が回答されています。また、お子さんの年齢が低い方が、母親の回答率(0~2歳:94.4%、3~5歳:91.5%)が高くなっています。



問5 ご回答いただいている方の配偶関係をお答えください。

ひとり親世帯は、全体では7.1%ですが、0~2歳では7.5%と3~5歳の6.6%と比べ高くなっています。

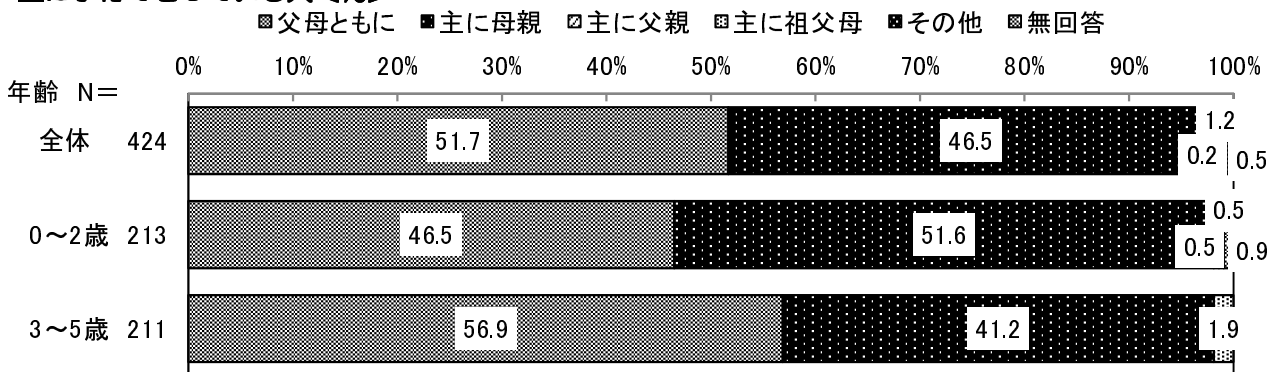
回答者の配偶関係【%】



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。

出産後年齢が低い間は、母親の子育て比率が高く、0~2歳まで母親が主に子育てを行っている比率は51.6%と、3~5歳に比べ10.4%高くなっています。3~5歳になると父母で子育てを行う比率は56.9%と0~2歳に比べ10.4%高くなっています。

主に子育てをしている人【%】



		(人)	合計 (人)	問6. あて名のお子さんの子育て（教育含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。 (%)					
		(人)	(人)	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体		424	424	51.7	46.5	0.2	1.2	0.0	0.5
問2. お子さん 年齢区分	0~2歳	213	213	46.5	51.6	0.5	0.5	0.0	0.9
	3~5歳	211	211	56.9	41.2	0.0	1.9	0.0	0.0

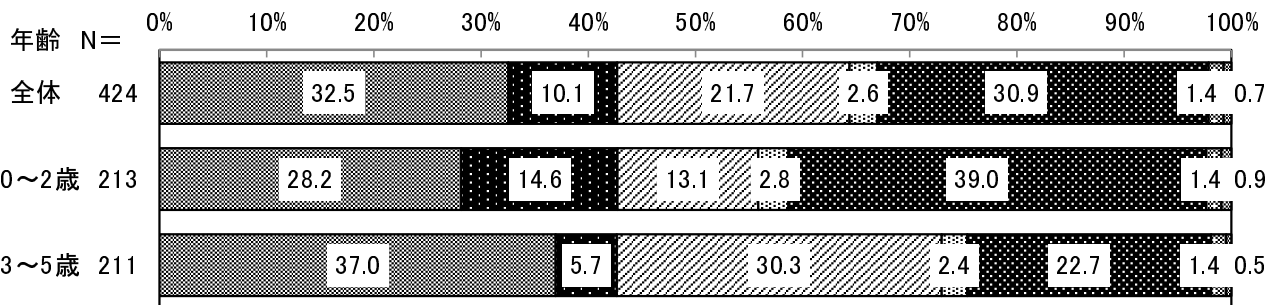
3 保護者の方の就労状況について

問7 保護者の方の就労状況についてお答えください。

母親の就労状況は、0～2歳、3～5歳ともに育休中等の方も含めて、フルタイムで働いている方は、43%弱となっています。ただし育休中等の方は、0～2歳では14.6%と3～5歳（5.7%）の3倍弱となっています。また、「以前就労していたが現在就労していない」方が、0～2歳では39.0%ですが、3～5歳では、22.7%となっていてその差は16.3%です。「パート・アルバイト等で就労して育休中等」でない方は、0～2歳では13.1%で3～5歳では30.3%となり、お子さんの年齢が高くなるにつれて、復職される方が増加していますが、その差が「以前就労していたが現在就労していない」方とほぼ同数の17.2%となっています。

母親の就労状況[%]

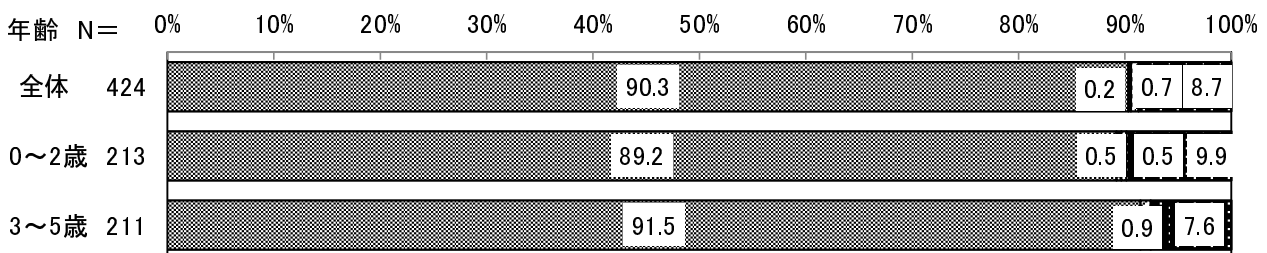
- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



父親の就労状況は全体では「フルタイムでの就労」が90.3%で、「育休中等の方」（0.2%）を加えると、90.5%です。「育休中等の方」は、0～2歳では0.5%で3～5歳ではいらっしゃいません。また、アルバイト・パートタイムで働かれている方は全体の0.7%で3名いらっしゃいます。ただし、就労状況について無回答の方が母親は3名ですが、父親は37名となっています。

父親の就労状況[%]

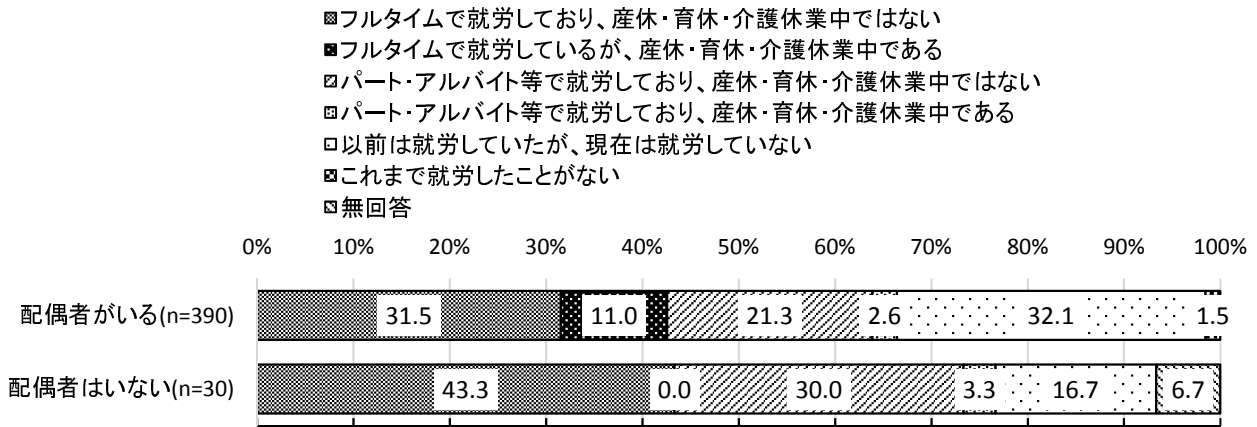
- フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
- ▨パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
- ▨パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



ひとり親世帯（母親）の就労状況では、「フルタイムの就労（育休中等の方含む）」は43.3%と配偶者がいる世帯（42.5%）とあまり差はありませんが、「育休中等の方」は0%と配偶者がいる世帯

(11.0%)と大きな差があります。また、「パート・アルバイト等で就労を続けられている方(育休中等の方含む)」も、配偶者がいる世帯に比べ、9.4%多い状況です。

母親の就労状況 (配偶者有無別) [%]



※ 父親の就労状況 (配偶者有無別) [%]

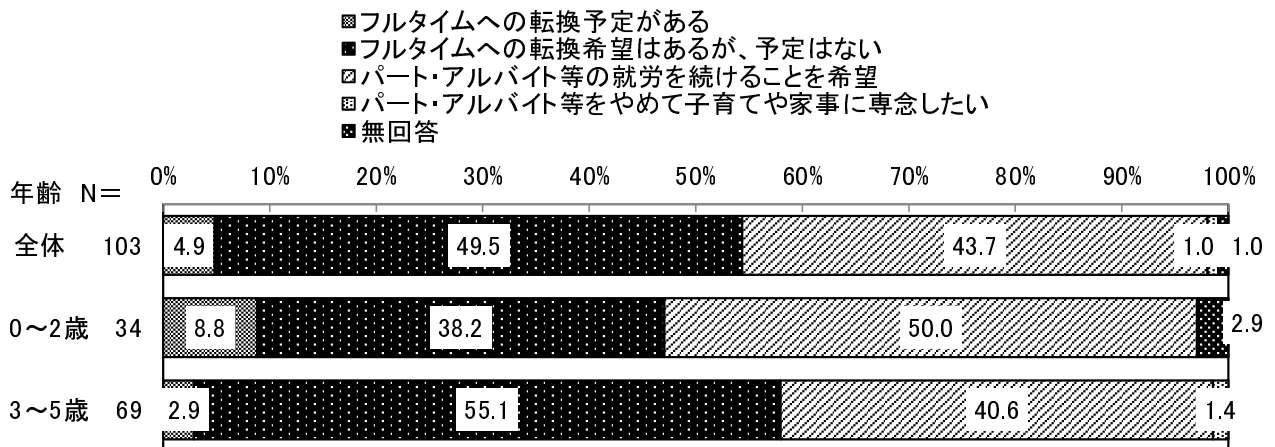
父親のひとり親世帯では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」方が2人、未回答が28人のため、記載を省略します。

問8 問7で「パート・アルバイト等で就労している」とお答えの方のうち、フルタイムへの転換希望はありますか。

母親の「パート・アルバイト等からのフルタイムへの転換希望」は全体で、54.4%と半数以上ですが、「実際に予定がある」方は、4.9%と少なくなっています。「フルタイムへの転換希望」は、3~5歳で58%と0~2歳の47%に比べ高くなっていますが、「実際に予定がある」方は、2.9%と0~2歳の8.8%に比べ低くなっています。

「アルバイト・パート等の就労を希望」されている方は、0~2歳で50%、3~5歳で40.6%とお子さんの年齢が低い方の比率が高くなっています。

パート等の母親/フルタイムへの転換希望 [%]



ひとり親世帯(母親)の「フルタイムへの転換希望」は70.0%と人数は7名ですが、配偶者がいる世帯(49人、54.4%)に比べ、比率は多くなっています。

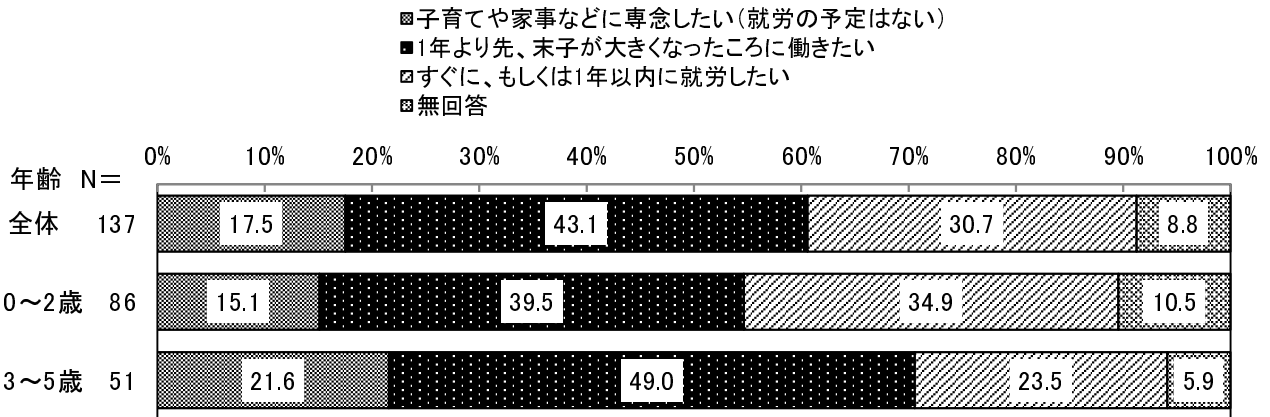
※ **パート等の父親/フルタイムへの転換希望【%】**

父親のフルタイムへの転換希望は全体で3名で、全員「転換希望はあるが、予定はない」でした。人数が少ないため結果記載は省略します。

問9 問7で「就労していない・就労したことがない」とお答えの方にはうかがいます。就労希望はありますか

未就労の方に就労希望をうかがったところ全体で、73.8%の方が「就労希望」を持っています。ただし、「育児や家事に専念したい」と回答された方が、0~2歳の方は15.1%なのに対し、3~5歳では21.6%で、また、「すぐにもしくは1年以内に就労したい」と回答された方は、0~2歳で34.9%あるのに対し、3~5歳では23.5%と低い傾向です。

未就労の母親/就労希望【%】



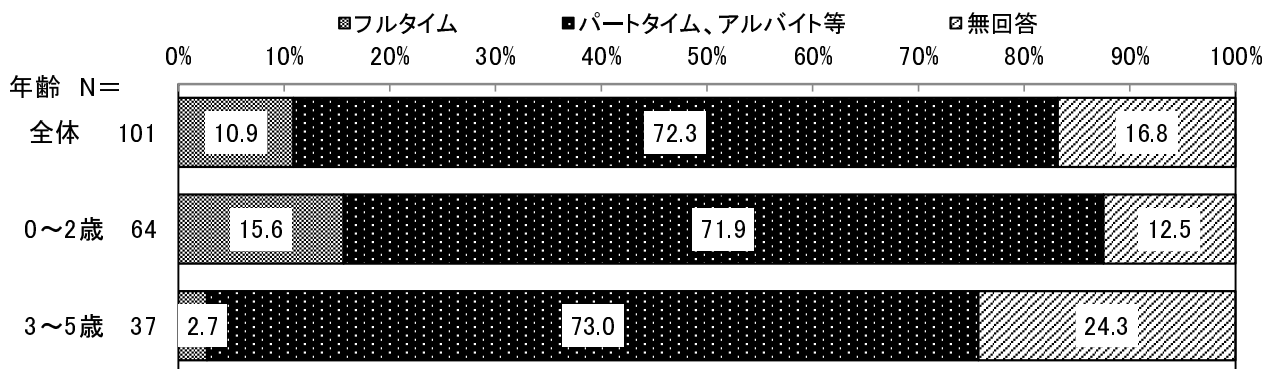
※ **未就労の父親/就労希望【%】**

父親の当設問の該当者は0人でした。そのため結果記載は省略します。

問9-1 問9で「就労したい」とお答えの方にはうかがいます。希望する就労形態をお答えください。

未就労の方で就労を希望されている方の希望就労形態ですが、「フルタイムを希望」されている方は、0~2歳では15.6%いらっしゃるのに対し、3~5歳では2.7%と大幅に低くなっています。ただし、3~5歳では無回答の方も24.3%いらっしゃり、就労を迷われている状況も伺えます。希望日数(週あたり)は3日~5日で93.8%(無回答除く)、1日の時間は、4時間~5時間で63.8%を占めています。

就労したい母親/希望する就労形態【%】



※ 就労したい父親/希望する就労形態【%】

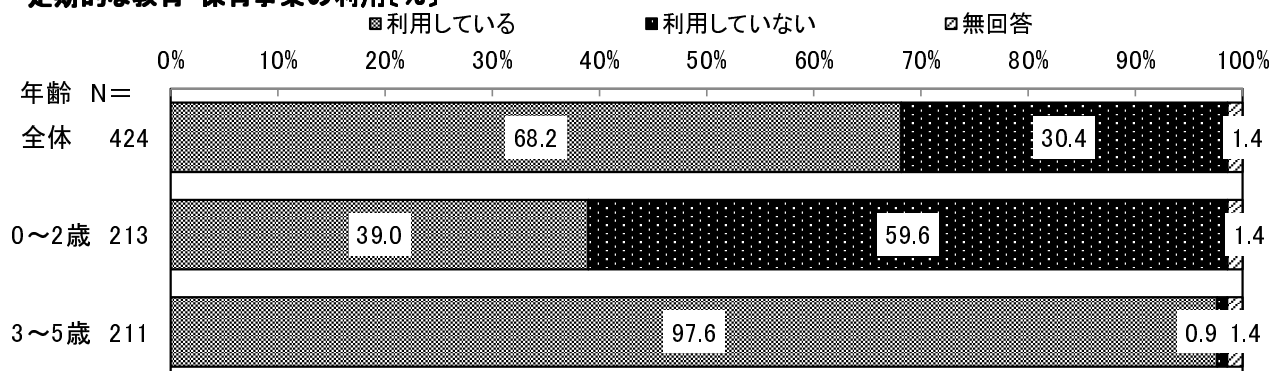
父親の当設問の該当者は0人でした。そのため結果記載は省略します。

4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況・利用希望について

問 10 幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

定期的な教育・保育事業の利用状況は、0~2歳では39.0%ですが、3~5歳では97.6%となっています。

定期的な教育・保育事業の利用【%】

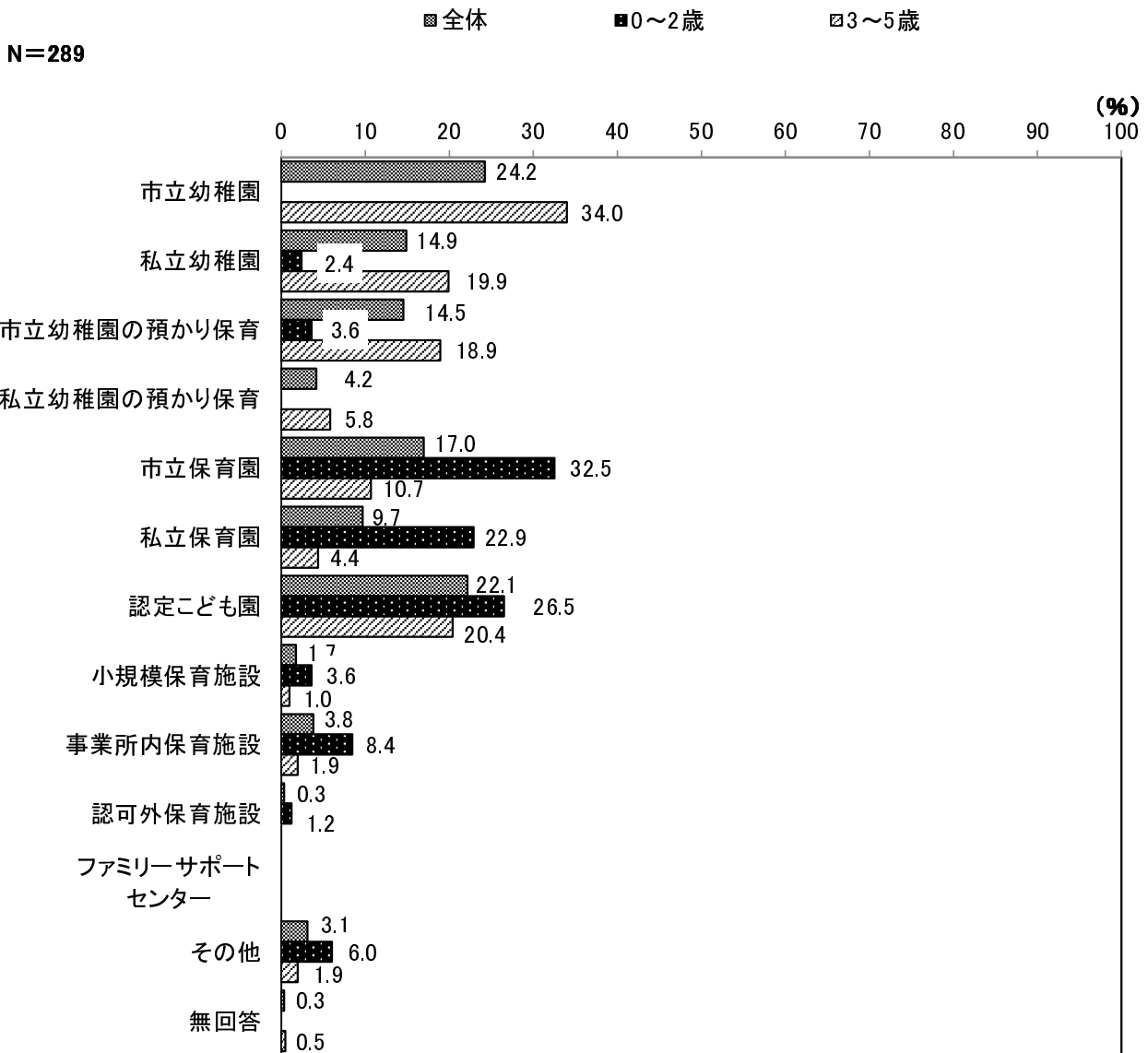


問 10-1 平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。(複数回答)

平日に利用している教育・保育事業は、0~2歳では、「市立保育園」が最も多く、32.5%となっています。次に「認定こども園」の利用が26.5%と「私立保育園」の22.9%より多くなっています。3~5歳では、「市立幼稚園」の利用が34%と最も多く、保育利用では「認定こども園(20.4%)」と「市立幼稚園の預かり保育(18.9%)」がほぼ同数となっています。「市立幼稚園・保育園」と「私立幼稚園・保育園」の利用では、それぞれの利用形態で、10%前後「市立幼稚園・保育園」の利用率が高くなっています。その他では、児童発達支援施設が5人です。

ただし、ひとり親世帯では、「私立幼稚園・保育園」利用が合わせて8.7%、「市立幼稚園・保育園」の利用を上回っています。

利用者/教育・保育事業〔%・複数回答〕



問 10-2 問 10 で利用しているとお答えになった教育・保育の事業を現在どれくらい利用していますか。希望としてはどれくらい利用したいですか。

1日当たりの利用時間は「7～9時間」が最も多く、44.6%でした。週内での利用日数は「5日」が最も多く、50.5%ですが、「6日」利用されている方も8.0%います。週内の総利用時間数は、「21時間～40時間」が多く53.7%ですが、「41時間以上」の方も15.2%います。

また、利用希望では1日「7～9時間」の希望が42.4%ですが、ひとり親世帯では、「7～9時間」を希望する世帯は60.9%です。週の中での利用日数は、「5日」の希望が86.5%と最も多く、ひとり親世帯では78.3%と少ないですが、13.0%が「不明・無回答」です。週の希望総利用時間では、「21～40時間」を希望されている方が54.0%で、「41時間以上」の希望は13.6%ですが、ひとり親世帯では、34.8%の方が、「41時間以上」を希望されています。

①1日利用時間(n=289)

時間／日	%
～3時間	1.0
～6時間	33.6
～9時間	44.6
不明・無回答	20.8

②週内利用日数(n=289)

日／週	%
3日	0.7
4日	2.1
5日	50.5
6日	8.0
不明・無回答	38.8

③週内利用時間数(n=289)

時間／週	%
～20時間	10.0
～30時間	26.0
～40時間	27.7
41時間～	15.2
不明・無回答	21.2

④1日希望利用時間

	配偶者あり (%)	配偶者なし (%)	合計 (%)
～3時間	1.1%	0.0%	1.0%
～6時間	36.2%	4.3%	33.7%
～9時間	40.8%	60.9%	42.4%
不明・無回答	21.9%	34.8%	22.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

⑤週内希望利用日数

	配偶者あり (%)	配偶者なし (%)	合計 (%)
3日	2.3%	4.3%	2.4%
4日	4.2%	4.3%	4.2%
5日	87.2%	78.3%	86.5%
6日	2.3%	0.0%	2.1%
不明・無回答	4.2%	13.0%	4.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

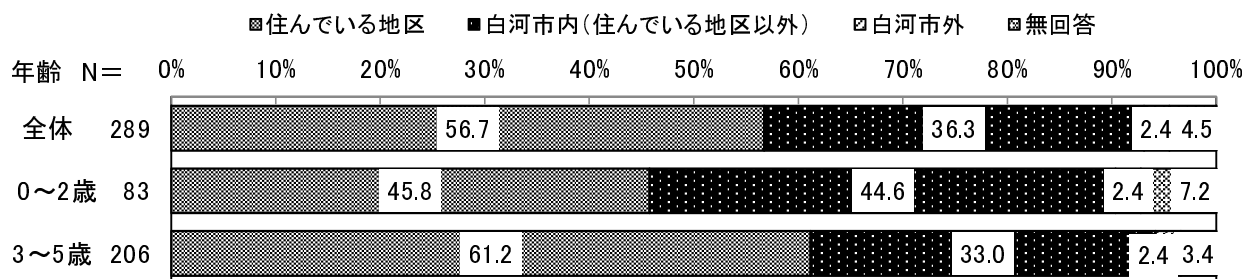
⑥週内希望利用時間数

	配偶者あり (%)	配偶者なし (%)	合計 (%)
～20 時間	10.9%	0.0%	10.1%
～30 時間	27.2%	13.0%	26.0%
～40 時間	26.8%	39.1%	27.8%
41 時間～	13.6%	34.8%	15.3%
不明・無回答	21.5%	13.0%	20.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

問 10-3 問 10 で利用しているとお答えになった教育・保育の事業の場所はどこですか。

教育・保育の事業の利用場所ですが、0～2歳では「住んでいる地区以外」の利用が44.6%と3～5歳に比べ11.6%高く、勤務先の近くなど、自宅から距離のある事業の利用が認められます。

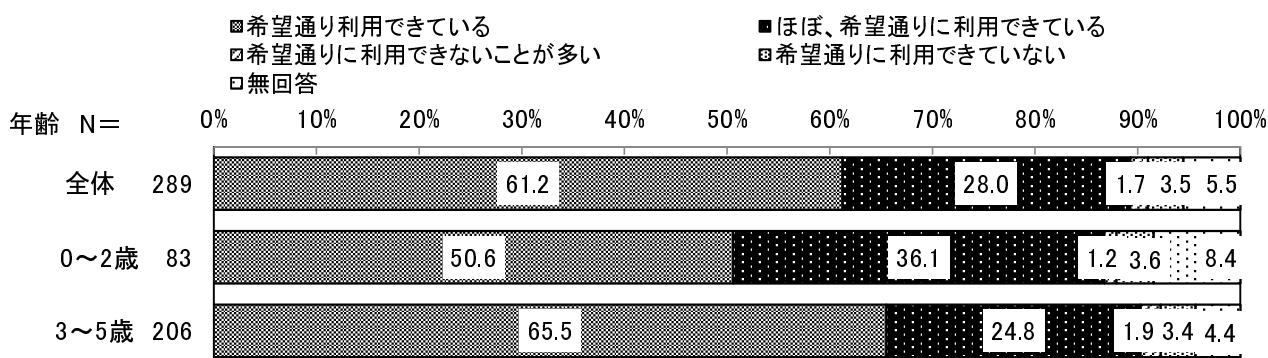
利用者/教育・保育事業の場所【%】



問 10-4 問 10 で利用しているとお答えになった教育・保育の事業は、希望通り利用できていますか。

教育・保育の事業の希望通りの利用状況は、「希望通り利用できている」と「ほぼ、希望通り利用できている」を合わせると、0～2歳では86.7%と3～5歳の90.3%とくらべあまり差はありませんが、「希望通り利用できている」だけでは50.6%と3～5歳に比べ14.9%低くなっています。

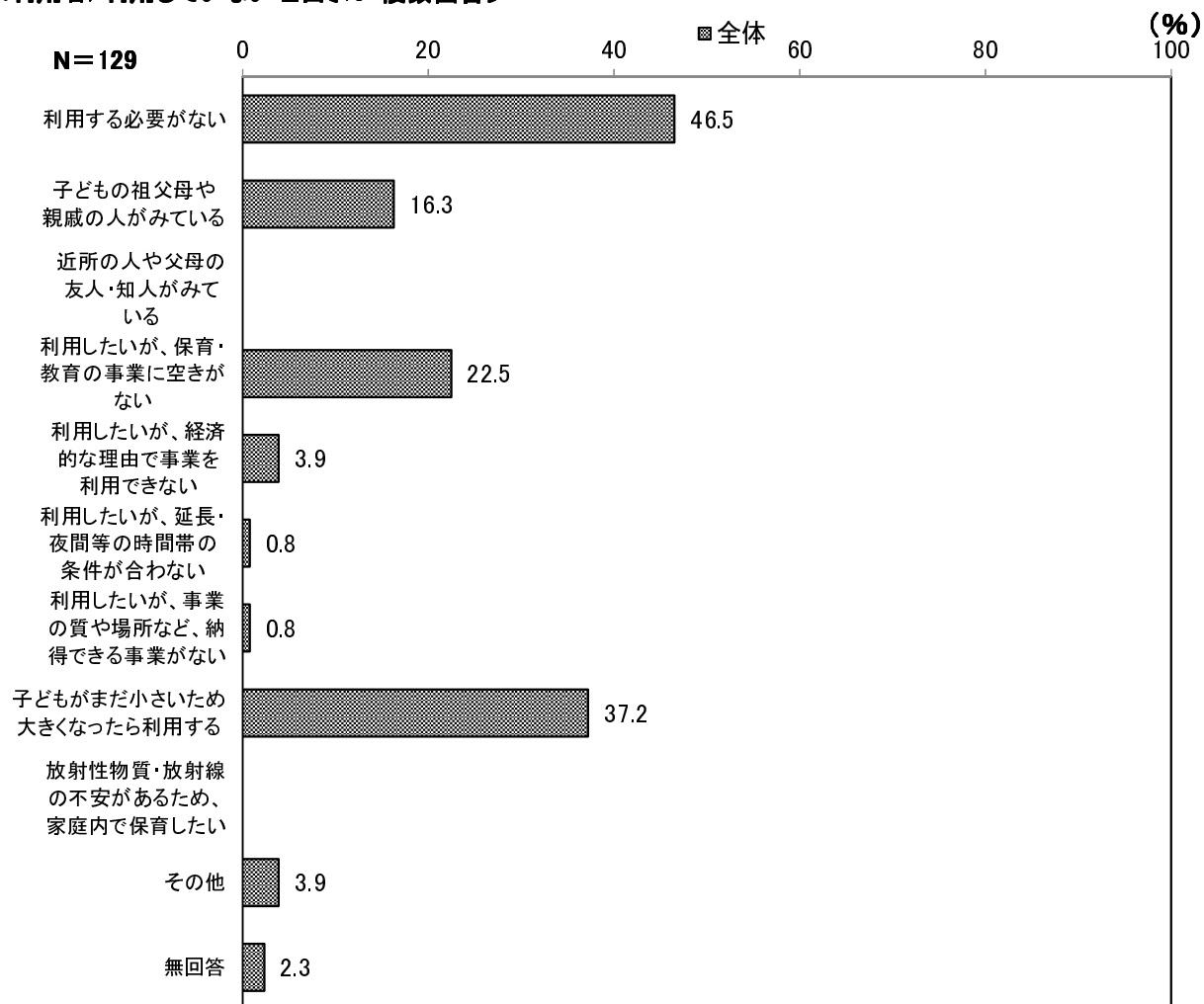
利用者/希望どおりの利用になっているか【%】



問 10-5 問 10 で利用していないとお答えになった方に、利用していない理由をうかがいます。(複数回答)

利用されていない方は0~2歳が127世帯でほとんどを占めていますが、その理由は、①「利用する必要がない(46.5%)」、②「子どもが小さいため、大きくなったら利用する(37.2%)」に続き、③「利用したいが保育・教育の事業に空きがない(22.5%)」が続いています。

未利用者/利用していない理由【%・複数回答】



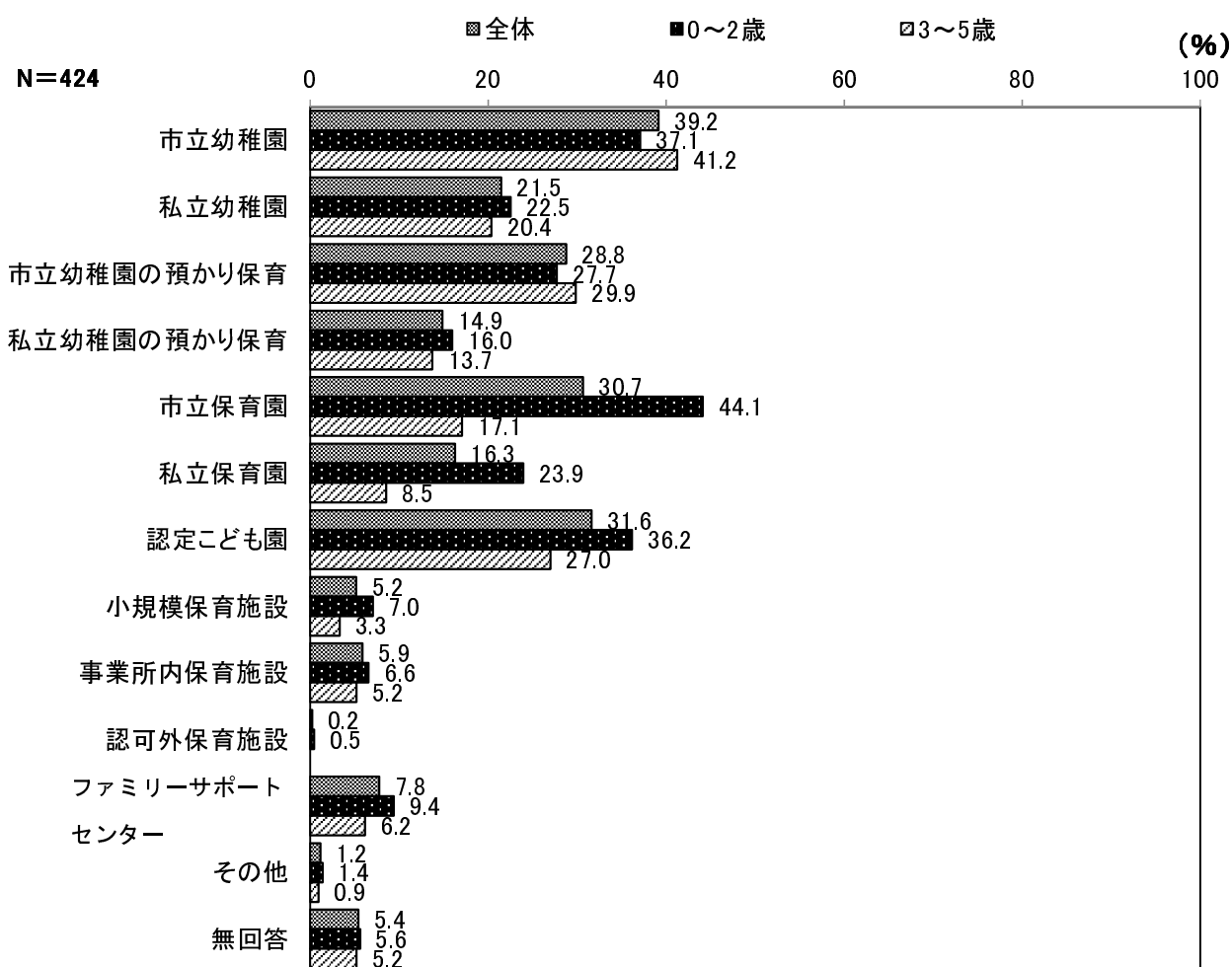
問 10-6 問 10-5 で「利用したいが延長・夜間等の条件が合わない」とお答えになられた方に、利用したい日数、時間(時間帯)をうかがいます。

設問の該当者は1名のため、記載を省略します。

問 11 「利用している、利用していない」にかかわらず、平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業をお答えください。（複数回答）

定期的に利用したい事業では、「市立」幼稚園・保育園の利用希望が、「私立」幼稚園・保育園に比べ、ほぼ2倍となっています。また、0～2歳では、「市立保育園」の利用希望が44.1%と高くなっています。また各年齢トータルでは、「認定こども園」の利用希望が31.6%と「市立幼稚園」の39.2%について高くなっています。また、ひとり親世帯では、「幼稚園」の利用希望が低い傾向ですが、「小規模保育施設」の利用希望は人数は少ないですが、比率では16.7%とふたり親世帯の4倍近くなっています。その他では、児童発達支援施設、地域子育て支援拠点、病児保育と“徒歩圏内のところ”が各1人です。学校区別では、利用している事業の利用希望が多い傾向です。

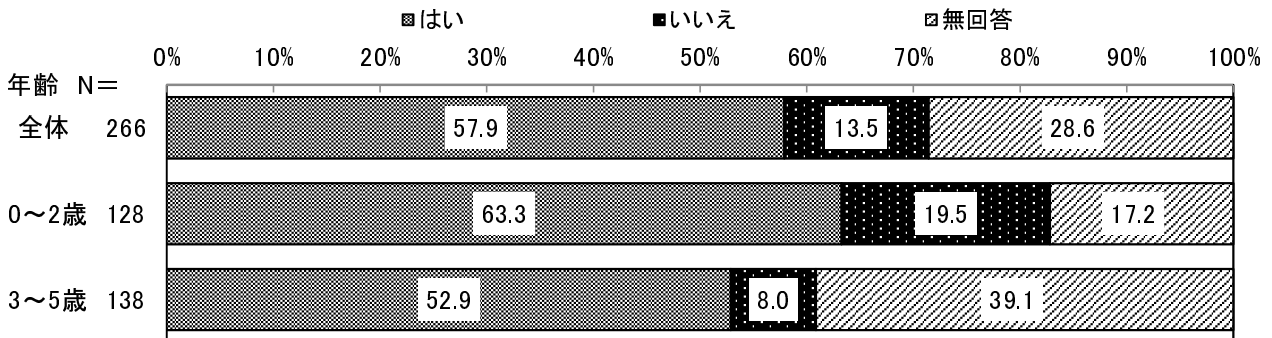
定期的に利用したい教育・保育事業【%・複数回答】



問 11-1 問 11 で「幼稚園・幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ市立保育園からその他のどれかに○をつけられた方にうかがいます。幼稚園・幼稚園の預かり保育の利用を強く希望しますか。(1つに○)

幼稚園・幼稚園の預かり保育の強い希望は、0～2歳では、63.3%と高くなっていますが、希望しない方も19.5%います。

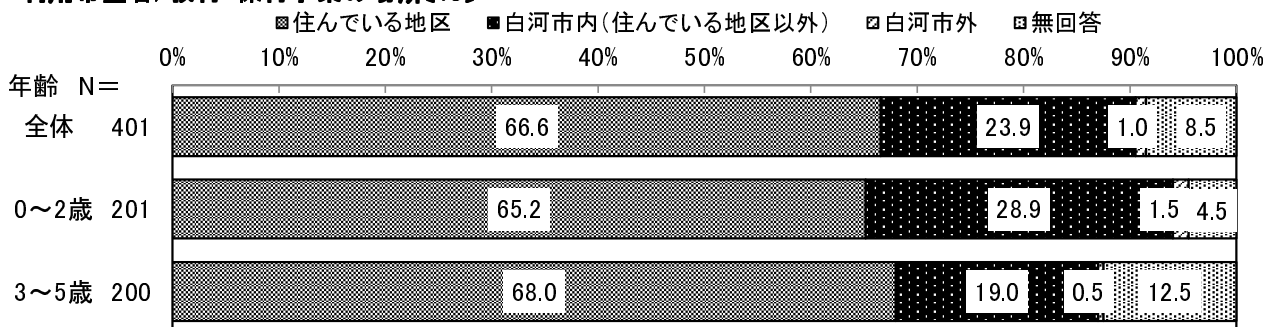
幼稚園の利用を強く希望[%]



問 12 問 11 で利用したいとお答えになった教育・保育の事業の主に利用したい場所はどちらですか。

利用したい教育・保育の場所は、0～2歳では、「住んでいる地区以外の白河市内」と回答されている方が28.9%と、3～5歳に比べ9.9%高く、職場や外出先に近い地域の希望が多くなっています。

利用希望者/教育・保育事業の場所[%]

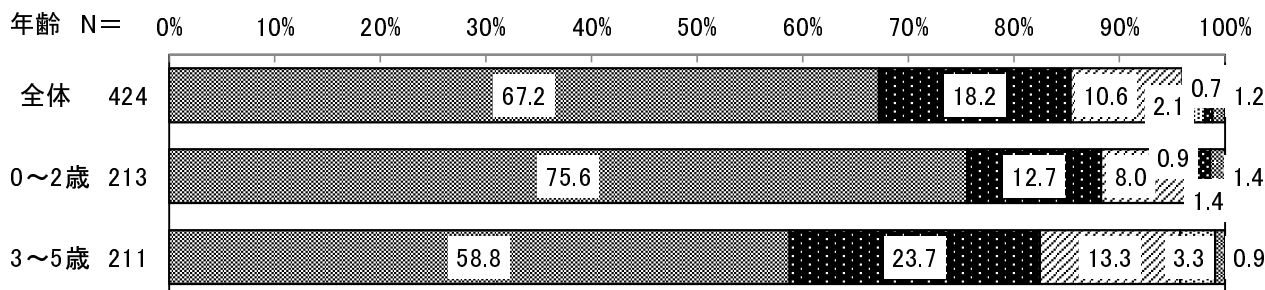


問 13 小学校入学前に幼稚園等の教育機関で、教育を受けさせることを希望しますか。

0～2歳では、「ぜひ受けさせたい」が75.6%と3～5歳の58.8%に比べ16.8%多くなっています。3～5歳では、「希望する教育内容を実施していれば受けさせたい」が23.7%と0～2歳に比べ11.0%多くなっており、「保育園に通っているので不要(13.3%)」「小学校入学前の教育は不要(3.3%)」も0～2歳に比べそれぞれ5.3%、2.4%多く、教育に対するニーズに違いがあります。

就学前の教育の希望[%]

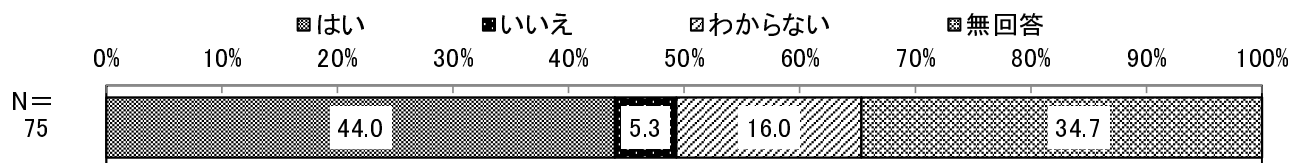
- 是非、受けさせたい
- 希望する教育内容を実施していれば、受けさせたい
- 保育園に通っているので不要
- 小学校入学前の教育は不要
- その他
- 無回答



問 14 1歳から必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいですか。

「育児休業」の取得希望は、44.0%と半数近くありますが、「わからない(16.0%)」「無回答(34.7%)」を合わせると50.7%になっています。

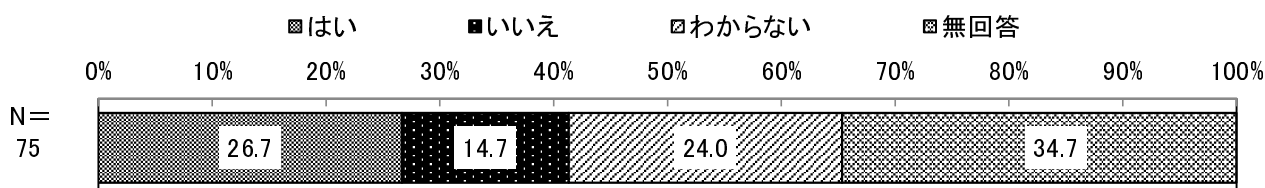
1歳になるまでの育児休業取得希望[%]



問 15 1年を超える育児休業の取得希望はありますか。

「1年を超える育児休業の取得希望」は26.7%と「希望なし」に比べ12.0%多くなっていますが、「わからない(24.0%)」「無回答(34.7%)」で58.7%になっています。

1年を超える育児休業取得希望[%]



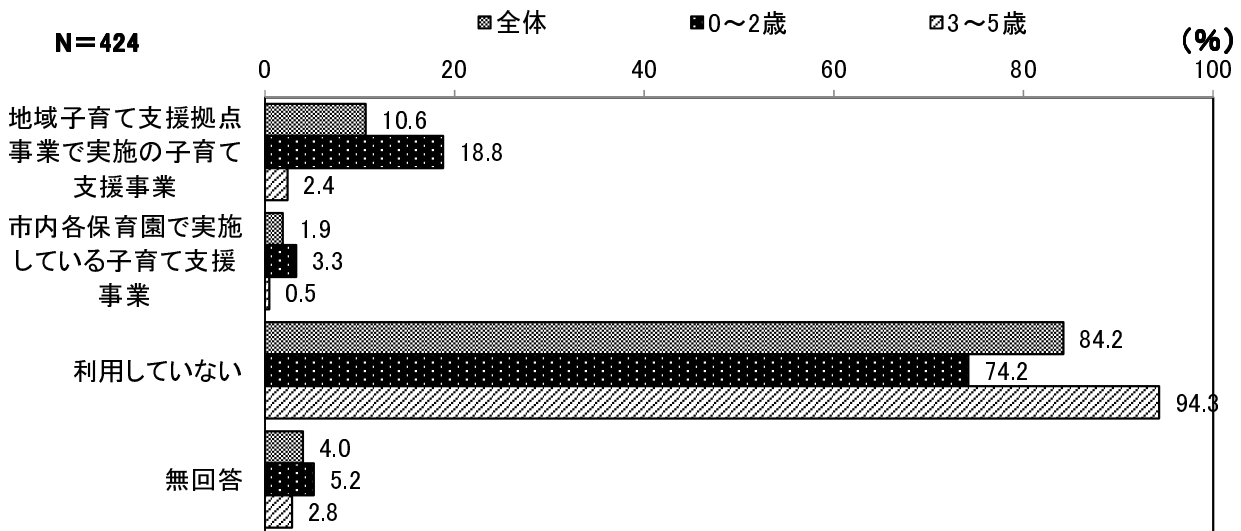
5 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 16 「地域子育て支援拠点事業（おひさまひろば・たんぽぽサロン・赤ちゃんひろば）や市内各保育園で実施している子育て支援事業（子育て相談・親子交流・情報交換）」を利用していますか。（複数回答） また、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。

「地域子育て支援拠点事業」は、0～2歳では18.8%の利用がありますが、全体では10.6%となっています。また、「市内各保育園で実施している子育て支援事業」は0～2歳でも3.3%と低くなっています。利用回数では「地域子育て支援拠点事業」は回答50人中、25の方が1～2回の利用となっています。10回以上利用されている方も5名ほどおり、最大利用回数は15回（1名）です。「市内各保育園で実施している子育て支援事業」の利用回数の回答は7名で、1～2回の利用と答えられた方は6名で、4回と答えられた方は1名です。

ひとり親世帯では（n=30）、「地域子育て支援拠点事業」を利用されている方は1名です。

地域の子育て支援事業の利用状況[%・複数回答]



※ 地域子育て支援拠点事業学校区別利用率比較

利用率が高いのは、白河第一小学校区、白河第二小学校区、白河第四小学校区、白河第五小学校区と信夫第一小学校区です。また、白河第三小学校区と信夫第一小学校区は、「保育園の子育て支援事業」の利用はありません。小田川小学校区を含む6小学校区で利用がゼロとなっています。

	地域子育て支援拠点事業	市内各保育園の子育て支援事業	利用していない
白河第一小学校区	11.1%	25.0%	80.0%
白河第二小学校区	24.4%	25.0%	76.6%
白河第三小学校区	13.3%	0.0%	82.9%
白河第四小学校区	11.1%	12.5%	75.0%
白河第五小学校区	4.4%	25.0%	89.7%
小田川小学校区	0.0%	0.0%	100.0%
五箇小学校区	0.0%	0.0%	100.0%
関辺小学校区	0.0%	0.0%	100.0%
みさか小学校区	2.2%	0.0%	92.5%
表郷小学校区	2.2%	0.0%	89.7%
信夫第一小学校区	8.9%	0.0%	50.0%
信夫第二小学校区	0.0%	0.0%	100.0%
大屋小学校区	2.2%	0.0%	80.0%
釜子小学校区	0.0%	0.0%	100.0%
小野田小学校区	0.0%	0.0%	100.0%

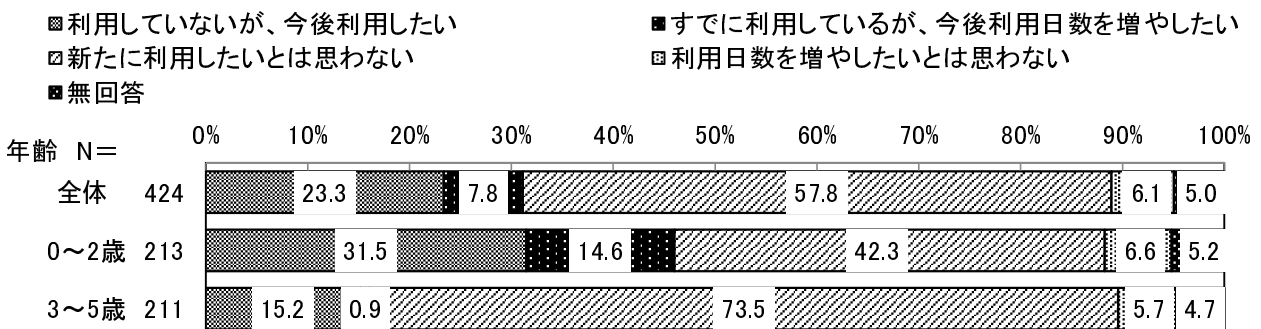
※比率は二ズ調査利用総数で、学校区別利用数を除算した、事業別学校区別利用率。
ただし、“利用していない”項目のみ、学校区単位に”利用していない”と回答された方を学校区毎の回答者で除算した、学校区単位での利用状況。

問 17 「地域子育て支援拠点事業」や「市内各保育園で実施している子育て支援事業」をできれば今後利用したいですか。あるいは利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。

「地域子育て支援拠点事業」の利用については、0～2歳では「利用していないが、今後利用したい（31.5%）」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい（14.6%）」と半数近くが利用増意向を示していますが、3～5歳では「新たに利用したいとは思わない（73.5%）」「利用日数を増やしたいとは思わない（5.7%）」と約8割の方が利用を増やされない意向です。

ひとり親世帯では(n=30)、「新たに利用したいとは思わない」と回答された方が17名です。

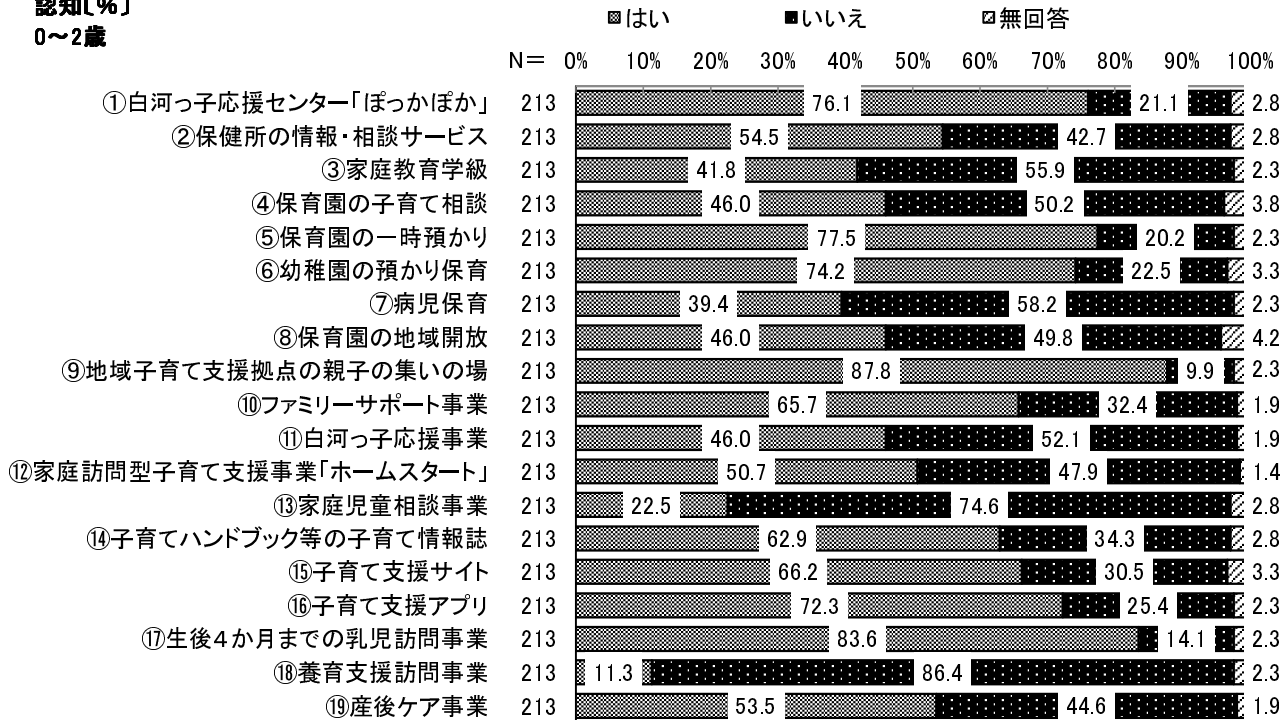
地域子育て支援事業の利用希望【%】



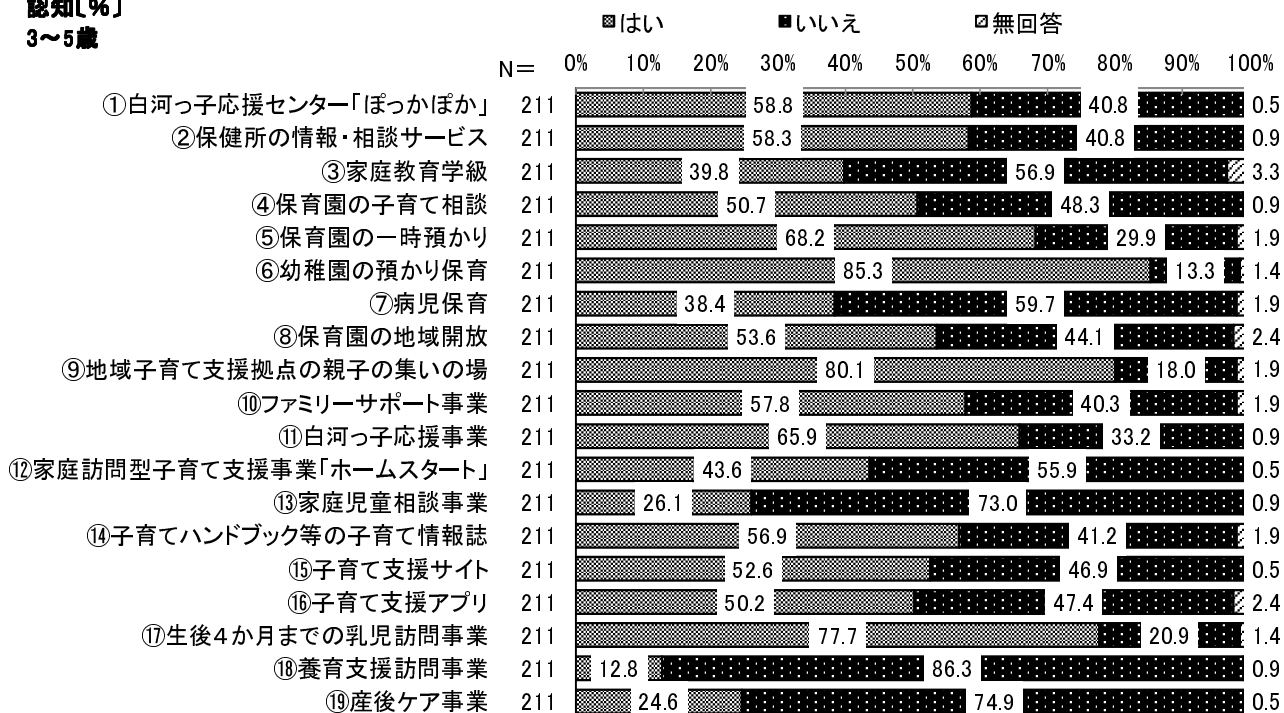
問 18 問 18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。ただし、B、CはAで「知っている」で「はい」とお答えの方のみお答えください。

0～2歳では全般に認知度は高い傾向ですが、「病児保育（39.4%）」「家庭教育学級（41.8%）」が低く、最も低いのは「養育支援訪問事業（11.3%）」と「家庭児童相談事業（22.5%）」です。3～5歳でも認知度は0～2歳と同様の傾向で、「病児保育（38.4%）」「家庭教育学級（39.8%）」「養育支援訪問事業（12.8%）」と「家庭児童相談事業（26.1%）」となっています。

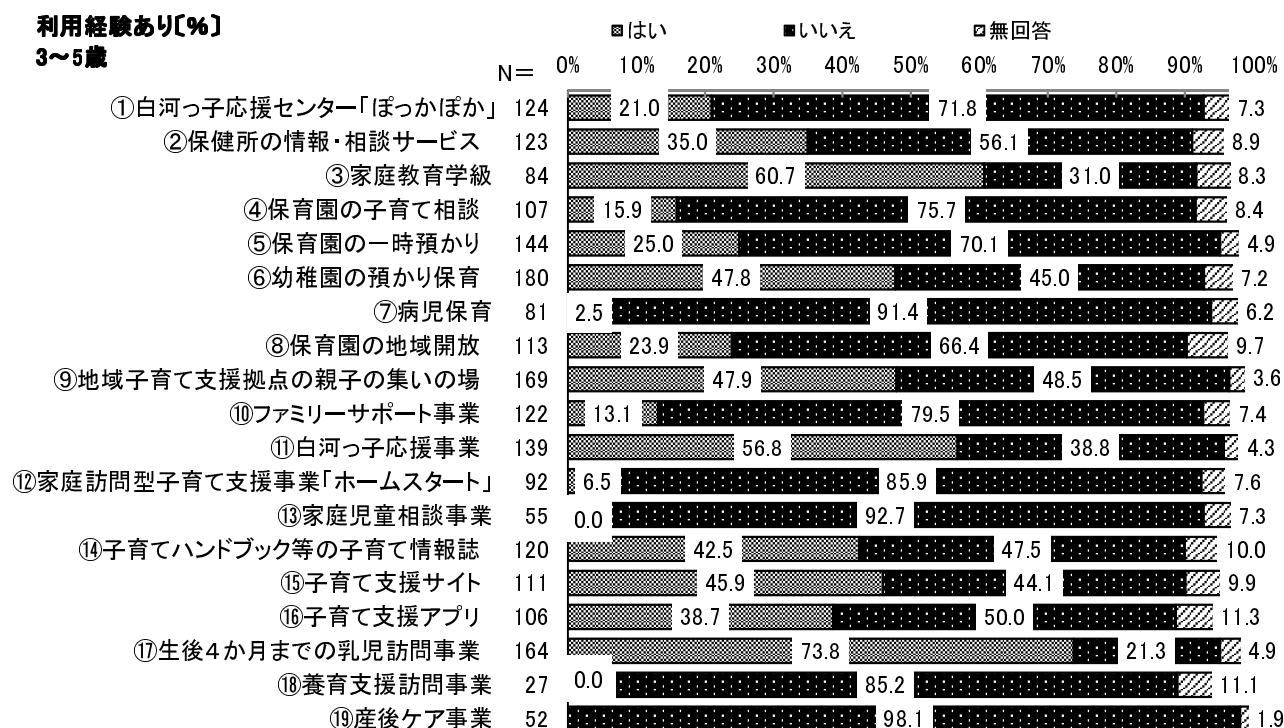
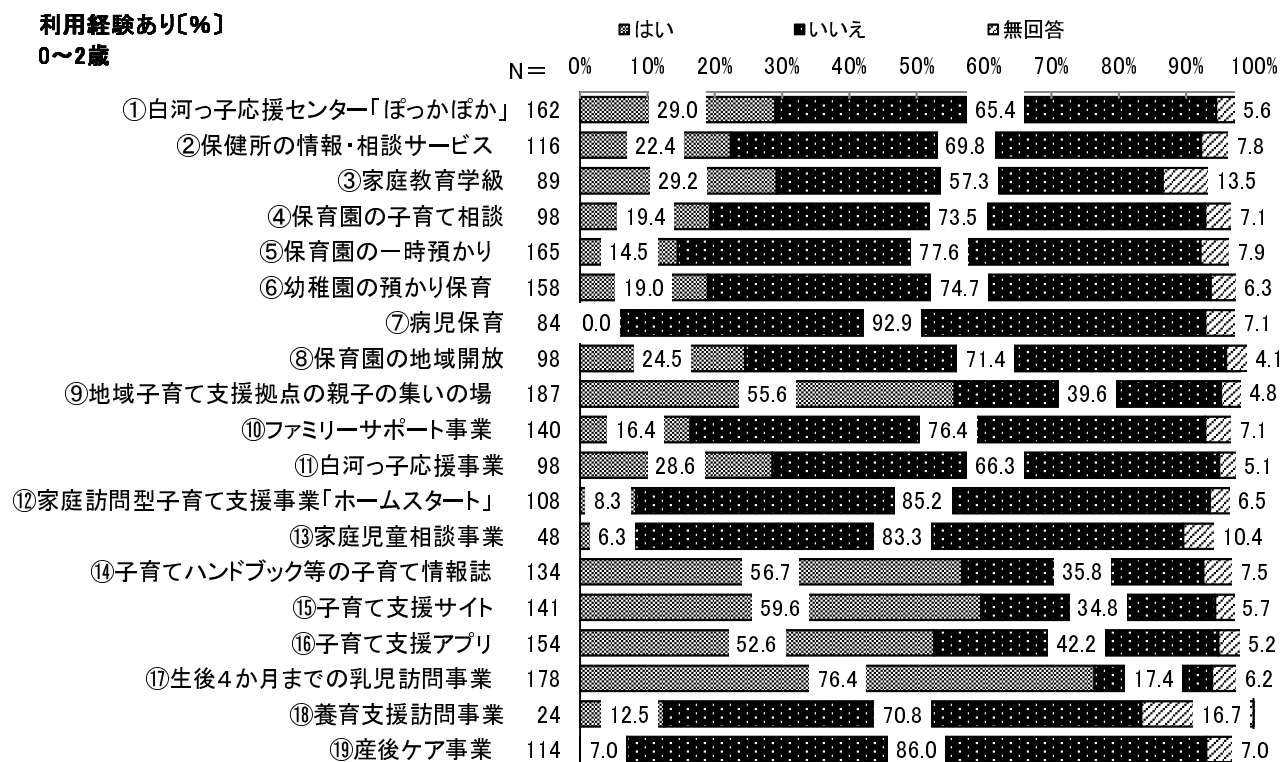
認知[%]
0～2歳



認知[%]
3～5歳



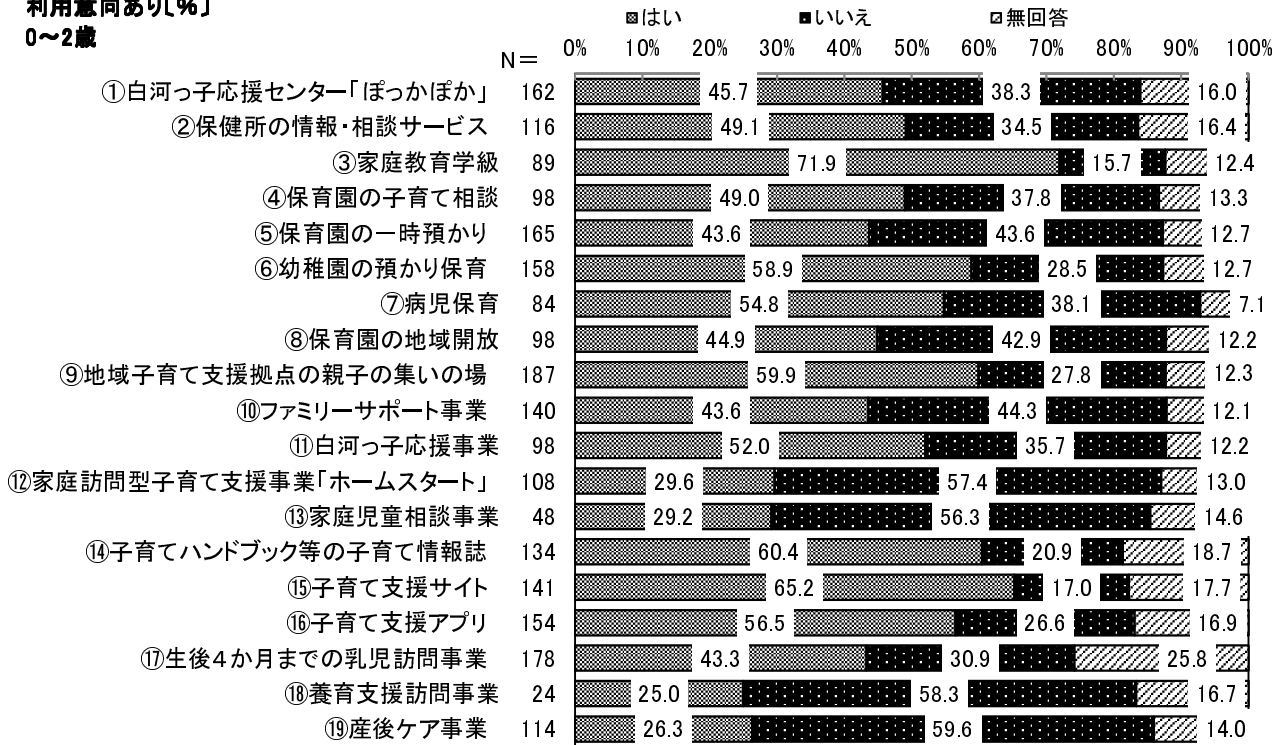
利用経験では、0～2歳、3～5歳ともに認知度に比べ低くなっています。0～2歳で特に利用経験が低いものは「病児保育（0.0%）」「家庭児童相談事業（6.3%）」「産後ケア事業（7.0%）」です。3～5歳でも同様に「家庭児童相談事業（0.0%）」「産後ケア事業（0.0%）」「病児保育（2.5%）」となっています。0～2歳と3～5歳を比較すると、認知度にはあまり差がないものの、利用経験では、「家庭教育学級」「白河っ子応援事業」で3～5歳の利用がそれぞれ30%前後（0～2歳のおよそ2倍）と大きな開きがあります。また、「子育てハンドブック等の情報誌」「子育て支援サイト」「子育て支援アプリ」の利用は全体でも高くなっていますが、0～2歳では50%台で、3～5歳よりも10%以上高くなっています。



利用意向は全般的に利用経験よりも高い傾向にあり、また3～5歳に比べ0～2歳の方が高い傾向にあります。0～2歳では特に「家庭教育学級」が71.9%と高く、利用意向の中で唯一70%を超えています。3～5歳では「地域子育て支援拠点の親子の集いの場（利用経験47.9%→利用意向21.7%）」「白河っ子応援事業（利用経験56.8%→利用意向41.0%）」が利用経験に比べ、利用意向が大きく下がっている事業となっています。また、「病児保育」は0～2歳、3～5歳ともに利用経験はそれぞれ0.0%、2.5%ですが、0～2歳で54.8%、3～5歳で34.6%と、利用意向が利用経験に比べ大幅に高くなっています。

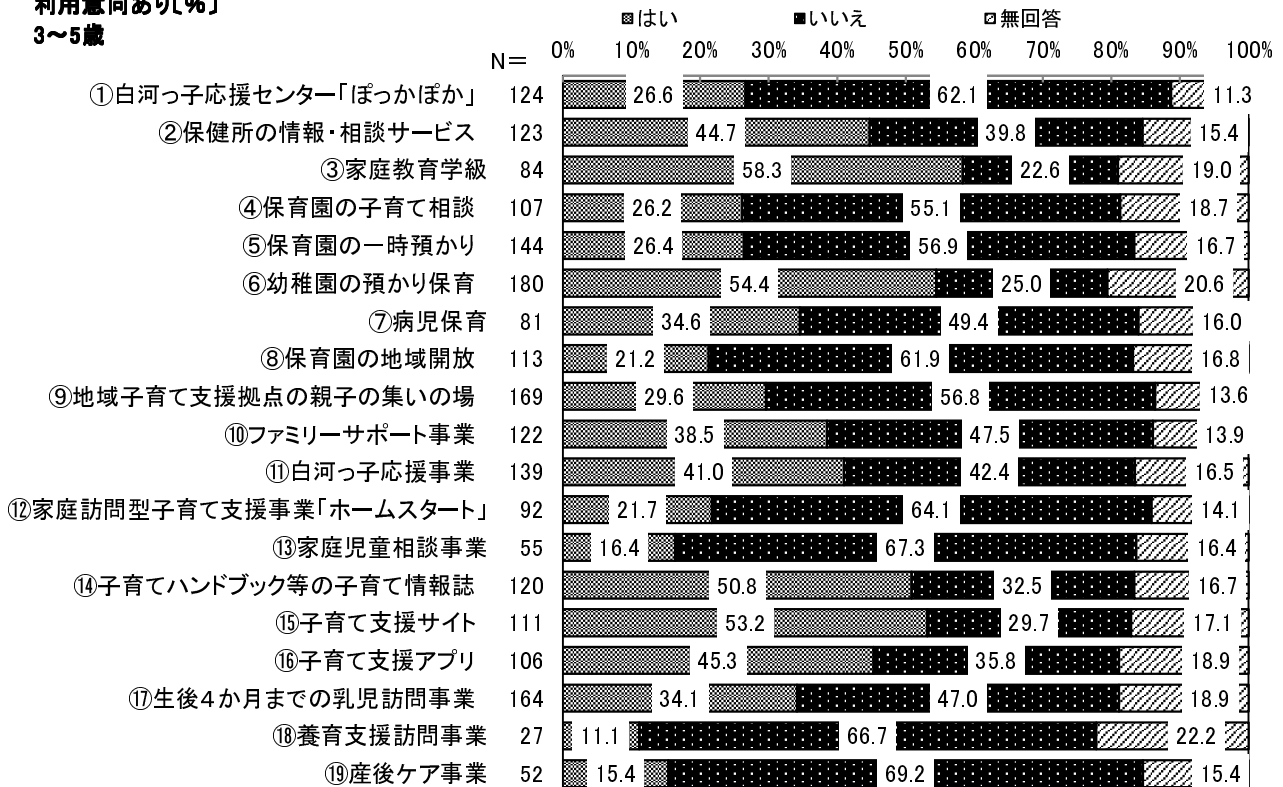
利用意向あり[%]

0～2歳



利用意向あり[%]

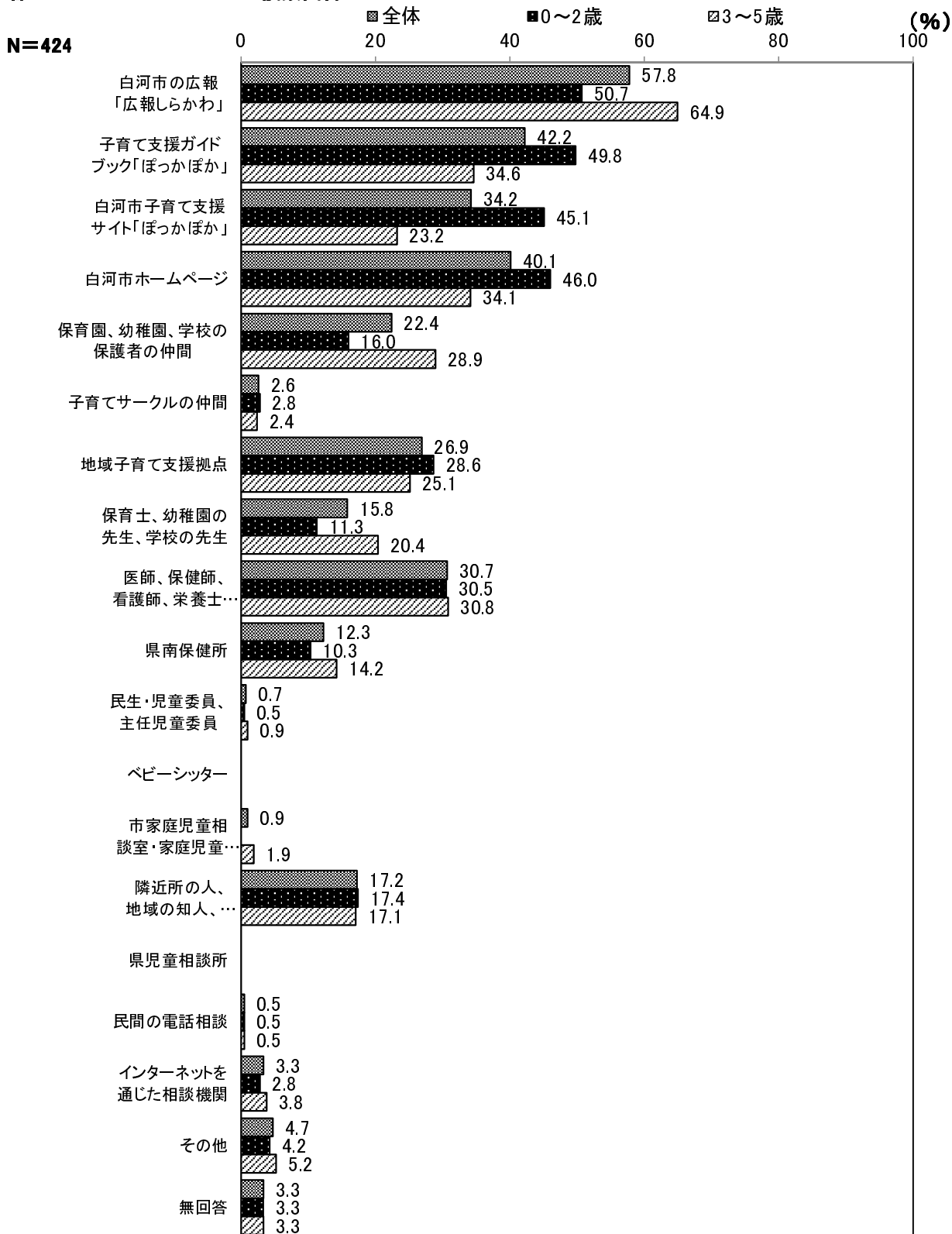
3～5歳



問 18-1 問 18 の各事業を知ったきっかけをお答えください。(複数回答)

3～5歳では、「広報しらかわ」からの情報入手が64.9%と次の「ガイドブックぽっかぽか」に比べ30%高くなっていますが、0～2歳では、「広報しらかわ」「ガイドブックぽっかぽか」「支援サイトぽっかぽか」「白河市ホームページ」が45%～50%程度で並んでいて、様々な情報源から情報を得ています。また、0～2歳では16.0%と「保護者仲間」からの情報入手が3～5歳に比べ12.9%低くなっています。

各事業を知ったきっかけ【%・複数回答】



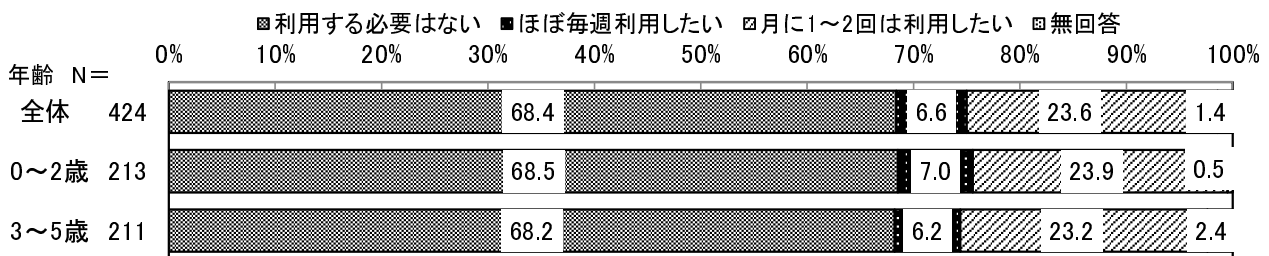
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 19 土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(一時的な利用、親族・知人による預かりは除きます)(1つに○)

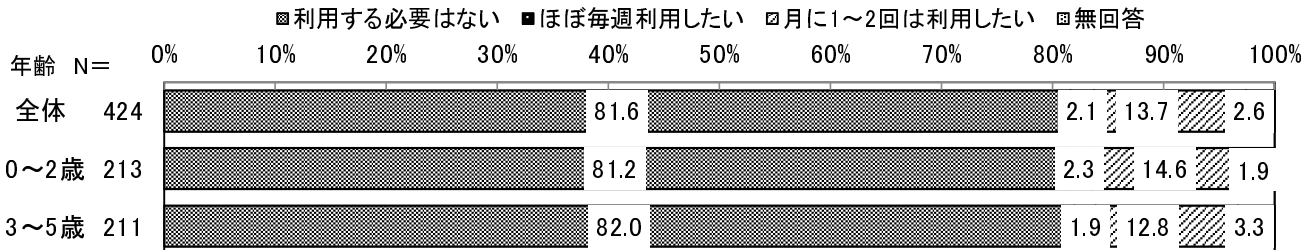
土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、0～2歳と3～5歳で差はなく、全体で土曜日に「ほぼ毎週利用したい」が6.6%、「月に1～2回利用したい」が23.6%になっています。日曜日・祝日の利用希望は、全体で「ほぼ毎週利用したい」が2.1%、「月に1～2回利用したい」が13.7%となっています。

また、ひとり親世帯では土曜日、日曜日・祝日の利用希望は多く、土曜日に「ほぼ毎週利用したい」が13.3%、「月に1～2回利用したい」が40.0%、日曜日・祝日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が13.3%、「月に1～2回利用したい」が23.3%となっています。

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望【%】



日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望【%】



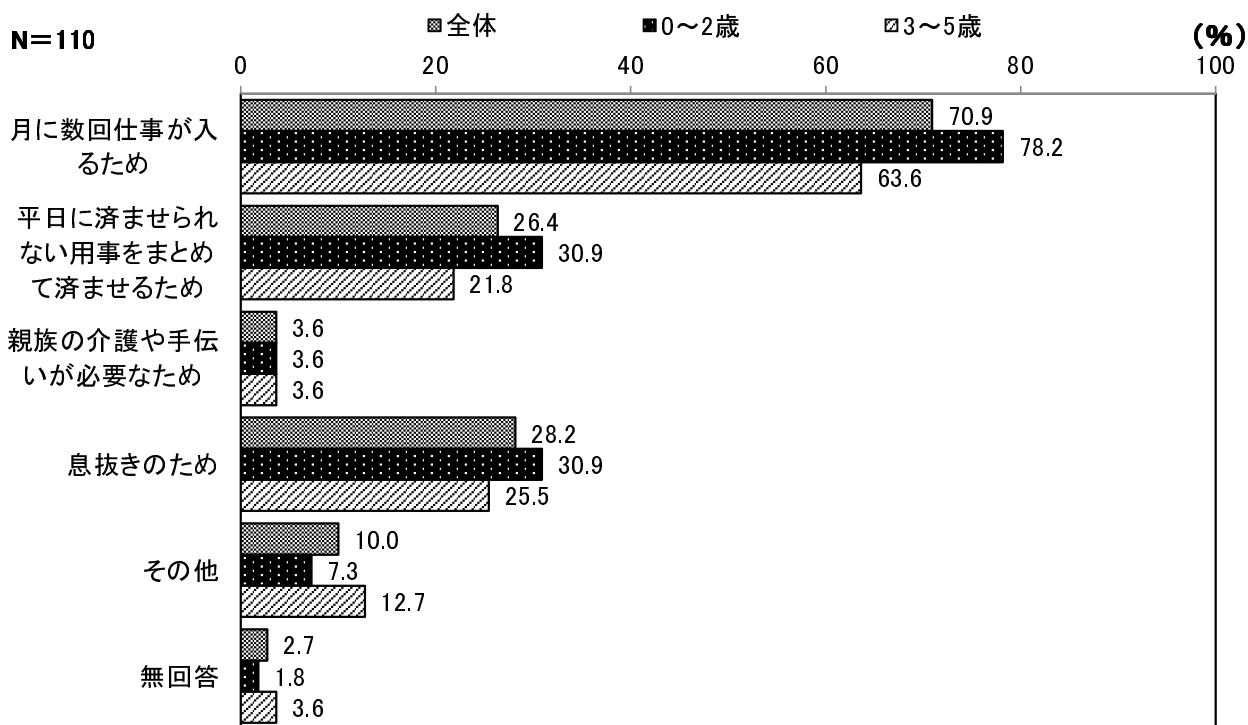
利用希望の開始時刻は土曜日、日曜日・祝日のどちらも7時～10時、希望終了時刻はどちらも12時～19時の範囲となっています。時間はどちらも9時間前後が多くなっています。

土曜日						日曜日・祝日					
開始時刻	人数	終了時刻	人数	時間帯	人数	開始時刻	人数	終了時刻	人数	時間帯	人数
7時	11	12時	6	8時～17時	18	7時	5	12時	1	8時～18時	10
8時	45	13時	6	8時～18時	13	8時	20	13時	1	8時～17時	7
9時	36	14時	8	9時～17時	10	9時	19	14時	1	9時～16時	6
10時	7	15時	9	※時間帯は上位3つを表示		10時	5	15時	3	※時間帯は上位3つを表示	
		16時	16					16時	11		
		17時	31					17時	15		
		18時	20					18時	14		
		19時	3					19時	2		

問 19-1 定期的な教育・保育事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。
(複数回答)

「月に数回仕事が入るため」が全体で 70.9%ですが、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」も全体で 30%弱となっています。3 項目とも、0~2 歳の方が、5~15%程度多くなっています。

月1~2回の利用希望者/利用したい理由【%・複数回答】

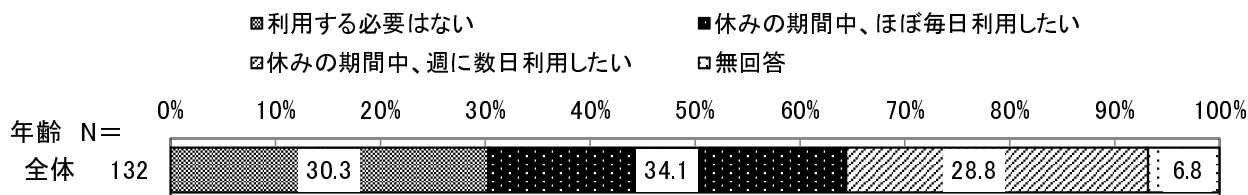


問 20 幼稚園の夏休み・冬休みなど長期休業期間中に、教育・保育事業の利用希望はありますか。(1つに○) また、利用したい時間帯をお答えください。

「利用する必要はない」は 30.3%ですが、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい (34.1%)」と「休みの期間中、週に数日利用したい (28.8%)」を合わせると 62.9%です。

また、ひとり親世帯の方では、7人中3人の方が、「ほぼ毎日利用したい」と答えています。

幼稚園利用者/長期休業期間中の利用希望【%】



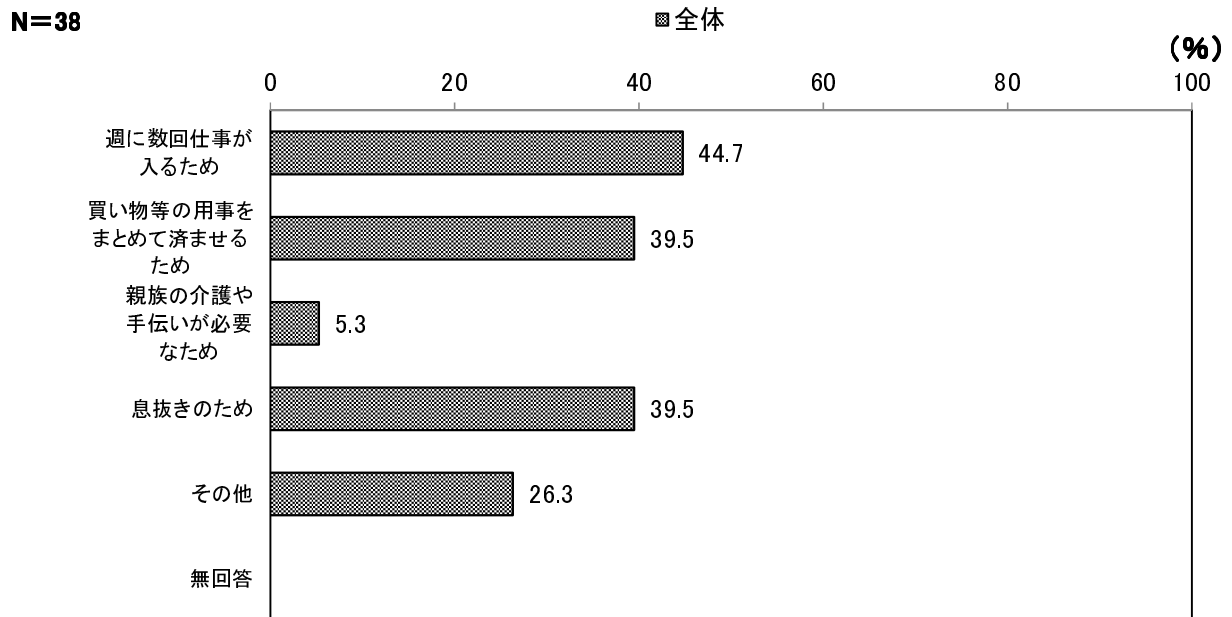
利用希望の開始時刻は 7 時~14 時、希望終了時刻は 12 時~19 時の範囲となっています。時間帯は 8 時~17 時が 14 人と多いですが、9 時~15 時が 10 人、9 時~14 時が 9 人と、5~6 時間の短い時間の希望も多くなっています。

長期休業中					
開始時刻	人数	終了時刻	人数	時間帯	人数
7時	10	12時	2	8時～17時	14
8時	30	13時	2	9時～15時	10
9時	36	14時	13	9時～14時	9
10時	3	15時	13	8時～16時	7
13時	1	16時	16	9時～17時	7
14時	1	17時	24	※時間帯は上位5つを 表示	
		18時	10		
		19時	1		

問 20-1 休みの期間中、週に数日利用したいに○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。（複数回答）

「週に数回仕事が入るため」が44.7%ですが、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」もそれぞれ40%弱となっています。回答はすべて3～5歳の方です。

週に数日の利用希望者/利用したい理由[%・複数回答]

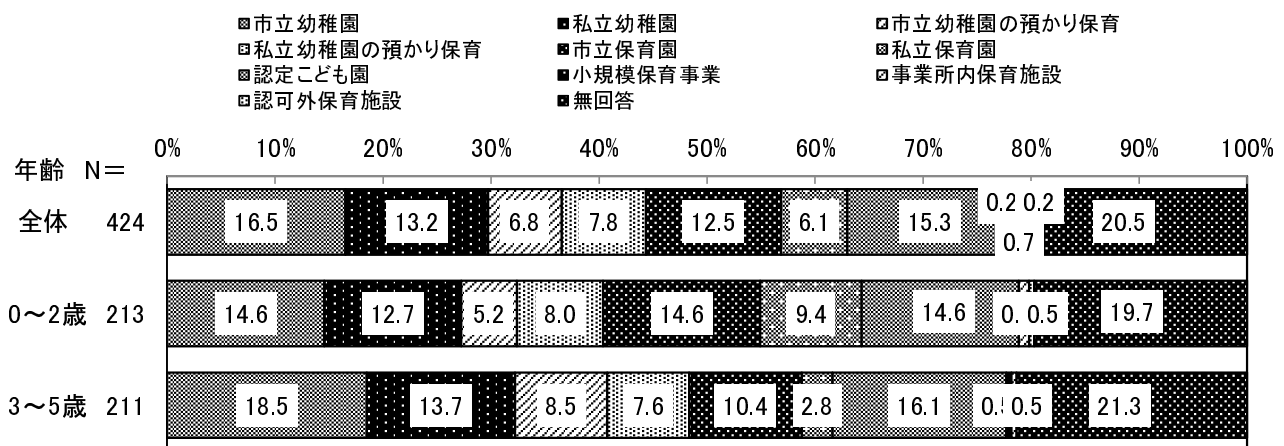


7 幼児教育・保育無償化について

問 21 幼児教育や保育が無償化となった場合、主に利用したいと思う事業はどれですか。
(1つに○)

利用希望は全体では、市立幼稚園(16.5%)、認定こども園(15.3%)、私立幼稚園(13.2%)が上位です。0~2歳では、市立幼稚園、認定こども園、市立保育園が14.6%で並んでいます。3~5歳では全体と同様の順序、市立幼稚園(18.5%)、認定こども園(16.1%)、私立幼稚園(13.7%)です。

幼児教育・保育無償化の場合の利用したい事業[%]



(人)	合計 (人)	問 21. 幼児教育や保育が無償化となった場合、以下の事業において主に利用したいと思う事業はどれですか。 (%)															
		市立幼稚園	私立幼稚園	預かり保育	市立幼稚園	預かり保育	私立幼稚園	市立保育園	私立保育園	園	認定こども	事業	小規模保育	育施設	事業所内保	施設	認可外保育
全体	424	16.5	13.2	6.8	7.8	12.5	6.1	15.3	0.2	0.7	0.2	20.5					
問 2.お 子さん	0~2歳 213	14.6	12.7	5.2	8.0	14.6	9.4	14.6	0.0	0.9	0.5	19.7					
年齢区 分	3~5歳 211	18.5	13.7	8.5	7.6	10.4	2.8	16.1	0.5	0.5	0.0	21.3					

ひとり親世帯では、市立幼稚園、市立幼稚園預かり保育、市立保育園、私立保育園、認定こども園が3人~4人となっています。

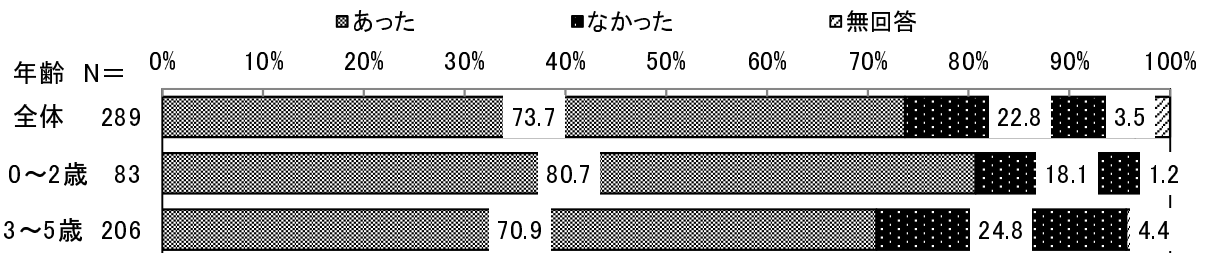
8 お子さんの病気の際の対応について

※平日の教育・保育を利用する方のみ対象

問 22 この1年間に、病気やケガで、教育・保育事業を利用できなかったことはありますか。(1つに○)

0～2歳で「利用できなかったことがある」方は80.7%で、3～5歳で「利用できなかった」方(70.9%)に比べ9.8%多くなっています。

病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと[%]



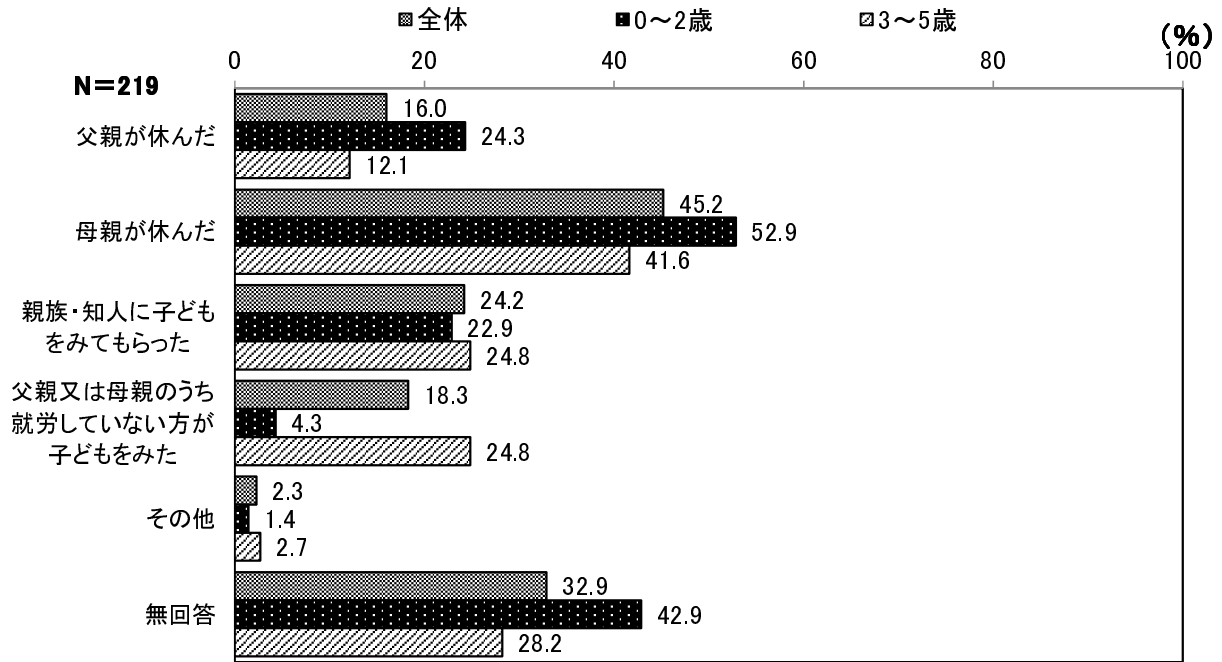
問 22-1 問 22 で病気やケガで、教育・保育事業を利用できなかったことがある方にうかがいます。教育・保育事業が利用できなかったときに、どのような対処をされましたか。(複数回答) また、あてはまる対処それぞれについて、おおよその日数をお答えください。

両親のどちらかが仕事を休まれた方は、3～5歳では53.7%ですが、0～2歳では77.2%と23.5%多くなっています。また、「親族・知人に子どもをみてもらった」比率はほぼ変わりませんが、「父親、母親のうち就労していない方が子どもをみた」方は、3～5歳で24.8%と0～2歳の方に比べ20.5%多くなっています。「病児保育」「ベビーシッター」の利用、「子どもだけで留守番させた」ケースはありませんでした。また、ひとり親世帯では、「母親が休んだ」方は10人、「親族・知人に子どもをみてもらった」方は7人で、比率で見るとふたり親世帯に比べどちらも20%以上多くなっています。

対処でその他と答えた方は5名ですが、その他欄に記入された方は8名です。別居の親族にみてもらったが5名で、他は「ファミリーサポートセンター利用」、「入院」、「働きながら自宅でみた」です。

また対処日数ですが、5日以内が62.1%ですが、年間31日以上対処の方が3名で、最長の方は70日(母親が休んだ)です。

利用できないことがあった方/対処法【%・複数回答】



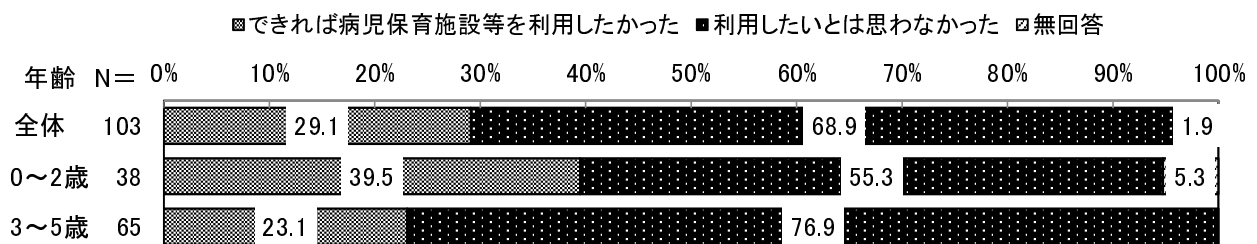
利用できないことがあった方/対処日数【人】

	休んだ日数 (人)				
	~5日	~10日	~20日	~30日	31日~
父親が休んだ	48	6	2	0	0
母親が休んだ	81	41	24	7	1
親族・知人に見てもらった	55	20	6	4	0
就労していない方がみた	21	9	4	1	2
その他	3	4	1	0	0

問 22-2 「病気やケガで、教育・保育事業を利用できなかった」際に「親が休んだ」方にうかがいます。その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。(1つに○) また、利用したいと思われた方は、利用したかった日数をお答えください。

病児保育施設の利用意向は、全体では29.1%ですが、0~2歳では39.5%です。また、利用希望の方で、病児保育を認知していなかった方は、希望者30名中12名です。日数では5日(11人)が最も多く、次いで10日(5人)、最長は20日です。ひとり親世帯では、12名中4名の方が利用を希望されています。

父母が休んだ方/病児保育施設等の利用希望【%】



9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。(複数回答) また、あてはまる番号それぞれについて、1年間のおおよその利用日数をお答えください。

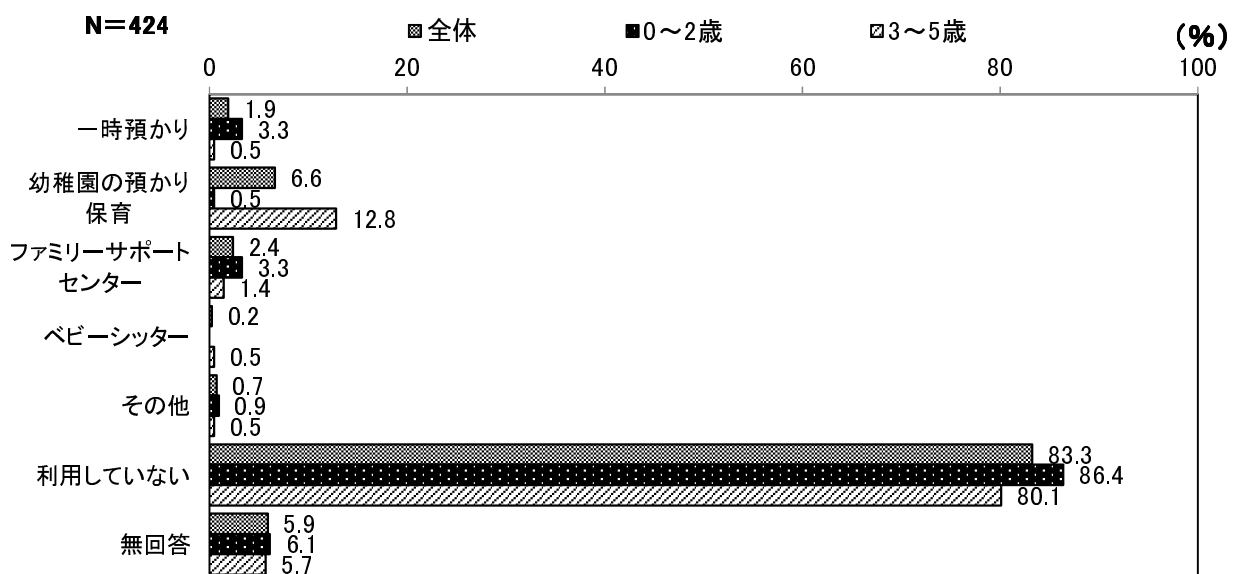
不定期の利用事業は、3～5歳の「幼稚園の預かり保育」が12.8%ありますが、他は多くありません。利用されていない方は全体で83.3%です。ひとり親世帯の方も同様の傾向です。

利用日数では、

- ①一時預かり 5日以下：7人、10日・24日・125日：各1人
- ②幼稚園預かり保育 6日以下：14人、10日～20日：6人、40日～60日：4人
96日：1人、120日・240日：各2人
- ③ファミリーサポートセンター 5日以下：11人
- ④ベビーシッター 5日：1人
- ⑤その他 おひさま(2日)：1人、児童発達支援(5日)：1人

となっています。

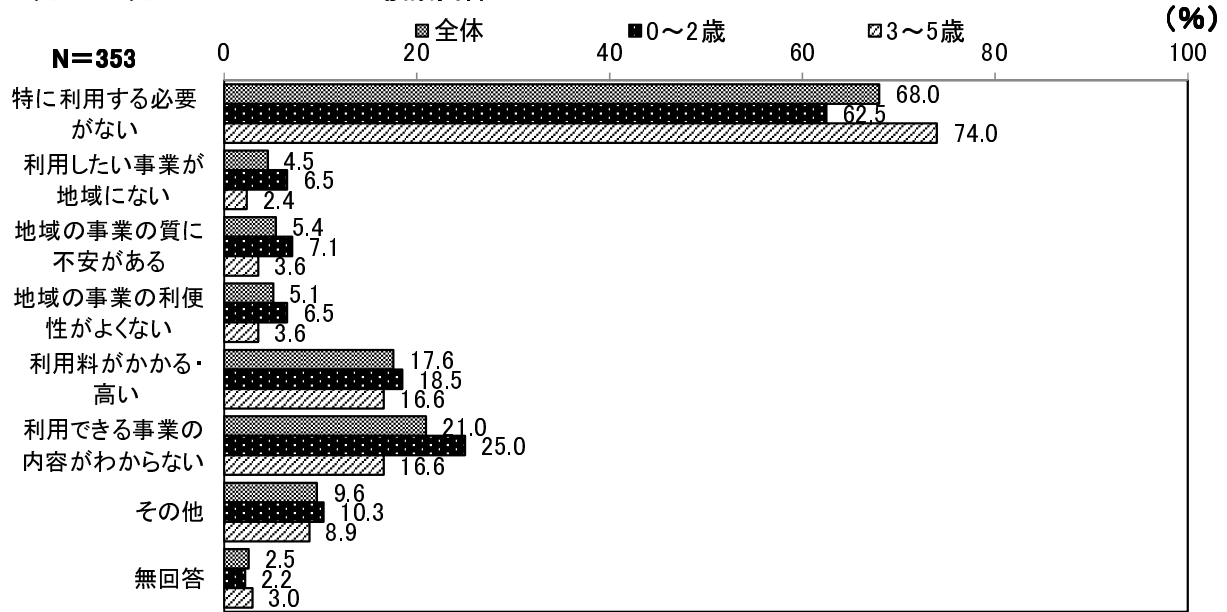
不定期に利用している教育・保育事業[%・複数回答]



問 23-1 保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、それぞれの事業を現在利用していない理由はなんですか。(複数回答)

「特に利用する必要がない」が全体で68.0%ですが、「利用できる事業の内容がわからない」が21.0%、「利用料がかかる・高い」が17.6%となっています。

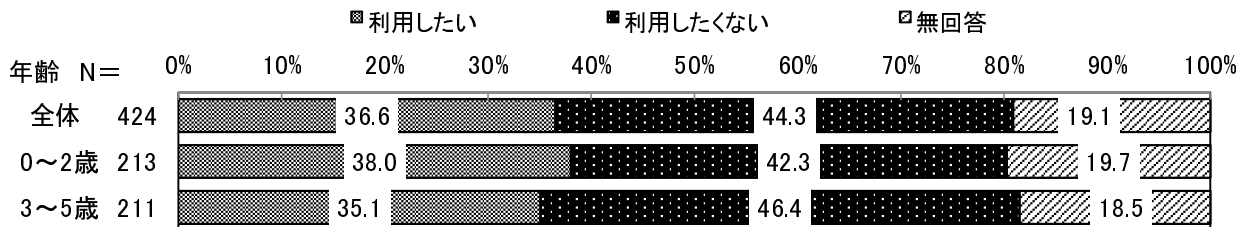
未利用者/利用していない理由[%・複数回答]



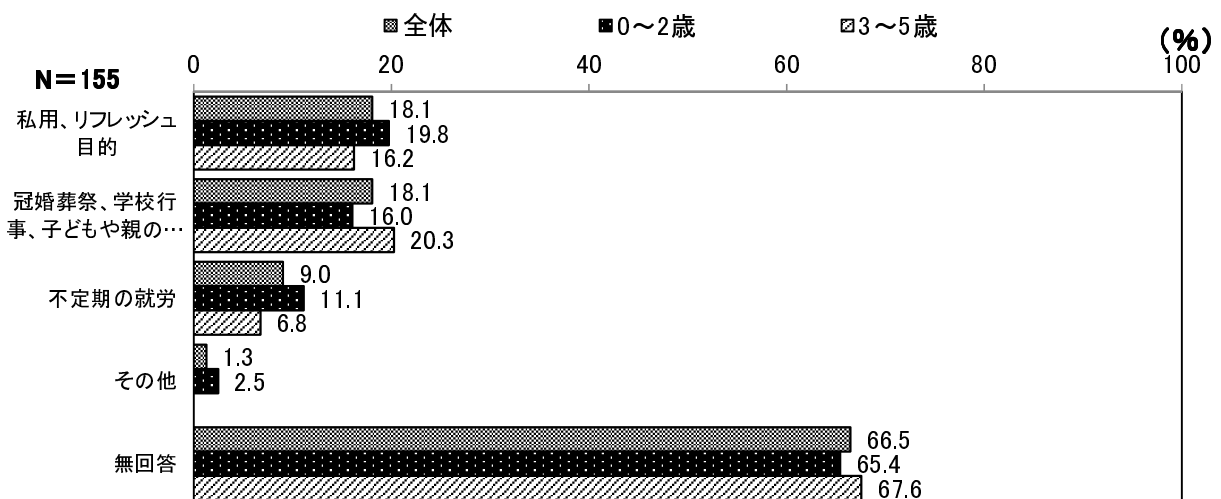
問 24 保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、あて名のお子さんの不定期に利用する事業が年間何日くらい必要だと思いますか。利用希望の有無についてお答えください。(1つに○) また、利用希望のある場合は、年間合計、目的別の内訳のおおよその日数をお答えください。

不定期での事業の利用希望は「利用したい」が36.6%となっています。

不定期での教育・保育事業の利用希望[%]



利用したい方/利用したい理由[%・複数回答]



年間希望日数では、24日までで、72.9%を占めています。最大日数は165日です。
 利用目的別では、「冠婚葬祭・学校行事など」が12日までで83.9%を占めています。「不定期の就労」では、100日を超えている方が5人で、最大150日となっています。

事業の不定期利用希望の目的日数/希望日数

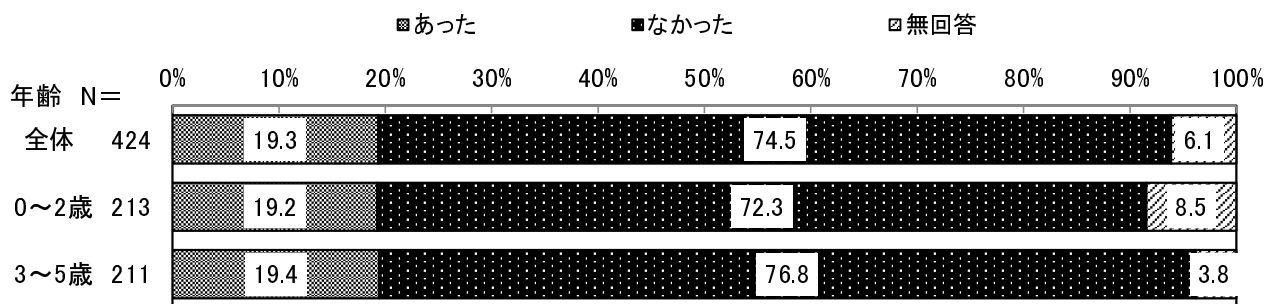
〔人〕

	～6日	～12日	～24日	～36日	～50日	51日～
年間合計	13	33	32	17	6	6
私用	36	43	13	4	2	3
冠婚葬祭・学校行事など	46	48	11	6	1	0
不定期の就労	15	12	3	4	1	5
その他	2	0	3			

問25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あったか、なかったかについてお答えください。（1つに○）また、あった場合の対処方法別の内訳のおおよその泊数をお答えください。

泊りがけで子どもを預けたことがある方は、全体で19.3%です。対処方法は、62.2%が「親族・知人にみてもらった」で、「保育事業の利用」は0件でした。

泊りがけで子どもを預けたこと【%】



泊りがけで子どもを預けたときの1年間の対処方法

〔%〕

	合計 (人)	もて	用	た	番	そ	無	
		ら	し	も	を	の	回	
	(人)	ら	し	も	を	の	回	
全体	82	62.2	0.0	12.2	0.0	1.2	30.5	
お子さんの年齢区分	0～2歳	41	61.0	0.0	19.5	0.0	2.4	26.8
	3～5歳	41	63.4	0.0	4.9	0.0	0.0	34.1

※合計列のみ人数、他は%

対処日数は、12日以内で86.4%です。最大日数は96日（1人）です。

泊りがけで子どもを預けたときの1年間の対処日数

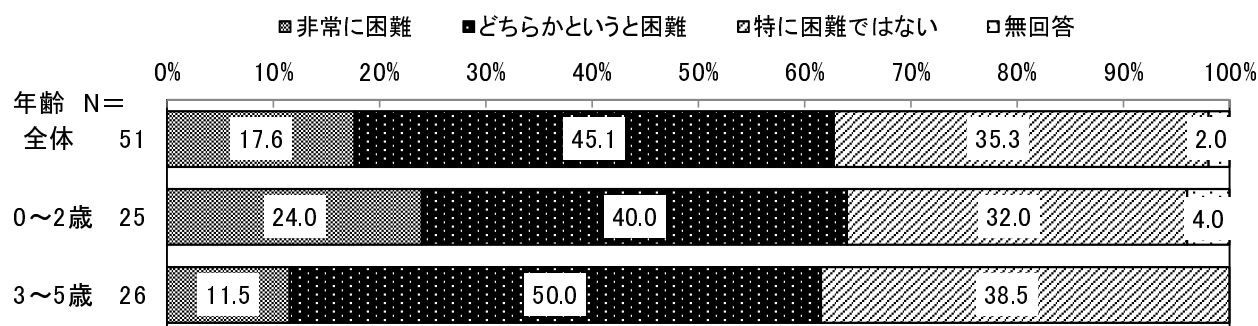
〔人〕

	～6日	～12日	～24日	～36日	～50日	51日～
親族・知人にみてもらった	43	17	7	1	1	2
同行させた	10	0	0	0	0	0

問 25-1 保護者の用事により、お子さんを泊りがけで(同居者を含む)親族・知人にみてもらった方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

「困難」と答えた方は全体で62.7%です。ひとり親世帯の方は、「どちらかという困難」「特に困難ではない」が1名ずつです。

親族等に預けた方/預けた時の困難度〔%〕



10 小学校就学後の放課後の過ごし方について

※あて名のお子さんが来年度、小学校に入学する方（66名）のみ対象

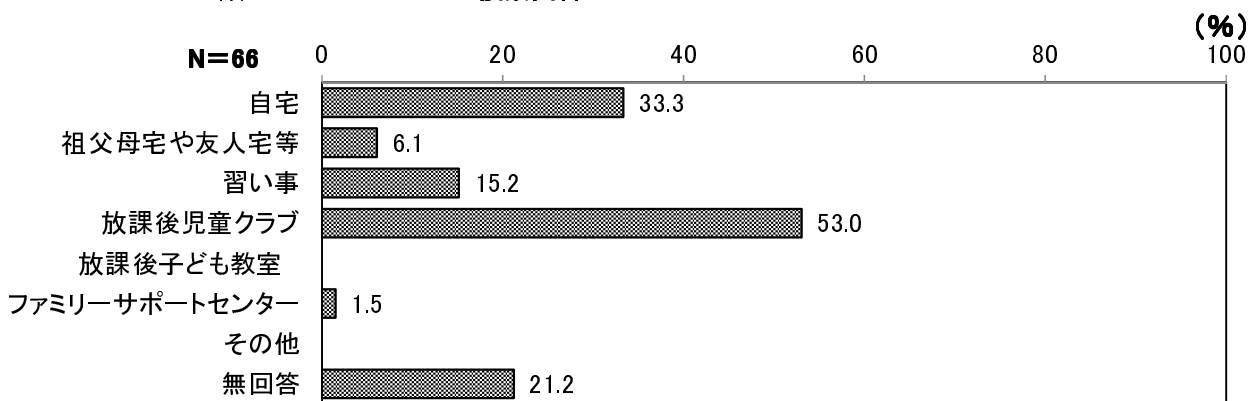
問 26 小学校に入学した後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間についてお答えください。（複数回答）また、利用を希望する日数（放課後児童クラブの場合は利用希望時間も）をお答えください。

※現在、お持ちのイメージで回答を依頼

過ごさせたい場所では、「放課後児童クラブ」が53.0%でした。利用希望日数では「放課後児童クラブ」の5日間で最も多く、低学年、高学年それぞれ50.0%と30.3%でした。「放課後児童クラブ」以外の希望は、低学年と高学年で大きな変動はありませんでした。

「放課後児童クラブ」の希望終了時間は、17時までと18時までが最も多く、この2つの時刻を合わせると、低学年では45.4%、高学年では30.3%となっています。ただし19時までの希望も多く、低学年12.1%、高学年9.1%となっています。

就学後に希望する放課後の過ごし方〔%・複数回答〕



就学後に希望する過ごし方・日数/週 〔%〕

	低学年(n=66)							
	自宅	祖母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	その他	計
1日	1.5%	0.0%	7.6%	0.0%	1.5%	0.0%	1.5%	12.1%
2日	4.5%	1.5%	10.6%	7.6%	0.0%	0.0%	1.5%	25.8%
3日	10.6%	1.5%	3.0%	4.5%	0.0%	1.5%	1.5%	22.7%
4日	1.5%	0.0%	1.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	7.6%
5日	15.2%	1.5%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
6日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	33.3%	4.5%	22.7%	66.7%	1.5%	1.5%	4.5%	

	高学年(n=66)							
	自宅	祖母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	その他	計
1日	4.5%	3.0%	7.6%	0.0%	1.5%	0.0%	1.5%	18.2%
2日	1.5%	3.0%	7.6%	4.5%	0.0%	0.0%	1.5%	18.2%
3日	4.5%	1.5%	3.0%	4.5%	0.0%	0.0%	1.5%	15.2%
4日	1.5%	0.0%	1.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	7.6%
5日	12.1%	1.5%	1.5%	30.3%	0.0%	0.0%	0.0%	45.5%
6日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	24.2%	9.1%	21.2%	43.9%	1.5%	0.0%	4.5%	

放課後児童クラブの希望終了時間〔%〕

	低学年	高学年
～15時	2.3%	3.4%
～16時	11.4%	6.9%
～17時	34.1%	37.9%
～18時	34.1%	31.0%
～19時	18.2%	20.7%

低学年 n=44

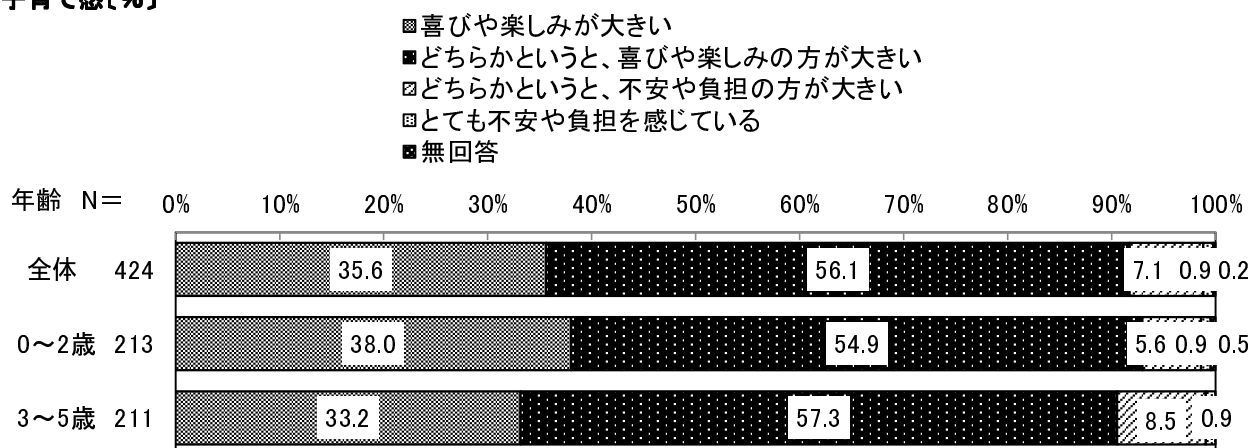
高学年 n=29

11 家庭の子育て、地域の子育て環境について

問 27 子育てをどのように感じていますか。(1つに〇)

「喜びや楽しみが大きい」「どちらかという喜びや楽しみが大きい」と答えられた方は全体で91.7%となっています。年代による大きな差はありません。ひとり親世帯では「喜びや楽しみが大きい」と答えられた方が、46.7%とふたり親世帯に比べ11.1%多いですが、「どちらかという、不安や負担の方が大きい」「とても不安や負担を感じている」方も多く、合わせると20.0%になっています。「とても不安や負担を感じている」方は、ひとり親世帯、ふたり親世帯ともに2人です。

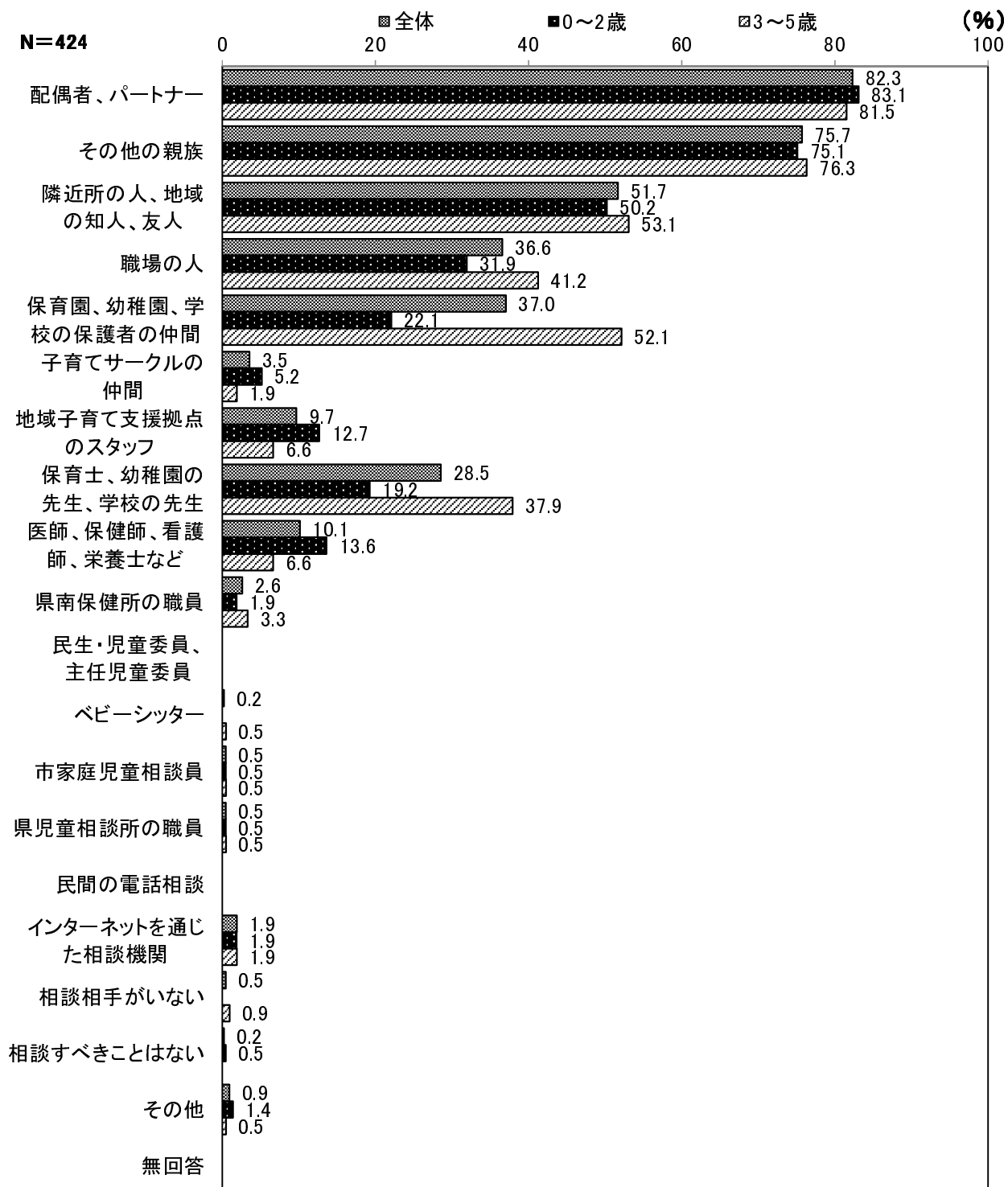
子育て感〔%〕



問 28 子育て（教育含む）をする上で、気軽に相談できる相手はいますか。（複数回答）

「配偶者・パートナー」「その他親族」「知人・友人等」の比率が年代にかかわらず高く、全体で82.3%、75.7%、51.7%の順となっています。「保育園・幼稚園の保護者仲間など」「保育士・幼稚園の先生など」「職場の人」は0～2歳に比べ、3～5歳の比率が高く、特に「保育園・幼稚園の仲間など」では、52.1%と30.0%高くなっています。ひとり親世帯では、「職場の人」の比率が50.0%とふたり親世帯の方に比べ、14.4%程高くなっています。逆に「知人・友人等」「保育園、幼稚園の保護者の仲間など」が36.7%、20.0%とふたり親世帯の方に比べそれぞれ15%以上低くなっています。

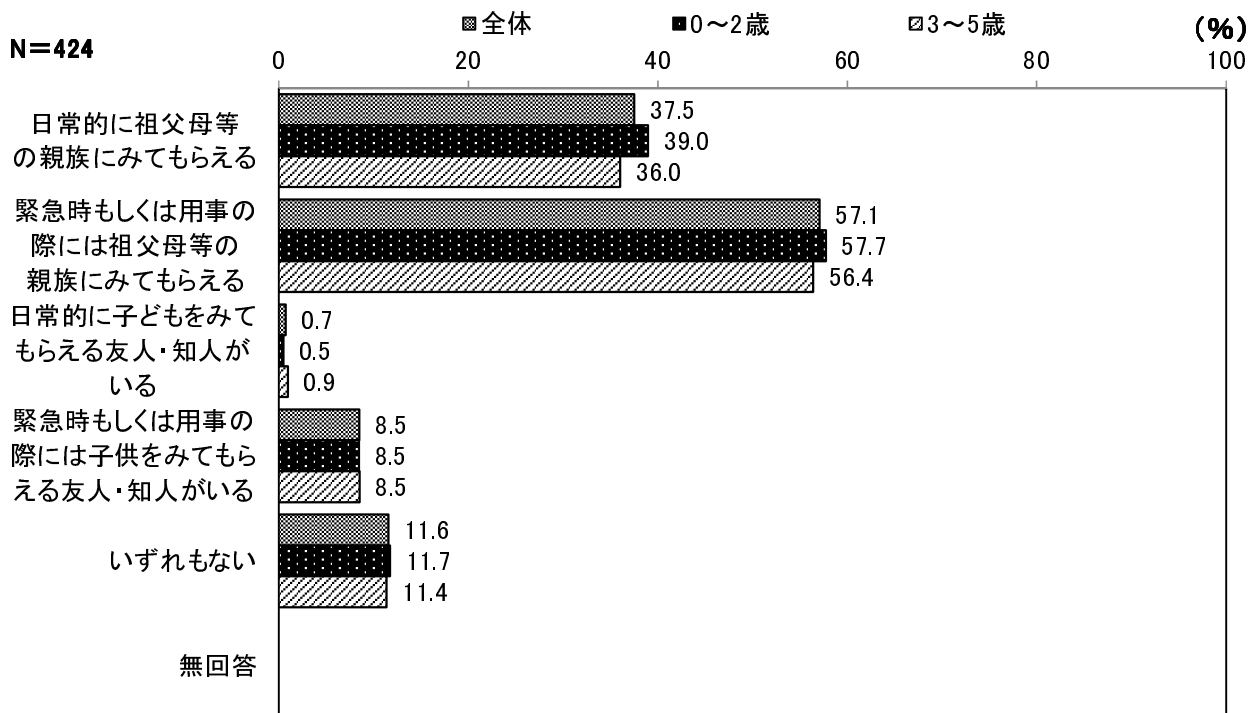
子育てで気軽に相談できる相手【%・複数回答】



問 29 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」方は全体で 37.5%ですが、「緊急時にみてもらえる親族や友人・知人等」は、合計すると全体で 65.6%です。ただ、「いずれの場合もみてもらえない」方も全体で 11.6%います。ひとり親世帯では、日常的、緊急的ともにみてもらえる親族がそれぞれ 43.3%、60.0%いて、「いずれもない」方は 6.7%とふたり親世帯の方よりも少ないです。

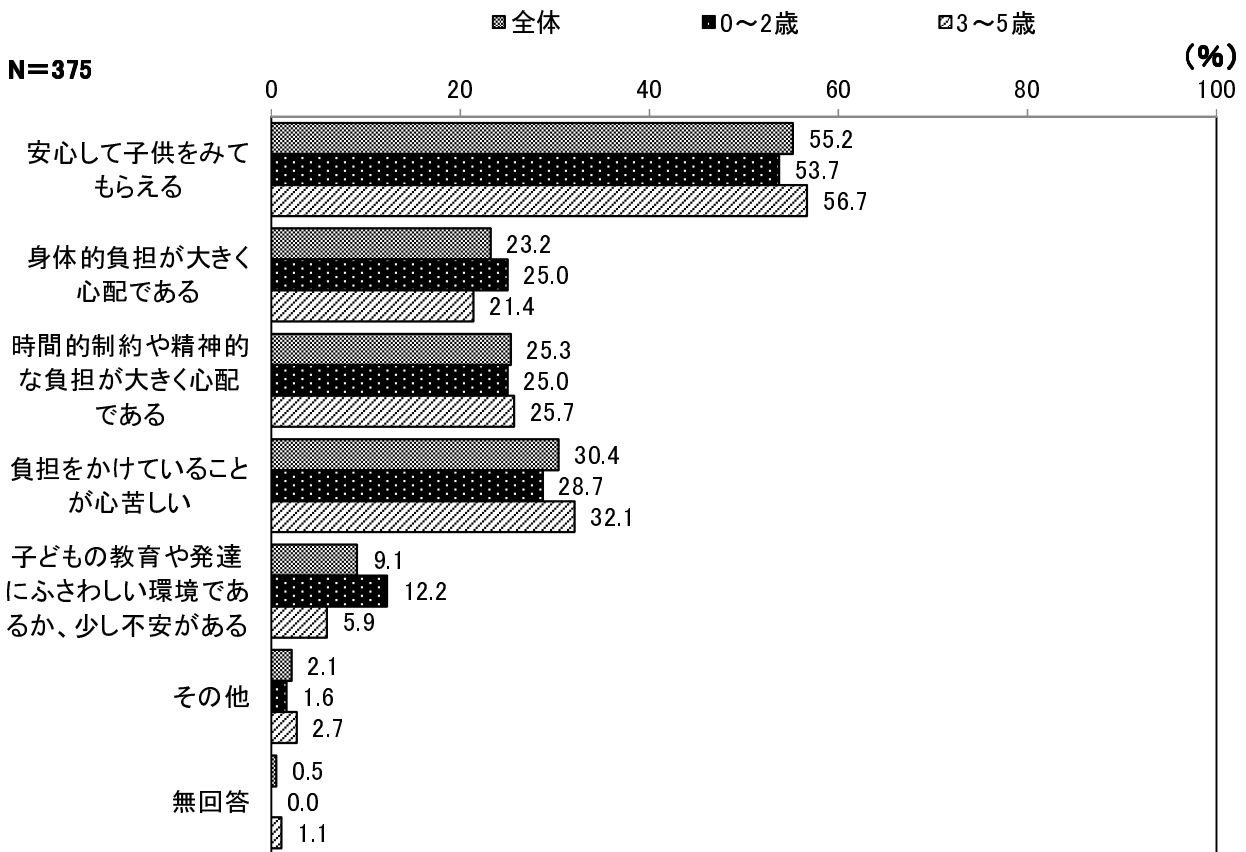
日頃子どもをみてもらえる親族・知人【%・複数回答】



問 29-1 問 29 で「お子さんをみてもらえる」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（複数回答）

「安心して子供をみてもらえる」方は全体で 55.2%で、年代による差はあまりありません。ただし、「身体的な負担」「時間や精神的な負担」をかけていることをそれぞれ 25%程度の方が心配されています。

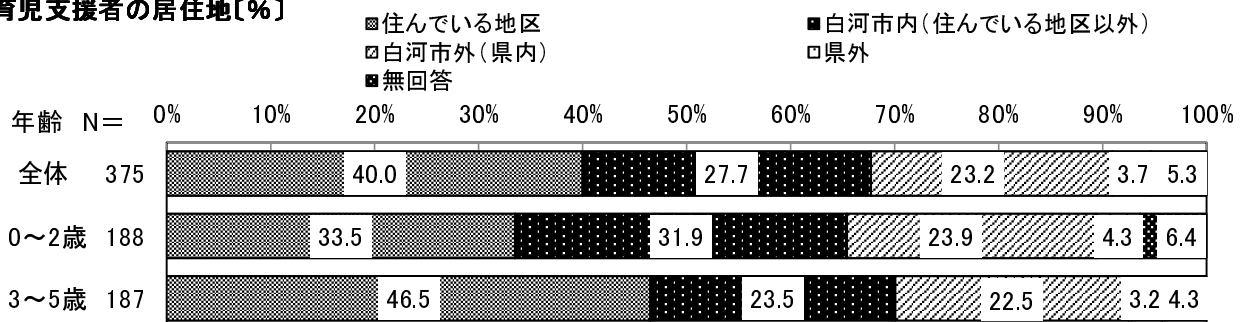
育児支援者がいる方/状況[%・複数回答]



問 29-2 問 29 で「お子さんをみてもらえる」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。お子さんをみてもらっている親族・知人は、どちらにお住まいですか。

0~2歳では「住んでいる地区」に住んでいる方が 33.5%なのに対し、3~5歳では 46.5%となっています。白河市内まで地域を広げると、差は 4.6%になります。

育児支援者の居住地[%]



問 30 子育てに関して、悩みや気にかかることはありますか。(項目毎にあてはまる番号 1 つに○)

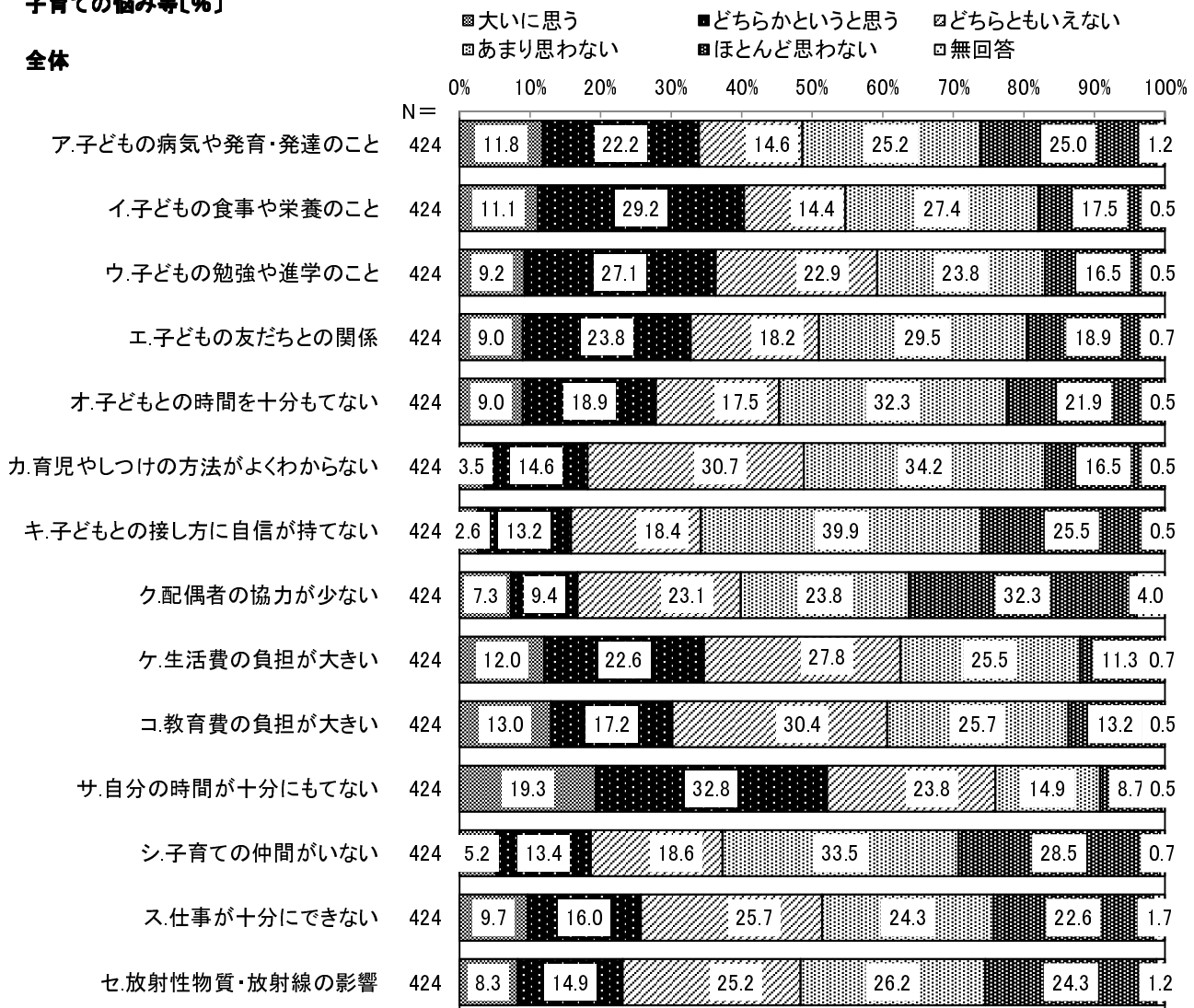
全体では、悩みやストレスについて「大いに思う」方が最も多いのは「自分の時間が十分にもてない」で 19.3%、「どちらかというと思う」方を入れても最も多い (52.1%) 項目となっています。次いで「大いに思う」で多いのは「教育費の負担」「生活費の負担」「子どもの病気や発育・発達のこと」でそれぞれ 13.0%、12.0%、11.8%となっています。「どちらかというと思う」まで含めると「子どもの食事や栄養のこと」「子どもの勉強や進学のこと」が増え、それぞれ 40.3%、36.3%となります。

また、0～2歳と3～5歳の比較では、「子どもの勉強や進学のこと」「子どもの友だちとの関係」「子どもとの時間を十分もてない」が、3～5歳の方が10%以上多く、「子育ての仲間がいない」「仕事が十分にできない」は0～2歳の方が5%以上多い項目です。

ひとり親世帯で「大いに思う」方が最も多いのは「生活費の負担」で33.3%、次いで多いのは「自分の時間が十分にもてない」「教育費の負担」「配偶者の協力が少ない(得られない)」でそれぞれ23.3%、20.0%、20.0%となっています。「どちらかというと思う」まで含めると「自分の時間が十分にもてない」が53.3%と多くなりますが、「生活費の負担」「放射性物質・放射線の影響が心配」「仕事が十分にできない」「子どもとの時間を十分もてない」「教育費の負担」がふたり親世帯にくらべ、10%以上多い項目になっています。

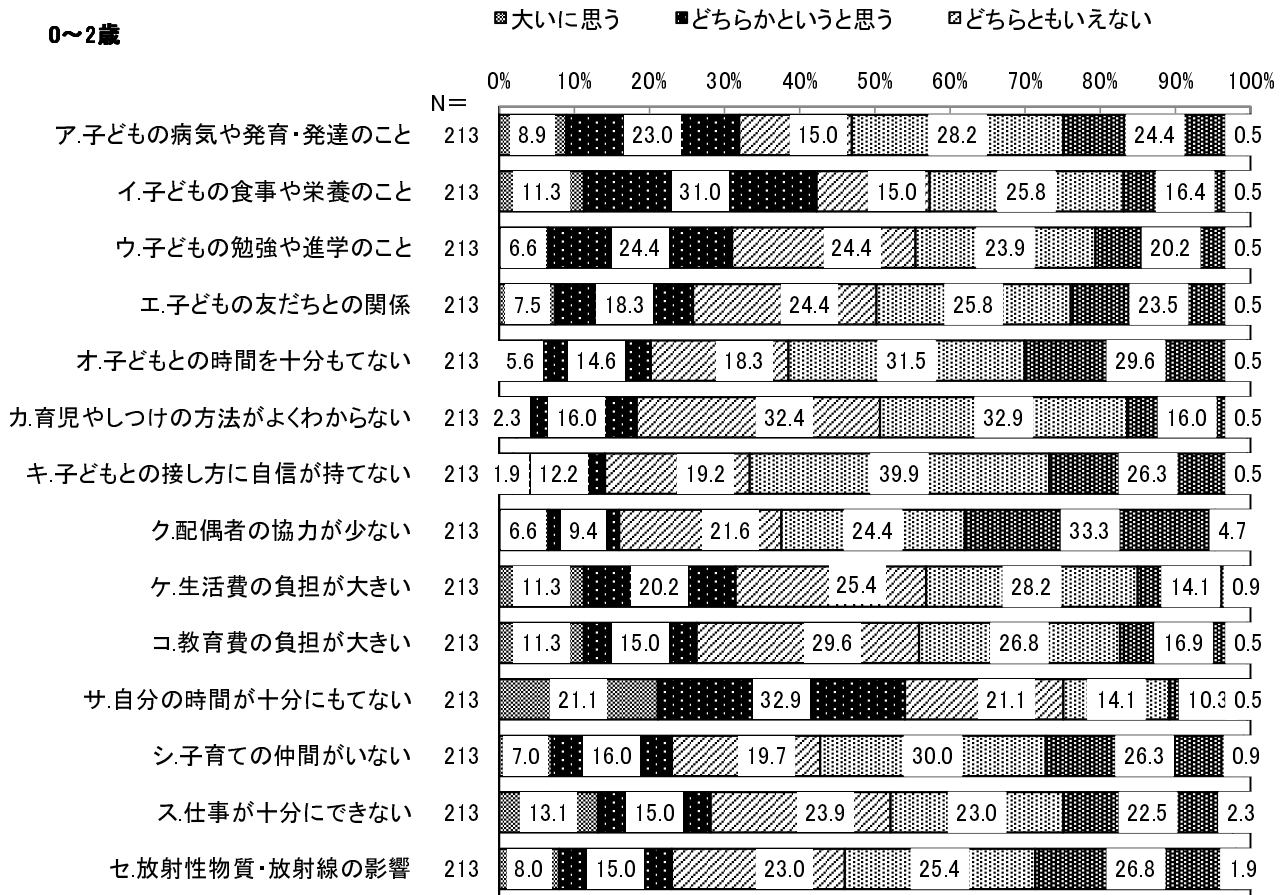
子育ての悩み等【%】

全体



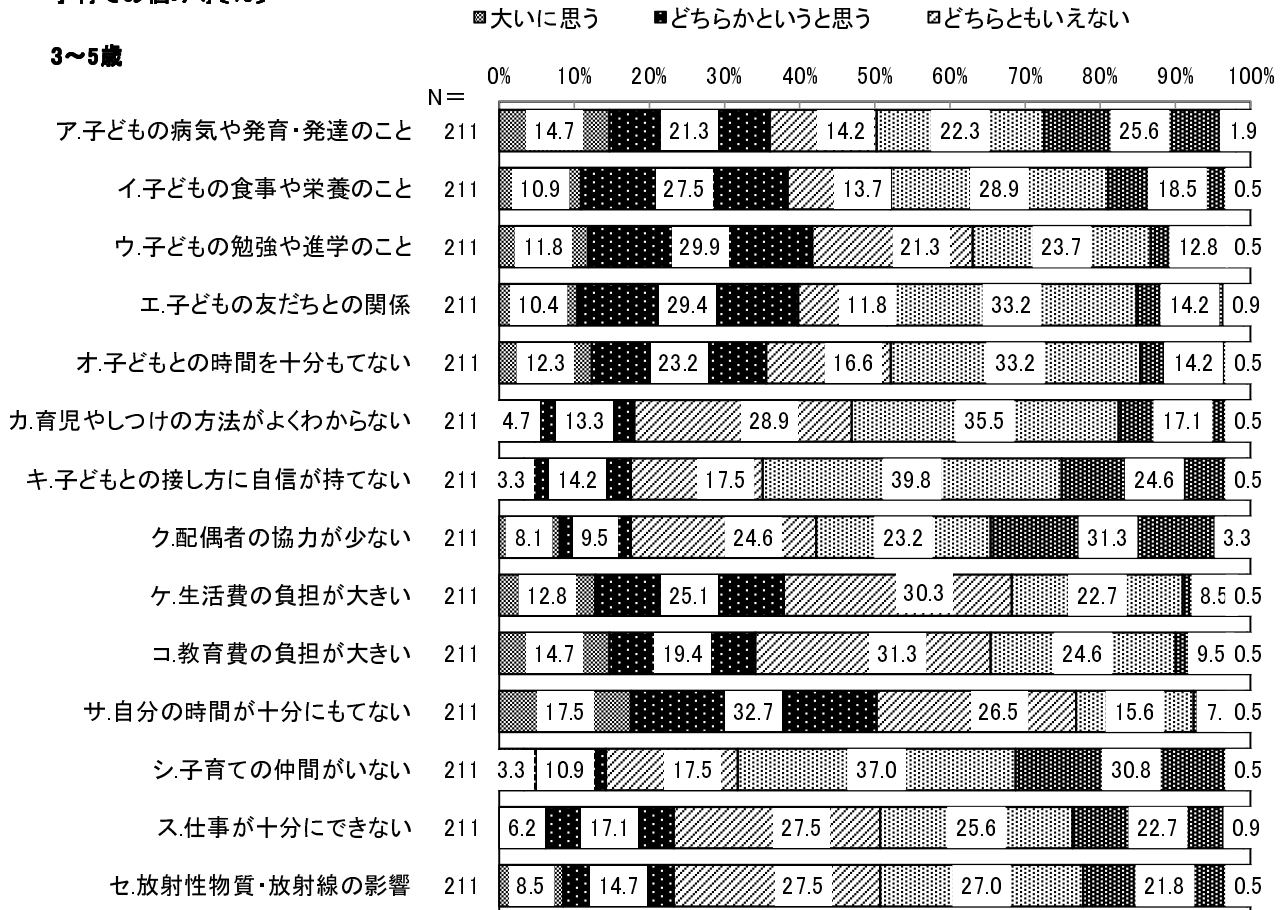
子育ての悩み等[%]

0~2歳



子育ての悩み等[%]

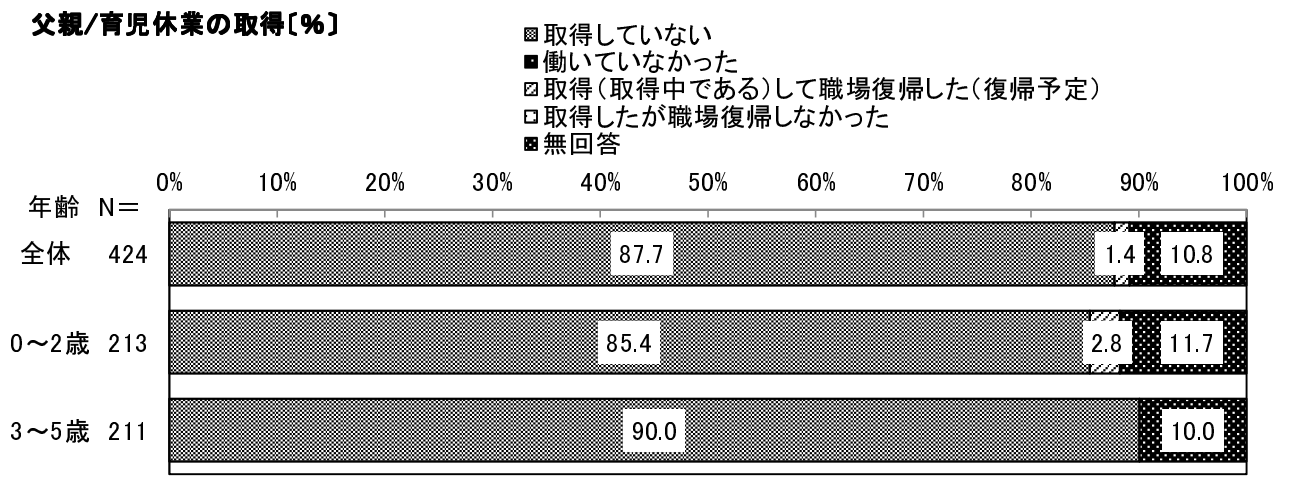
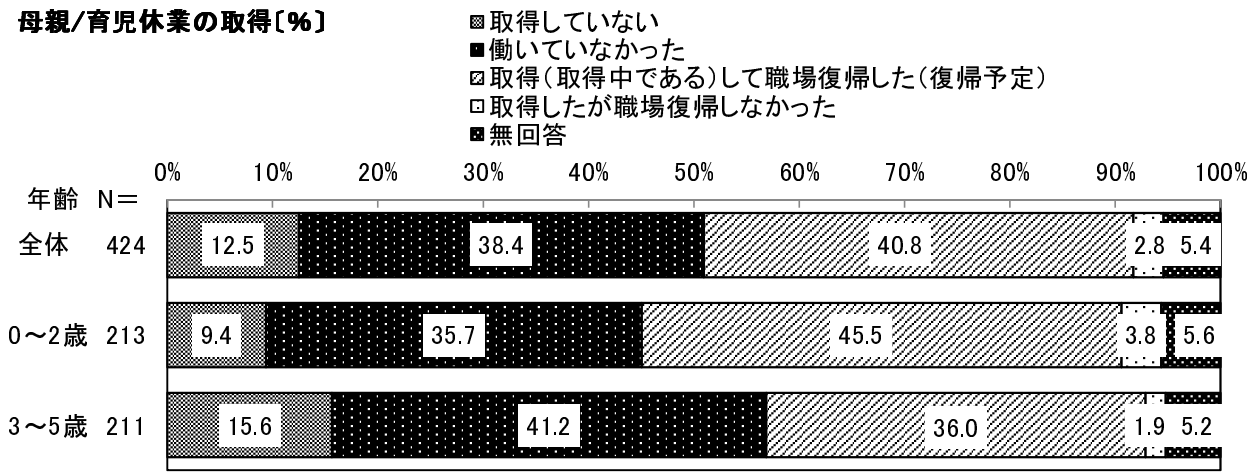
3~5歳



●仕事と子育ての両立について

問 31 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれについて1つに○)

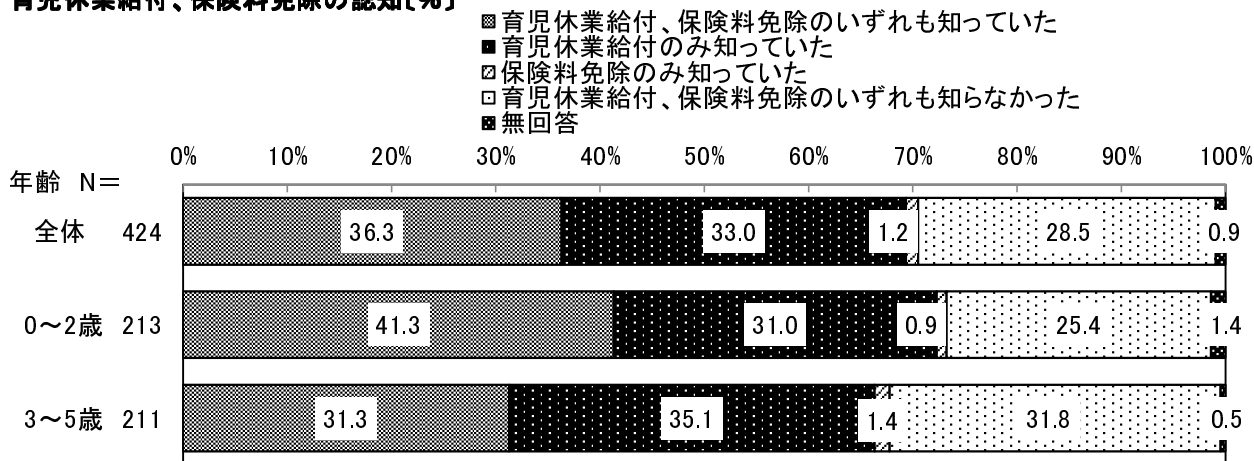
母親の育児休業は、年代区分が若い 0～2 歳の方が取得率が高く 49.3%と 3～5 歳に比べ 11.4%高くなっています。父親の取得率は全般的に低く、0～2 歳で 2.8%、3～5 歳では 0 件です。また母親では、全体で 2.8%の方が、育休後職場復帰されていません。



問 31-1 子どもが原則 1 歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は再延長で最大 2 歳まで）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等※（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（1 つに○）

「育児休業給付」「保険料免除」両方知っていた方は全体では 36.3%ですが、両方知らなかった方も 28.5%います。「保険料免除」を知らない方は 0～2 歳でも 56.4%います。

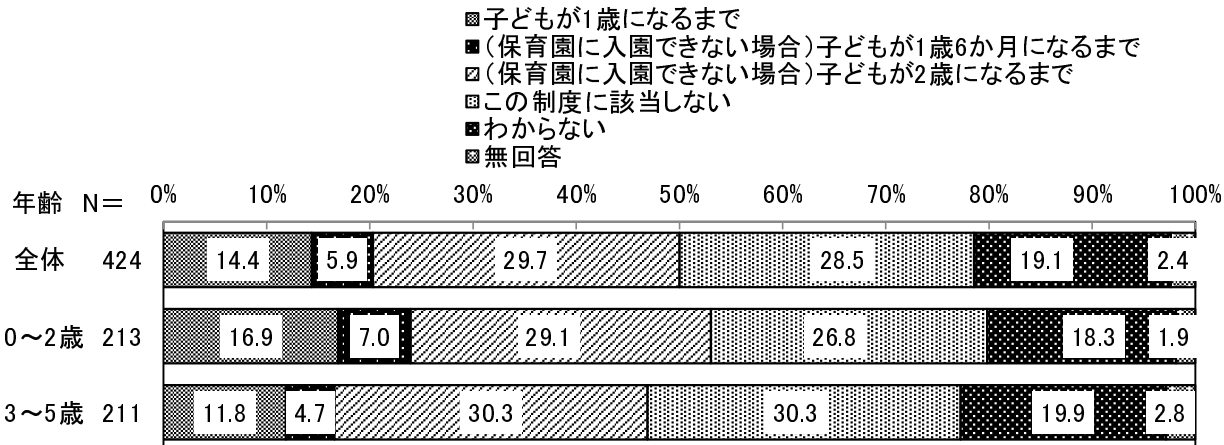
育児休業給付、保険料免除の認知[%]



問 31-2 平成 29 年 10 月より育児休業給付金の支給期間が、最長で子どもが 2 歳になるまでに延長されています。この制度改正を踏まえ、子どもが何歳になるまで、育児休業給付金を受給したいと思いますか（または受給しましたか）。（1 つに○）

育児休業給付金の支給を 1 歳 6 か月以降 2 歳まで希望されている方は全体では 29.7%、また、わからないと回答されている方も 19.1%います。

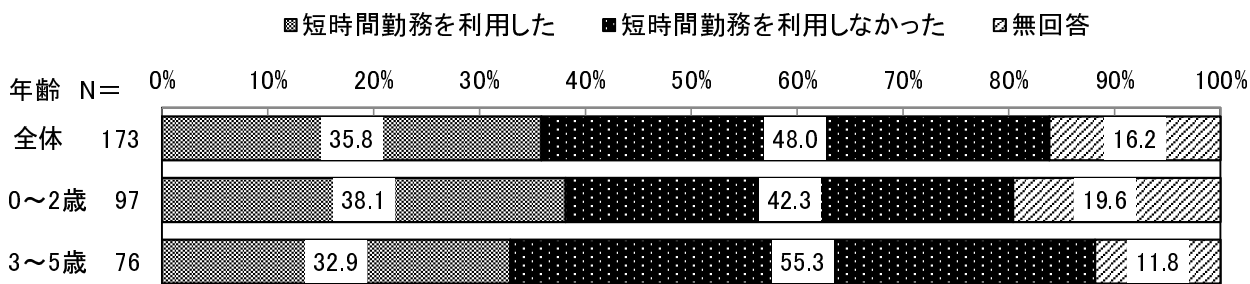
育児休業給付金を受給したい期間[%]



問 31-3 育児休業を取得して職場復帰した方にかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに〇)

短時間勤務制度を利用された方は、0~2歳で38.1%と3~5歳の方に比べ5.2%多くなっています。

職場復帰した母親/短時間勤務制度の利用状況[%]



※ 職場復帰した父親/短時間勤務制度の利用状況

父親の当設問の該当者(育児休業取得)は0~2歳の方6人で、全員短時間勤務は利用しませんでした。そのため結果記載は省略します。

問 31-4 短時間勤務を利用しなかった方にかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(複数回答)

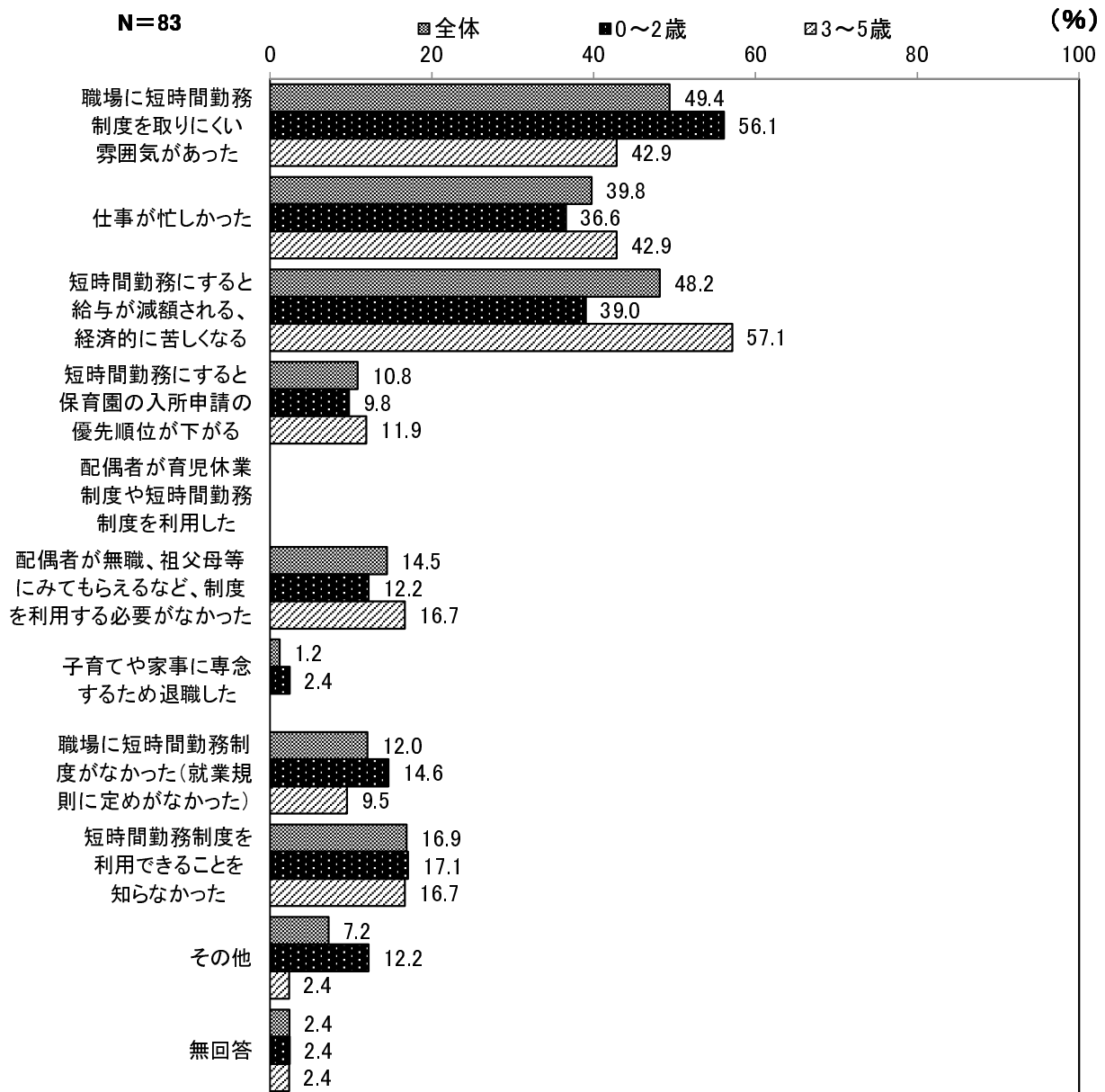
取得しなかった理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「短時間勤務にすると給与が減額される、経済的に苦しくなる」がそれぞれ40%~50%で多くなっていますが、0~2歳では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が56.1%で最も多く(3~5歳との差は13.2%)、3~5歳では、「短時間勤務にすると給与が減額される、経済的に苦しくなる」が57.1%で最も多く(0~2歳との差は18.1%)なっています。

また、0~2歳の方で、「制度がなかった」「制度を利用できることを知らなかった」と答えられた方が、それぞれ14.6%、17.1%います。

※ 職場復帰した父親/短時間勤務制度の利用しなかった理由

父親の当設問の回答者は4人のため結果記載は省略します。「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「短時間勤務にすると給与が減額される、経済的に苦しくなる」と3名が回答され、「仕事が忙しかった」「制度を利用できることを知らなかった」と回答された方がそれぞれ1名です。

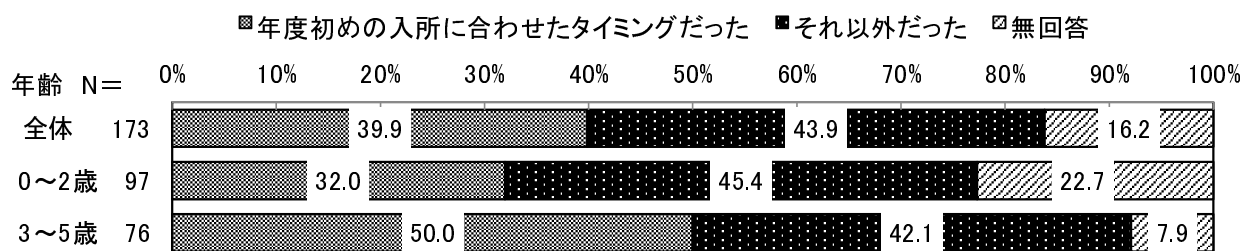
時短未利用の母親/利用しなかった理由[%・複数回答]



問 31-5 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

復帰のタイミングは、3~5歳では50.0%の方が「入所のタイミング」ですが、0~2歳の方は、32.0%で、復帰のタイミングに差があります。

職場復帰した母親/職場に復帰したタイミング[%]



※ 職場復帰した父親/職場に復帰したタイミング

父親の当設問の回答者は6人のため結果記載は省略します。「年度初めの入所に合わせたタイミング」と回答された方が1人で、「それ以外」と回答された方は4人です。無回答1人です。

問 31-6 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

母親は、7ヶ月～12ヶ月間取得された方、7ヶ月～12ヶ月間取得希望の方がともに55%前後で最も多くなっています。13ヶ月以上では、実際の取得よりも取得希望されている方が、10.2%多くなっています。父親で取得期間を回答された方は2人で、14ヶ月と15ヶ月です。

職場復帰した母親/育児休暇取得期間・希望期間 (人)

	～6か月	～12か月	～18か月	～24か月	25か月～	計
実際の取得期間	19	82	25	12	7	145
希望取得期間	8	70	26	15	12	131

職場復帰した父親/育児休暇取得期間・希望期間 (人)

	～6か月	～12か月	～18か月	～24か月	25か月～	計
実際の取得期間			2			2
希望取得期間		1	1			2

取得期間と希望期間の差ですが、2ヶ月～12ヶ月取得された方には取得よりも希望期間が長い方が多く、63.6%となっています。

父親は、希望期間が同じ方と短い方が、それぞれ1人です。

職場復帰した母親/育児休暇取得期間と希望期間の差 (人)

	実際の取得期間					
	～6か月	～12か月	～18か月	～24か月	25か月～	計
取得期間より短期間		4	10	3		17
取得期間と同期間	6	22	8	6	4	46
取得期間より長期間	11	45	6	3	3	68

問 31-7 お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

父親は 12 ヶ月までで 46.7%ですが、母親は 19 ヶ月以上の比率が 63.7%、31 ヶ月～36 ヶ月の取得希望が 42.7%です。

育児休暇制度が 3 歳まであった場合の希望取得期間 (人)

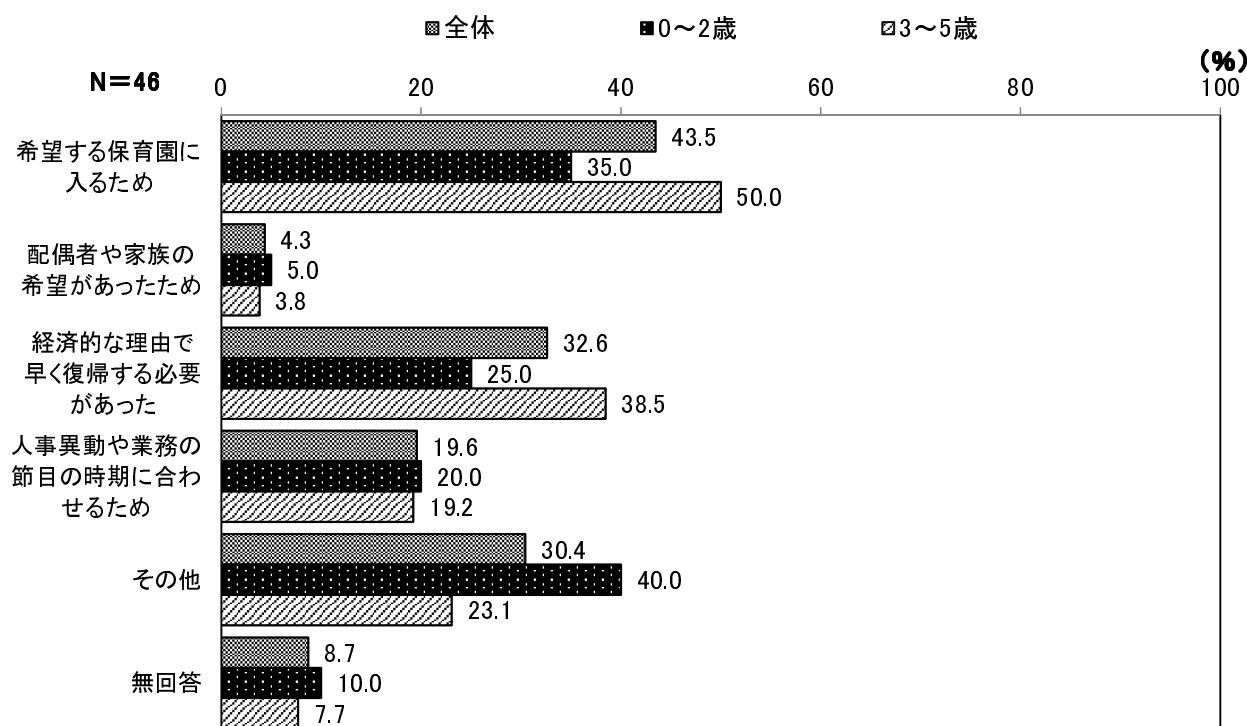
	～6か月	～12か月	～18か月	～24か月	～30か月	～36か月	計
母親	1	35	26	31	5	73	171
父親	9	12	7	3	0	14	45

問 31-8 問 31-6 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

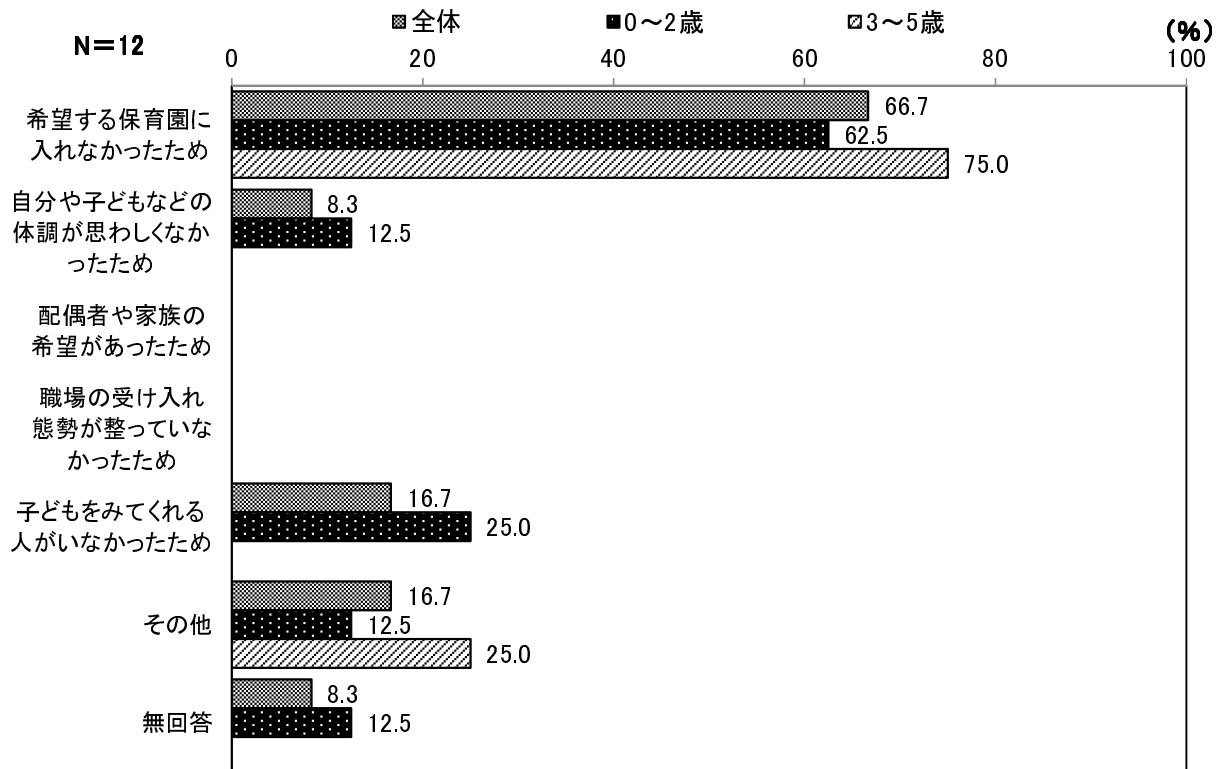
職場復帰が希望と違った場合、早くなった場合、遅くなった場合とも「保育園」の要因が大きくなっています。早く復帰した場合で、「希望する保育園に入るため」が全体で 43.5%で、続いて「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 32.6%です。遅く復帰した場合には、「希望する保育園に入れなかったため」が全体で 66.7%となっています。

父親は、早く復帰したと回答した方は 1 人で、「配偶者や家族の希望があったため」が理由です。遅く復帰したと回答した方も 1 人で、「希望する保育園に入れなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」が理由です。

職場復帰した母親/希望より早く復帰した理由[%・複数回答]



職場復帰した母親/希望より遅く復帰した理由〔%・複数回答〕



希望よりも早く復帰した方で、その他に記入頂いた内容は、職場の雰囲気や忙しさをあげられた方が16人で、自身の都合が4人、保育園の入園都合2人、自営業のためが1人です。遅く復帰した方は、保育園の入園都合が2人です。

●今後の市の取組について

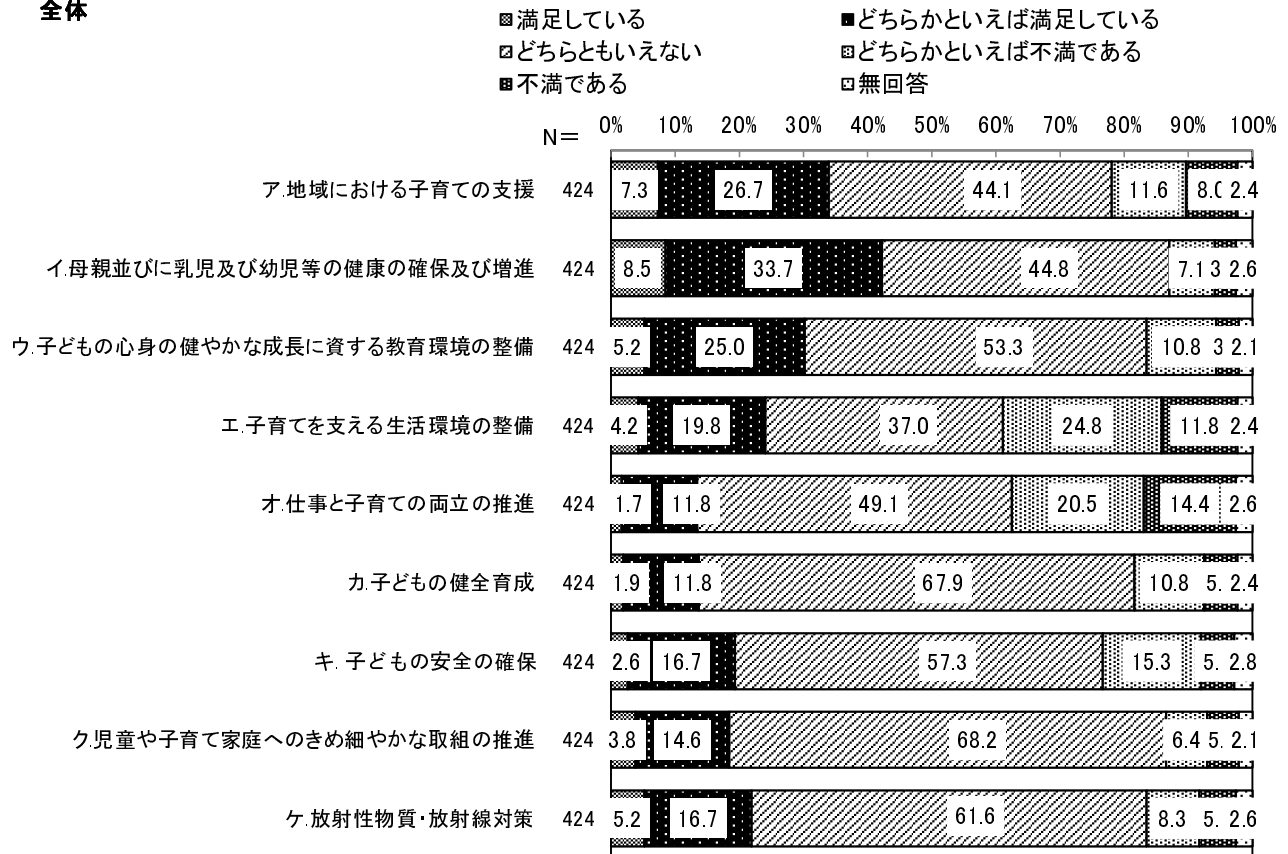
問 32 市の子育て支援の取組についてどのように感じていますか。(項目毎にあてはまる番号 1 つに○)

満足度で高い傾向にあるのが、「母親並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進」、「地域における子育ての支援」、「子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備」で、満足傾向の方はそれぞれ、42.2%、34.0%、30.2%です。逆に低い傾向のものは、「仕事と子育ての両立の推進」で不満傾向の方が 34.9%です。評価がまちまちなのは、「子育てを支える生活環境の整備」「子どもの安全の確保」で高い傾向の比率はそれぞれ 24.1%、19.3%で低い傾向は 36.6%、20.5%となっています。

年代別ではあまり差はありませんが、0～2 歳の方の評価が高いのは、「子育てを支える生活環境の整備」、「放射性物質・放射線対策」で、3%ほど多くなっています。「子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備」は 6.8%、3～5 歳の方の満足が高い傾向です。「子どもの安全の確保」「児童や子育て家庭へのきめ細やかな取組の推進」「仕事と子育ての両立の推進」は 3～5 歳の方で満足度が低い傾向の方が 5%～10%程度上回っています。「子どもの健全育成」は、3～5 歳の方の評価がまちまちなです。

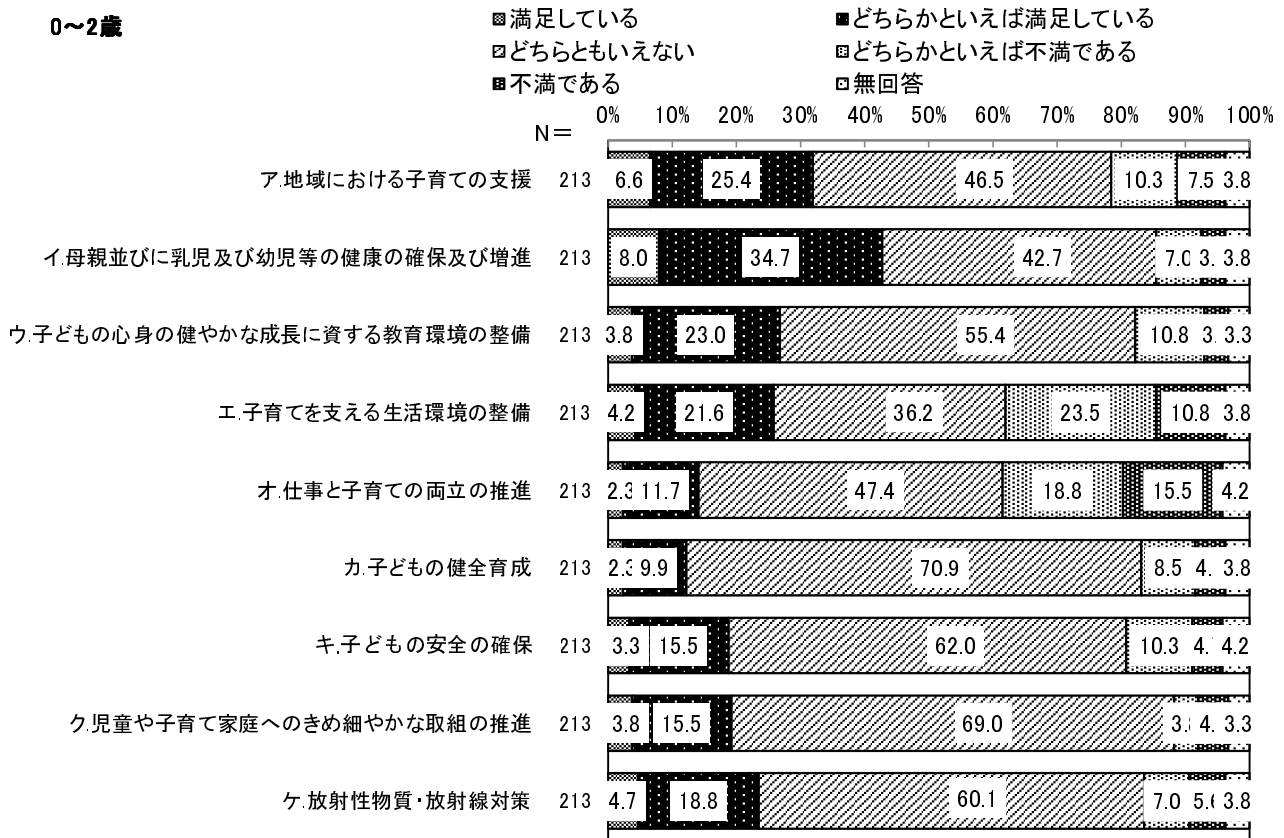
市の取組の満足度[%]

全体



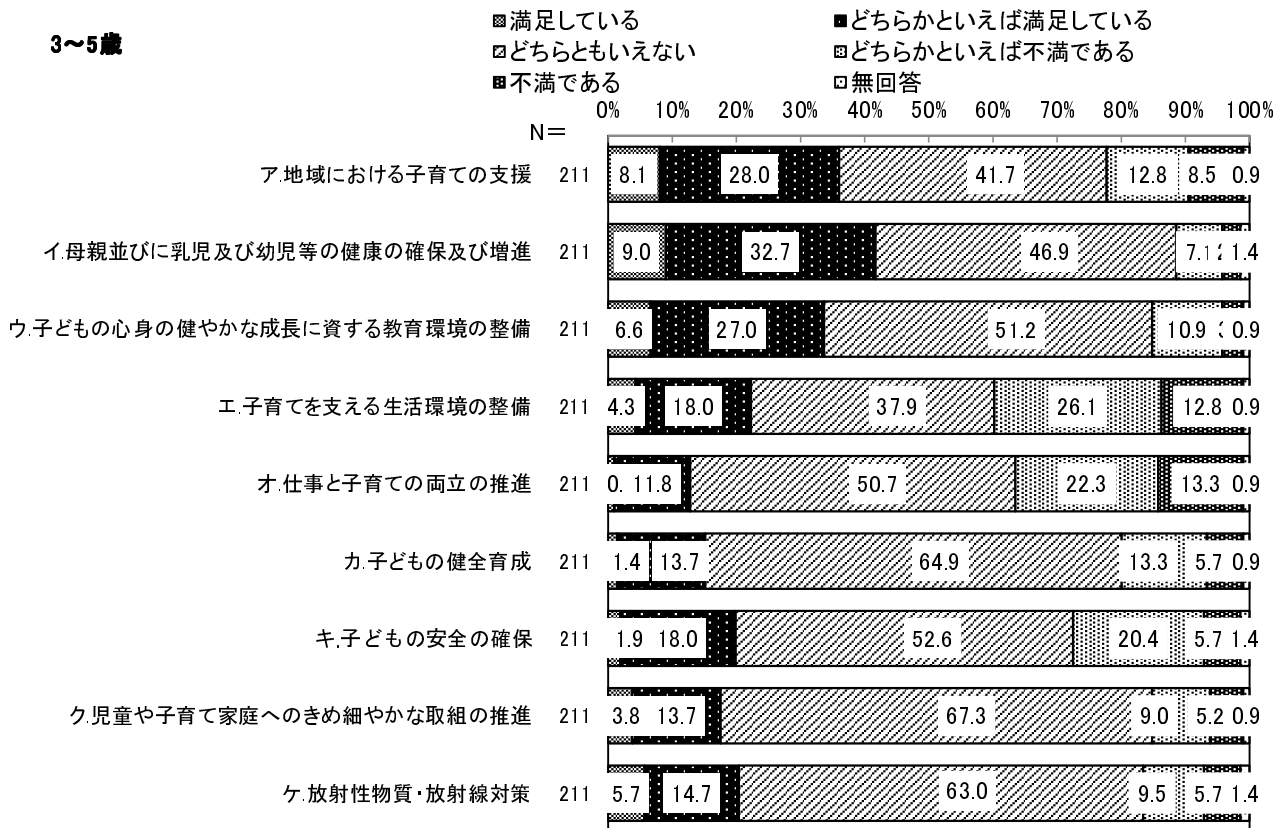
市の取組の満足度【%】

0～2歳



市の取組の満足度【%】

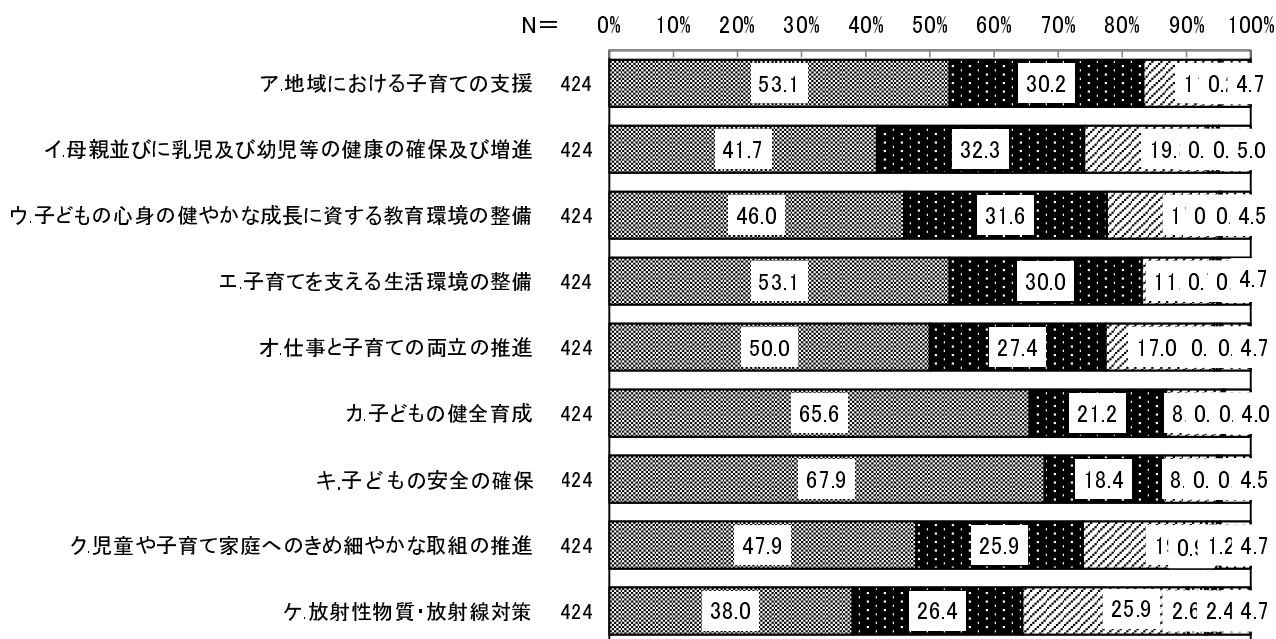
3～5歳



市の取組の重要度[%]

全体

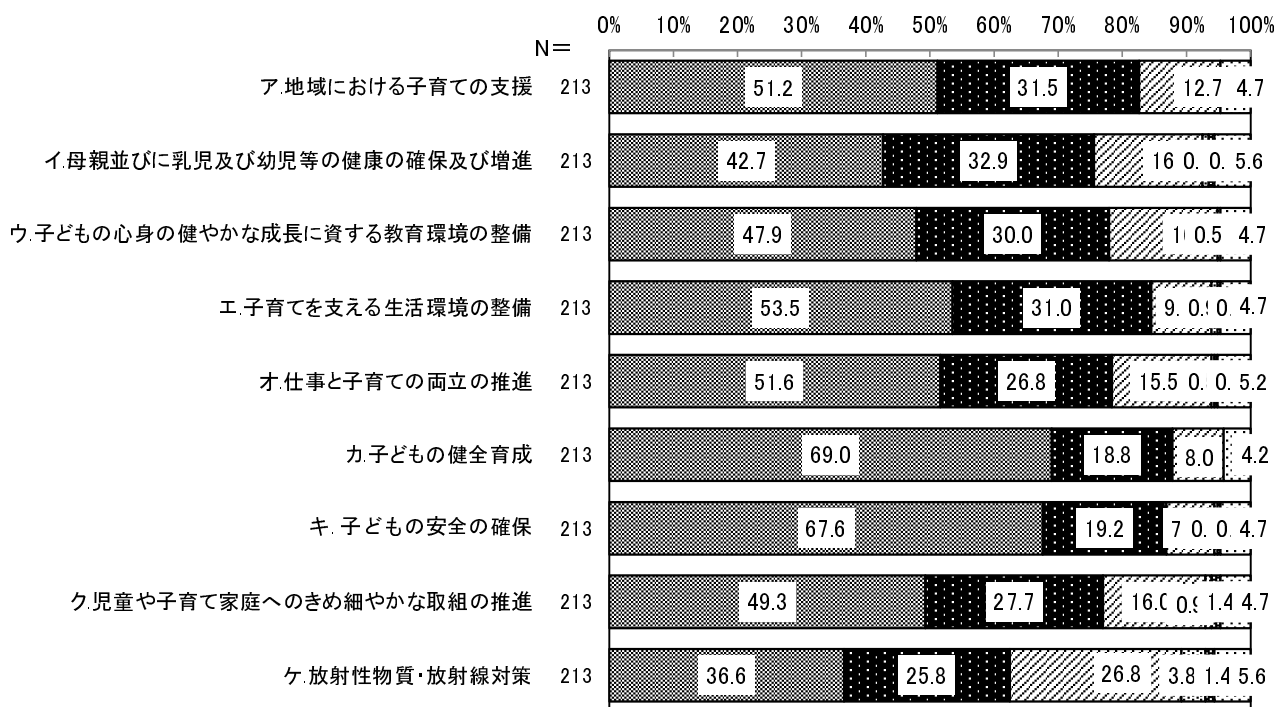
- 重要である
- どちらともいえない
- 重要ではない
- どちらかといえば重要である
- どちらかといえば重要ではない
- 無回答



市の取組の重要度[%]

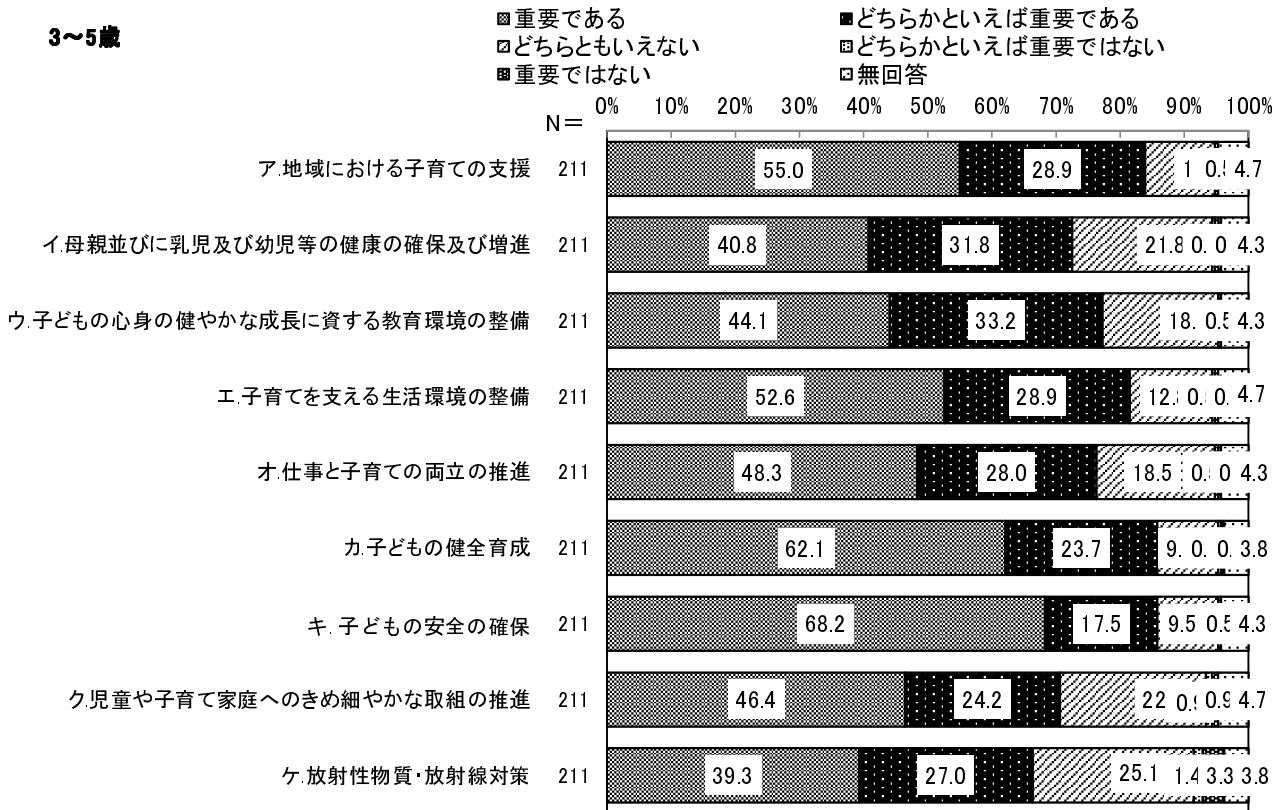
0~2歳

- 重要である
- どちらともいえない
- 重要ではない
- どちらかといえば重要である
- どちらかといえば重要ではない
- 無回答



市の取組の重要度【%】

3～5歳

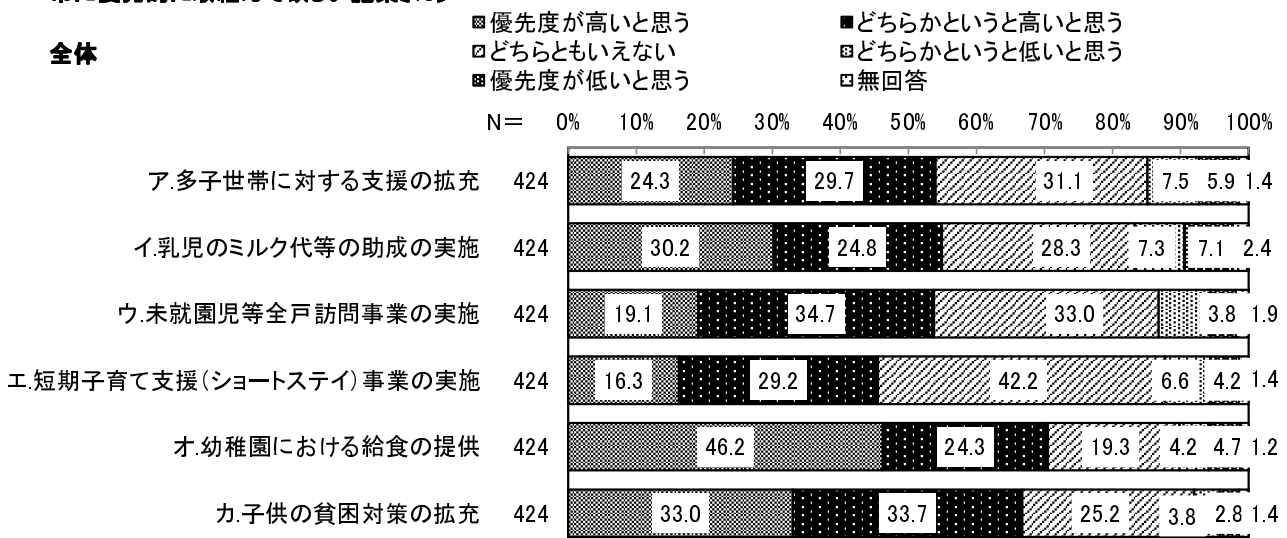


問 33 今後、市に優先的に取り組んで欲しい施策についてお答えください。（項目毎にあてはまる番号 1 つに○）

市で優先的に取り組んでほしい施策は、「幼稚園における給食の提供」「子供の貧困対策の拡充」が全体では高く、それぞれ「優先度が高いと思う」方の比率は、46.2%、33.0%となっています。また、「幼稚園における給食の提供」「乳児のミルク代等の助成の実施」「多子世帯に対する支援の拡充」は0～2歳の方のニーズが高い傾向で、それぞれ「優先度が高いと思う」方が、9.0%、10.1%、5.0%、3～5歳の方より多くなっています。

市に優先的に取り組んで欲しい施策【%】

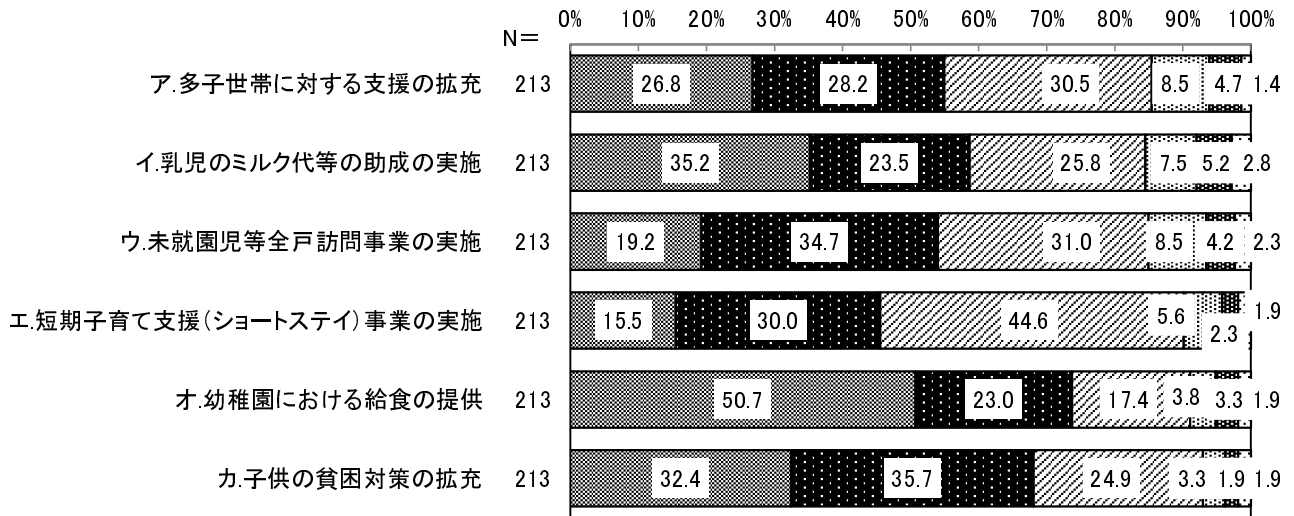
全体



市に優先的に取組んで欲しい施策[%]

0~2歳

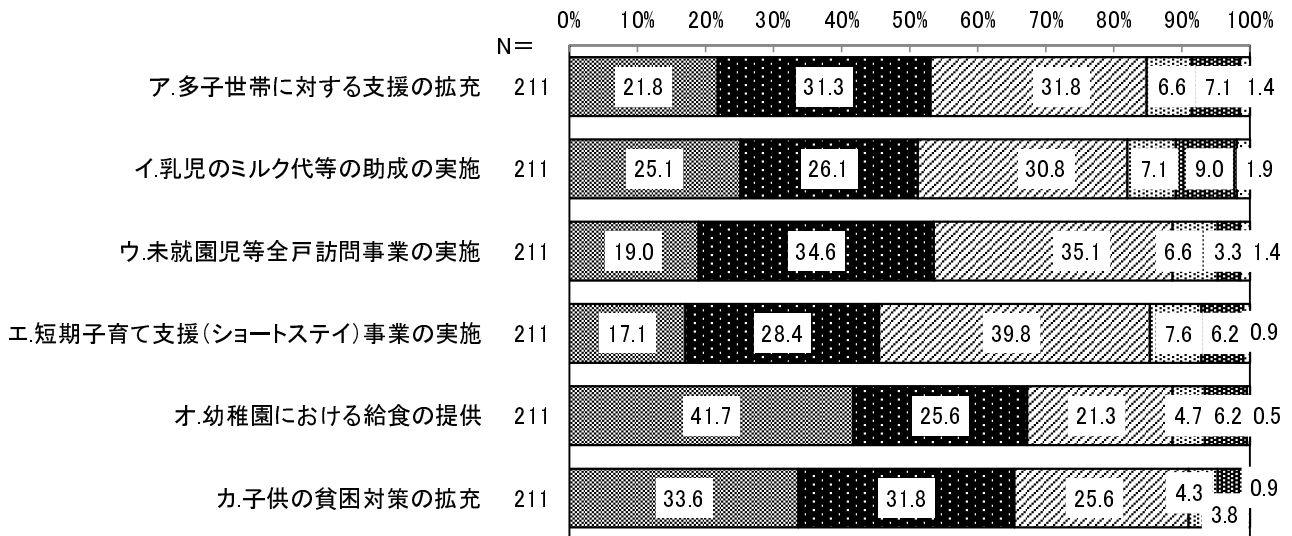
- 優先度が高いと思う
- どちらともいえない
- 優先度が低いと思う
- どちらかという高いと思う
- どちらかという低いと思う
- 無回答



市に優先的に取組んで欲しい施策[%]

3~5歳

- 優先度が高いと思う
- どちらともいえない
- 優先度が低いと思う
- どちらかという高いと思う
- どちらかという低いと思う
- 無回答



[自由記載]

問 34 市の子育て支援や環境づくりについてのご意見、ご要望をご自由にお書きください。

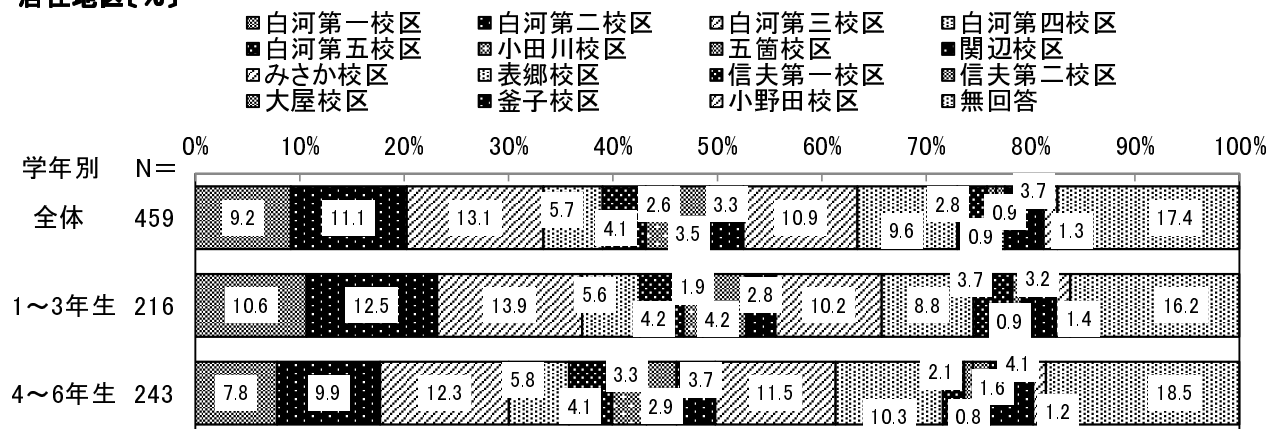
II. 小学生

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

最も多い「白河第三小学校区(13.1%)」に対し、最も少ないのは「信夫第二小学校区(0.9%)」「大屋小学校区(0.9%)」となっています。「大屋小学校区」では1年生～3年生の区分で、回答者が0人となりました。

居住地区[%]



小学生アンケート回答者は問2の年齢別に、以下の通りとなっています。

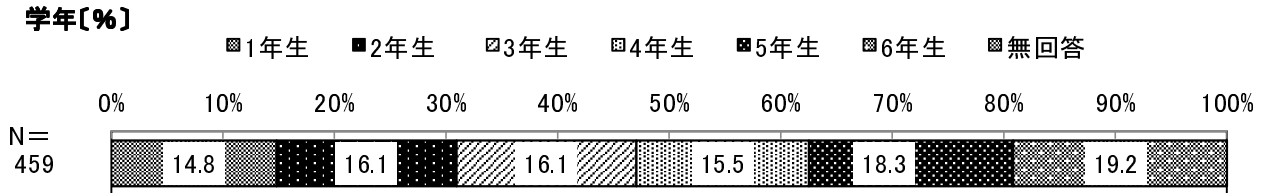
(人)

		合計	問2.あて名のお子さんの平成30年度の学年をお答えください。						
			小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	無回答
全体		459	68	74	74	71	84	88	0
問1.お住まいの地区はどちらですか。	白河第一小学校区	42	8	9	6	4	8	7	0
	白河第二小学校区	51	10	9	8	5	11	8	0
	白河第三小学校区	60	11	9	10	5	14	11	0
	白河第四小学校区	26	1	5	6	6	3	5	0
	白河第五小学校区	19	1	2	6	4	3	3	0
	小田川小学校区	12	0	2	2	3	2	3	0
	五箇小学校区	16	3	4	2	3	1	3	0
	関辺小学校区	15	1	2	3	4	3	2	0
	みさか小学校区	50	7	7	8	4	6	18	0
	表郷小学校区	44	5	4	10	8	9	8	0
	信夫第一小学校区	13	4	4	0	1	3	1	0
	信夫第二小学校区	4	0	1	1	1	0	1	0
	大屋小学校区	4	0	0	0	3	0	1	0
	釜子小学校区	17	1	4	2	5	4	1	0
小野田小学校区	6	2	0	1	0	2	1	0	

2 お子さんご家族の状況について

問2 お子さんの平成30年度の学年をお答えください。

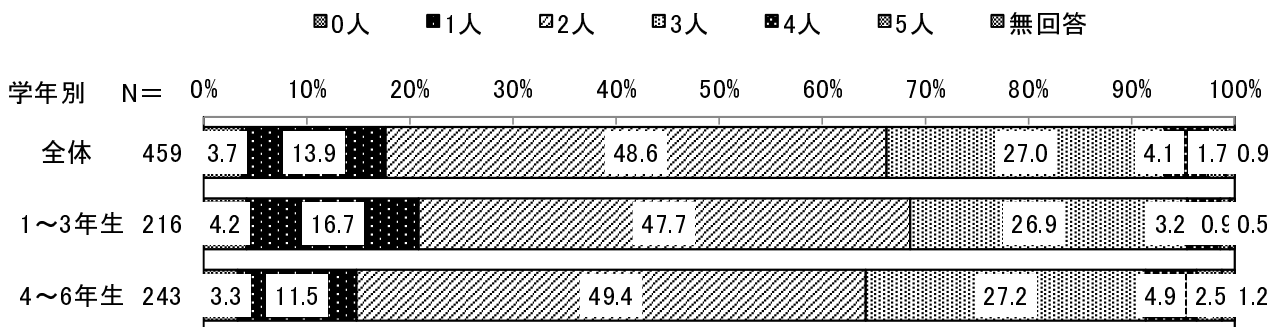
アンケートに回答されたお子さんの学年割合は以下の通りとなっています。高学年が少し高い傾向です。



問3 きょうだいの人数と末子の方の年齢（末子の方の実際の記入は生年月日）を教えてください。（きょうだいの人数は、調査対象の子を含めた人数）

きょうだいの人数は2人が最も多く、全体でも48.8%となっています。3人と回答された方も27.0%で、2人以上の世帯が81.4%です。ただし、きょうだい“0人”と回答された方が全体で3.7%おり、きょうだいの人数については精査が必要です。アンケート対象のお子さんが末子の方が145人で、対象の方の他に末子がいる方は、189人で、不明は25人です。

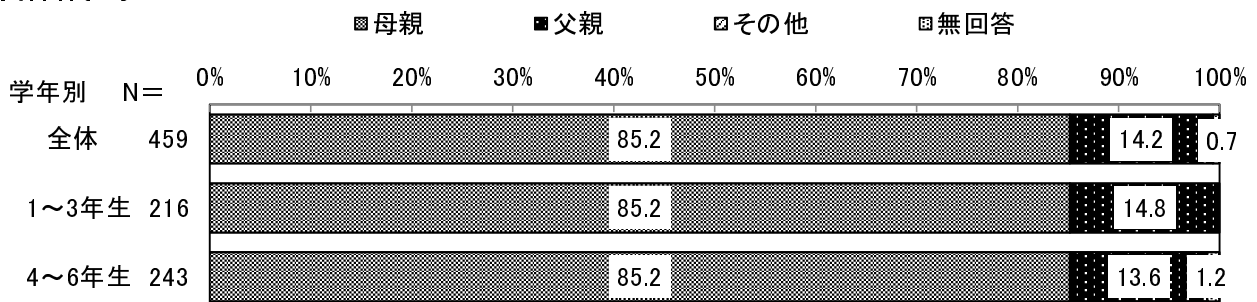
きょうだい【%】



問4 ご回答いただく方はどなたですか。

回答された方は、母親が85.2%と就学前児童（92.9%）に比べ、母親の割合が少なくなっています。

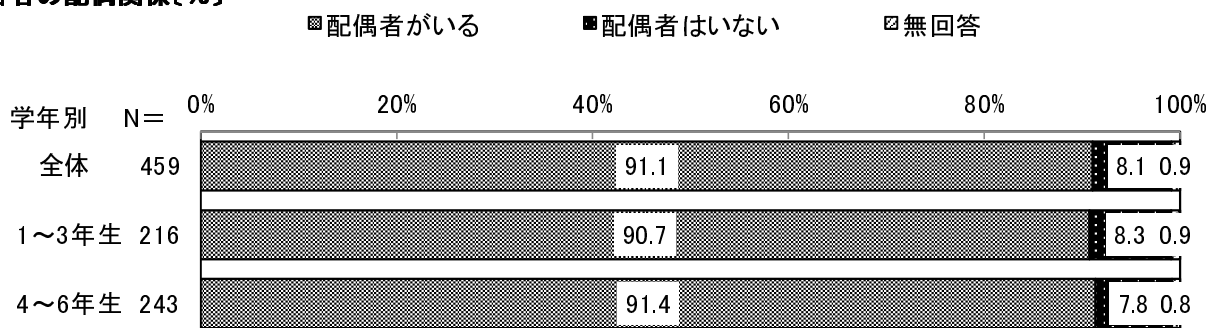
回答者【%】



問5 ご回答いただいている方の配偶関係をお答えください。

ひとり親世帯は、全体で8.1%で、学年区分による違いもあまりありません。就学前児童（7.1%）に対しては、1.0%高くなっています。

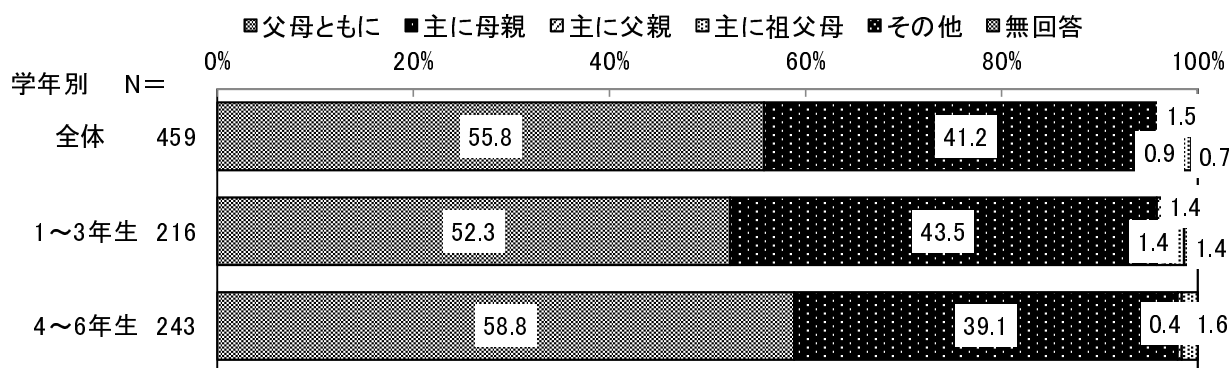
回答者の配偶関係[%]



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。

学年が上がると父母ともに子育てを行っている比率が高く（1～3年生：52.3%、4～6年生：58.8%）、就学前児童（51.7%）に比べても小学生（55.8%）の方が高くなっています。祖父母が行っている方は、就学前児童（1.2%）とほぼ同様の1.5%で、ひとり親世帯では、2.7%です。

主に子育てをしている人[%]



		合計 (人)	問6.あて名のお子さんの子育て(教育含む)を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(%)					
(人)			父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体 459		459	55.8	41.2	0.9	1.5	0.0	0.7
学年区分	1～3年生 216	216	52.3	43.5	1.4	1.4	0.0	1.4
	4～6年生 243	243	58.8	39.1	0.4	1.6	0.0	0.0

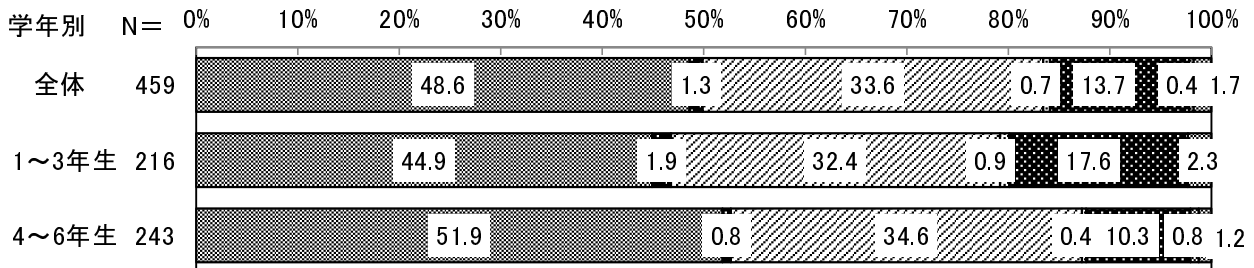
3 保護者の方の就労状況について

問7 保護者の方の就労状況についてお答えください。

母親の就労状況は、お子さんが高学年の方が高く、育休中も含めた「フルタイム就労」は52.7%で、低学年のお子さんの母親よりも5.9%程高く、また、「パート・アルバイト等での就労」も含めると87.7%と低学年の方に比べ7.6%多く就労されています。ひとり親世帯では、24人の方が「フルタイムで就労」され、6人が「パート・アルバイト等で就労（内、1人は育休中等の方）」されていますが、「以前は就労していたが、現在は就労していない」方が1人です。

母親の就労状況[%]

- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

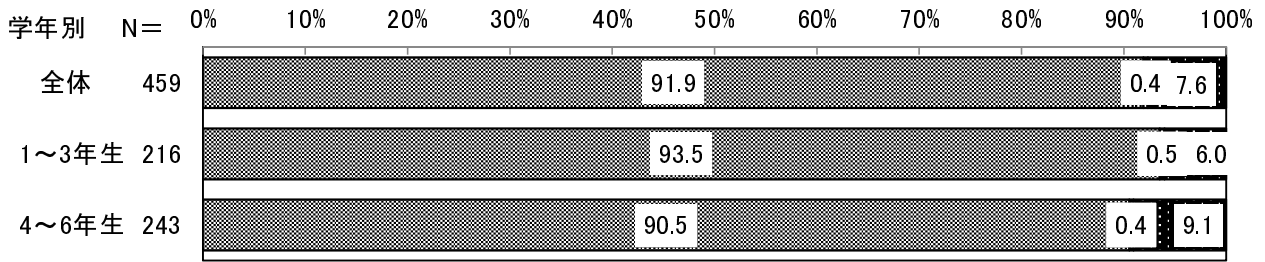


		合計 (人)	問7.あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(1)母親 (%)						
学年区分	(人)		フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない
	全体	459	48.6	1.3	33.6	0.7	13.7	0.4	1.7
	1~3年生	216	44.9	1.9	32.4	0.9	17.6	0.0	2.3
	4~6年生	243	51.9	0.8	34.6	0.4	10.3	0.8	1.2

父親は、91.9%の方が「フルタイムで就労」されていますが、育休等取得されている方は、0人です。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」方が2人います。ひとり親世帯では、「フルタイムで就労」されている方が5人ですが、無回答の方が1人です。

父親の就労状況〔%〕

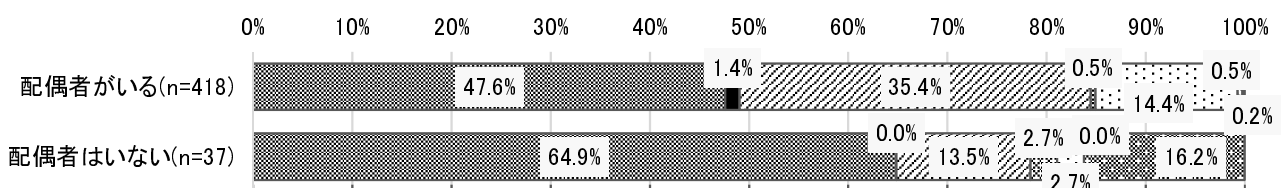
- フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中である



		問 7.あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(2)父親 (%)							
学年区分	人数 (人)	合計 (人)	フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中ではない (%)	フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である (%)	パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない (%)	パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中である (%)	以前は就労していたが、現在は就労していない (%)	これまで就労したことがない (%)	無回答 (%)
全体	459	459	91.9	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	7.6
1~3年生	216	216	93.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	6.0
4~6年生	243	243	90.5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	9.1

母親の就労状況 (配偶者有無別)〔%〕

- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



※ 父親の就労状況（配偶者有無別）〔%〕

父親のひとり親世帯では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」方が5人、未回答が1人のため、記載を省略します。

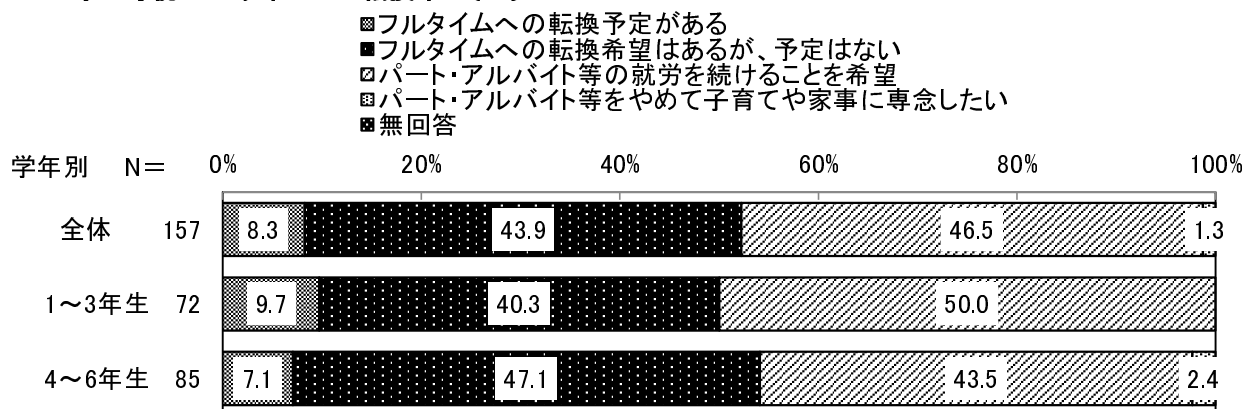
問8 問7で「パート・アルバイト等で就労している」とお答えの方のうち、フルタイムへの転換希望はありますか。

母親の「パート・アルバイト等からのフルタイムへの転換希望」は全体で、52.2%と半数以上です。「実際に予定がある」方は、8.3%と少ないですが、就学前児童（4.9%）の方よりは高くなっています。「フルタイムへの転換希望」は、4～6年生で54.2%と1～3年生の50.0%に比べ高くなっていますが、「実際に予定がある」方は、7.1%と1～3年生の9.7%に比べ低くなっています。また、「子育てや家事に専念したい」と回答された方も2.4%（1～3年生では0件）います。

「アルバイト・パート等の就労を希望」されている方は、1～3年生で50%、4～6年生で43.5%と低学年の方の比率が高くなっています。

ひとり親世帯の母親では、「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」が4人、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が2人です。

パート等の母親/フルタイムへの転換希望〔%〕



※ パート等の父親/フルタイムへの転換希望〔%〕

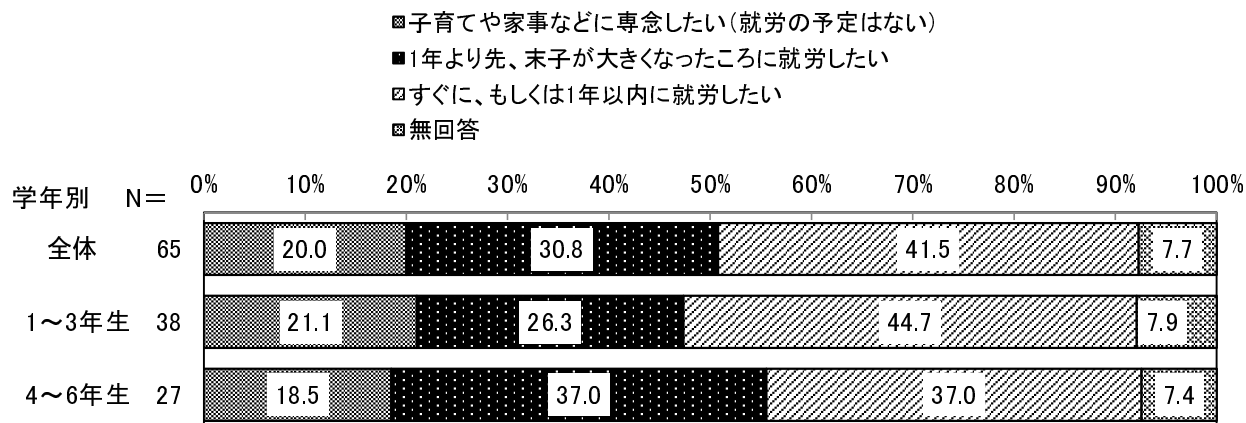
父親のフルタイムへの転換希望は0名のため、結果記載は省略します。

問9 問7で「就労していない・就労したことがない」とお答えの方のうち、就労希望はありますか

未就労の方に就労希望を伺ったところ全体で、72.3%の方が「就労希望」を持たれています。ただし、「育児や家事に専念したい」と回答された方が、全体で20.0%います。また、「すぐにもしくは1年以内に就労したい」と回答された方は、1～3年生で44.7%あるのに対し、4～6年生では

37.0%と低くなっています。「1年より先、一番下のお子さんが希望年齢になったときに就労したい」では逆に、4～6年生の方が、37.0%と1～3年生の方よりも10.7%多くなっています。ひとり親世帯の母親では、「すぐに、もしくは1年以内に就労したい」方が1人です。

未就労の母親/就労希望【%】



未就労の父親/就労希望【%】

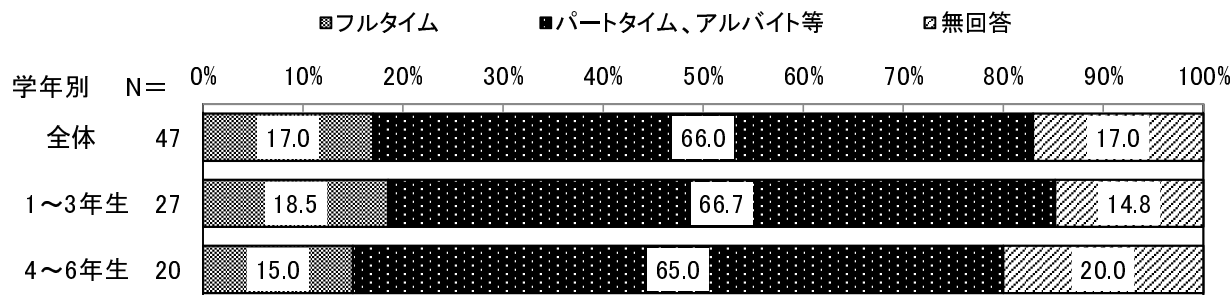
「すぐに、もしくは1年以内に就労したい」「無回答」がそれぞれ1人で、ひとり親世帯の父親は、該当者は0名のため、結果記載は省略します。

問9-1 問9で「就労したい」とお答えの方には、希望する就労形態をお答えください。

未就労の方で就労を希望されている方の希望就労形態ですが、「フルタイムを希望」されている方は、全体で17.0%です。ひとり親世帯の母親では、「パートタイム、アルバイト等」の希望が1人です。

父親は、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）希望」が1人です。母親の希望日数（週あたり）は3日～5日で、それぞれ10名前後です。1日の時間は、4時間～5時間で55.3%です。

就労したい母親/希望する就労形態【%】



4 放課後の過ごし方について

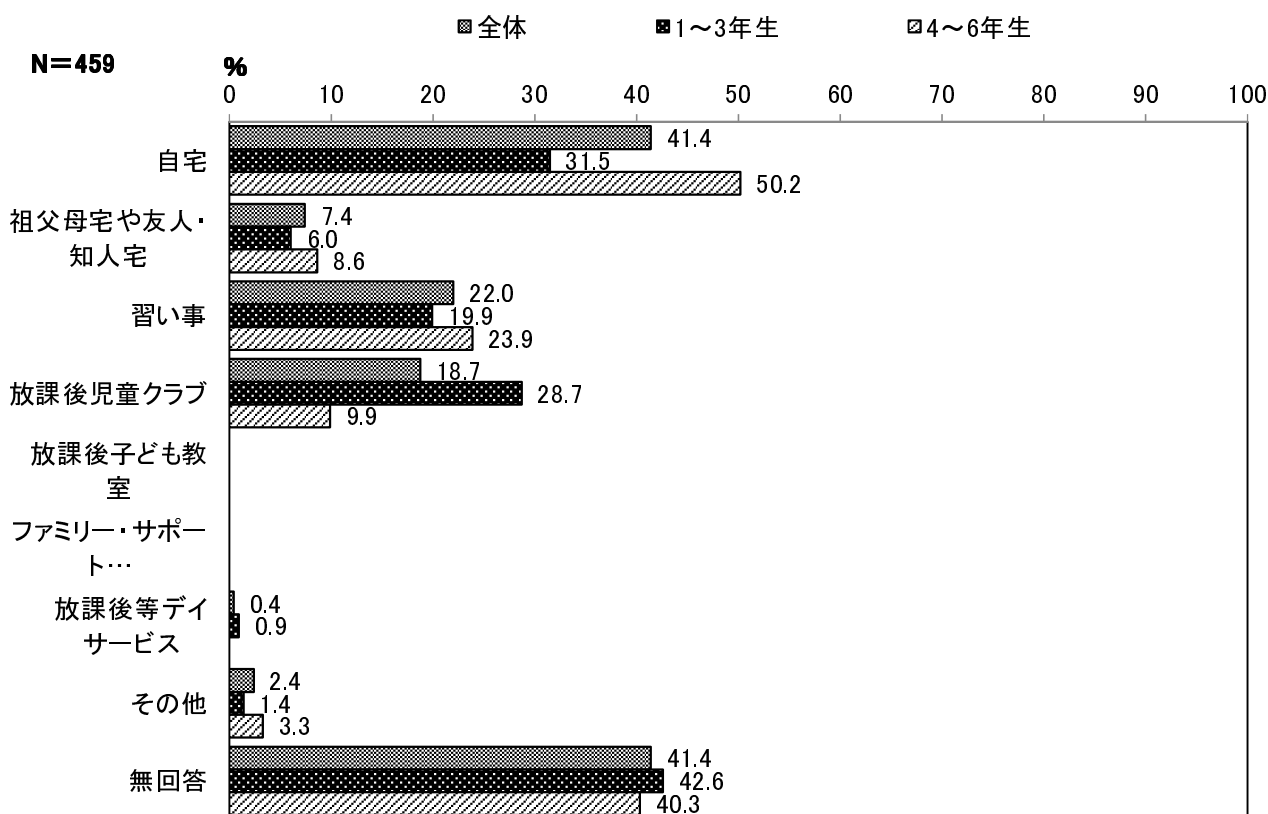
問 10 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。低学年と高学年、それぞれの期間についてお答えください。（複数回答）また、利用している日数（放課後児童クラブの場合は利用時間も）をお答えください。

4～6年生では、「自宅」が50.2%と最も多く、1～3年生では「自宅」「放課後児童クラブ」がそれぞれ31.5%と28.7%と多くなっています。また、「習い事」もそれぞれ20%前後です。無回答の方は全体で41.4%です。

利用日数については、「放課後児童クラブ」を5日利用している方が低学年、高学年それぞれ、30.7%、9.5%となっています。また、「習い事」の利用日数は1日～3日が大半を占めています。

「放課後児童クラブ」の終了時間は、4～6年生では17時までが22人と1番多いですが、1～3年生では、18時までが57人と最も多くなっています。

放課後の過ごし方[%・複数回答]



放課後の過ごし方・日数/週 [%]

	低学年(n=270)								
	自宅	祖父母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	放課後等デイサービス	その他	計
1日	4.1%	2.2%	13.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.7%	1.5%	22.2%
2日	6.7%	2.2%	13.7%	1.9%	0.4%	0.0%	0.0%	1.1%	25.9%
3日	7.4%	0.4%	6.7%	6.3%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	21.1%
4日	3.7%	0.7%	3.7%	8.9%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	17.8%
5日	24.4%	3.3%	0.7%	30.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.4%	60.4%
6日	1.1%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	1.9%
7日	4.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%
計	51.9%	9.3%	38.1%	48.5%	1.5%	0.0%	1.9%	3.0%	

	高学年(n=241)								
	自宅	祖父母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	放課後等デイサービス	その他	計
1日	6.2%	1.7%	11.6%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	22.0%
2日	9.1%	3.7%	12.4%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	31.1%
3日	11.2%	2.9%	12.4%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.0%
4日	7.9%	1.2%	5.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	17.8%
5日	34.4%	4.6%	3.7%	9.5%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	53.1%
6日	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	1.2%
7日	4.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%
計	73.9%	14.1%	45.2%	20.7%	0.0%	0.0%	0.8%	4.1%	

放課後児童クラブの終了時間 [%]

	低学年	高学年
～16時	16.0%	18.0%
～17時	35.1%	44.0%
～18時	43.5%	24.0%
～19時	5.3%	14.0%

低学年 n=131

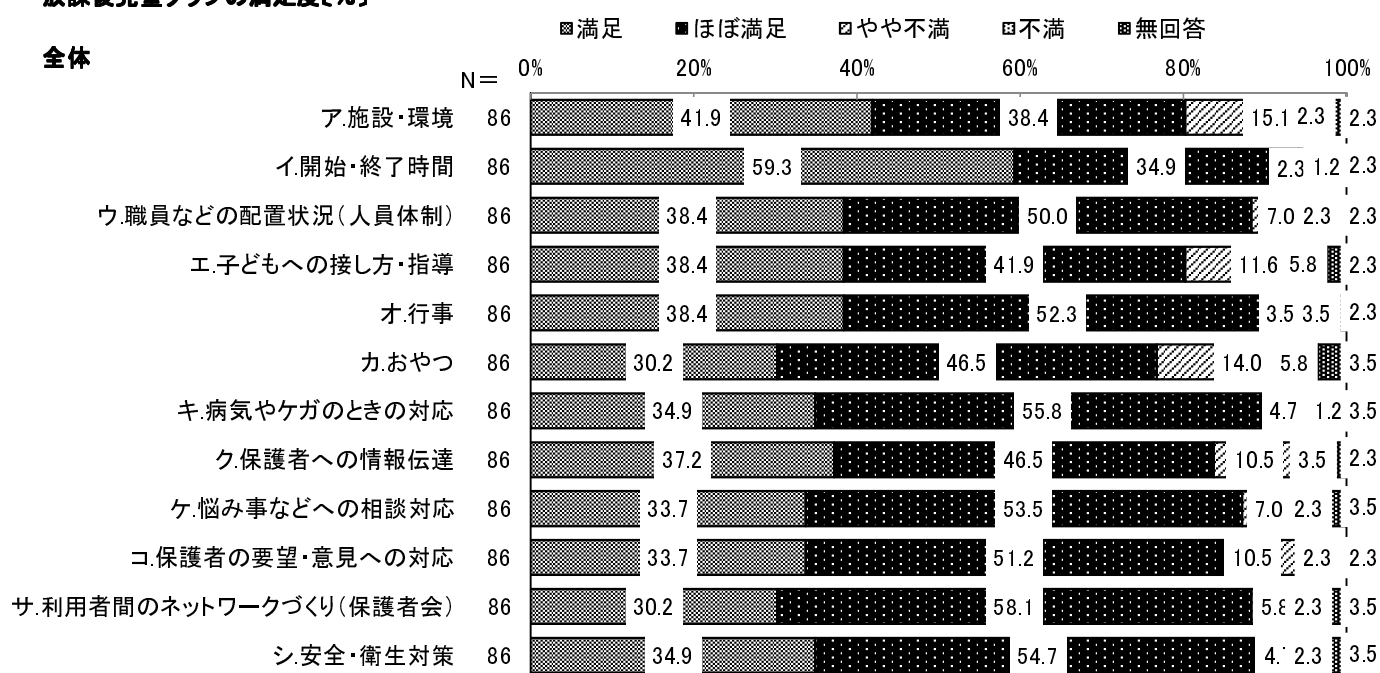
高学年 n=50

問 10-1 問 10 で「4」（放課後児童クラブ（学童保育））に○をつけた方にうかがいます。
放課後児童クラブにおける次の項目に対して、どのように感じていますか。（項目
毎にあてはまる番号 1 つに○）

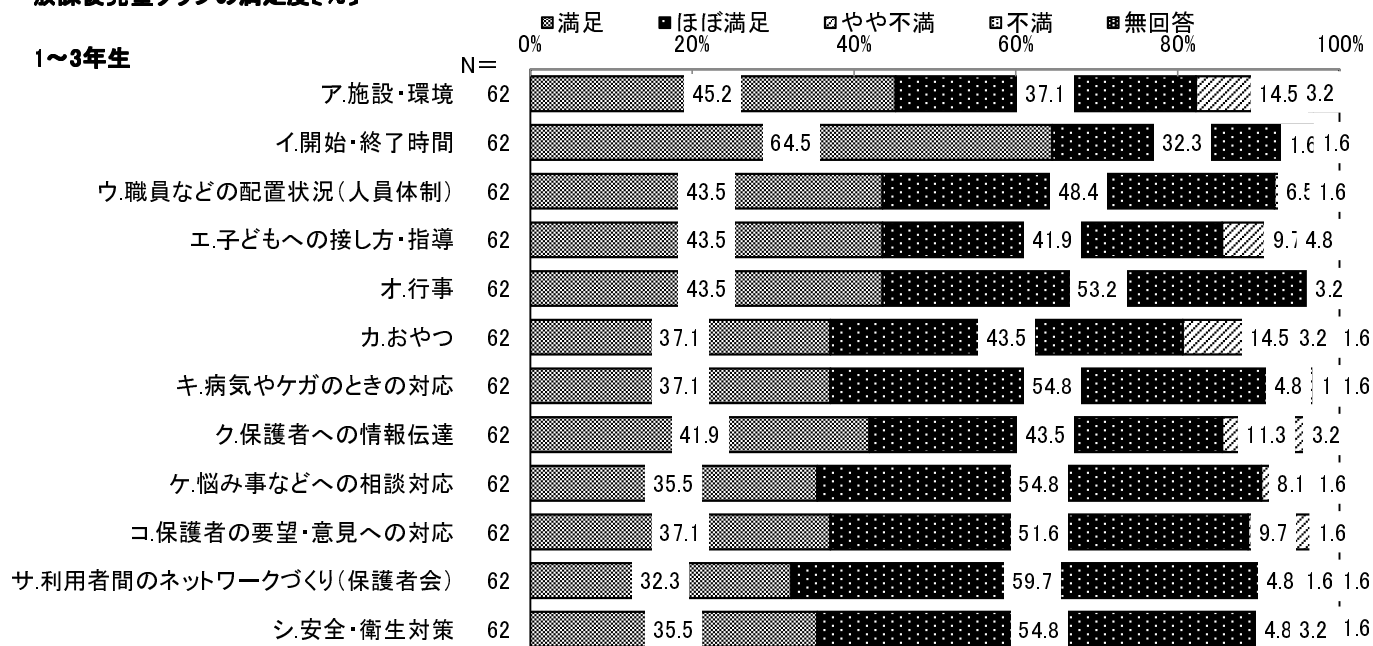
放課後児童クラブで最も満足度が高いのが、「開始・終了時間」で、全体では“満足”“ほぼ満足”を合わせると 94.2%です。全体的に満足度は高く、最も低い「おやつ」でも“満足”“ほぼ満足”を合わせて 76.7%です。学年区別では、1～3 年生の方が満足度が高い傾向にあり、「開始・終了時間」「行事」はそれぞれ 96.8%、96.7%となっていますが、4～6 年生では「行事」が 75.0%と 21.7%低くなっており、「子どもへの接し方・指導」も 18.7%低くなっています。

ひとり親世帯では満足度は高く、“やや不満”と回答された方が「おやつ」で 2 名のみです。

放課後児童クラブの満足度【%】

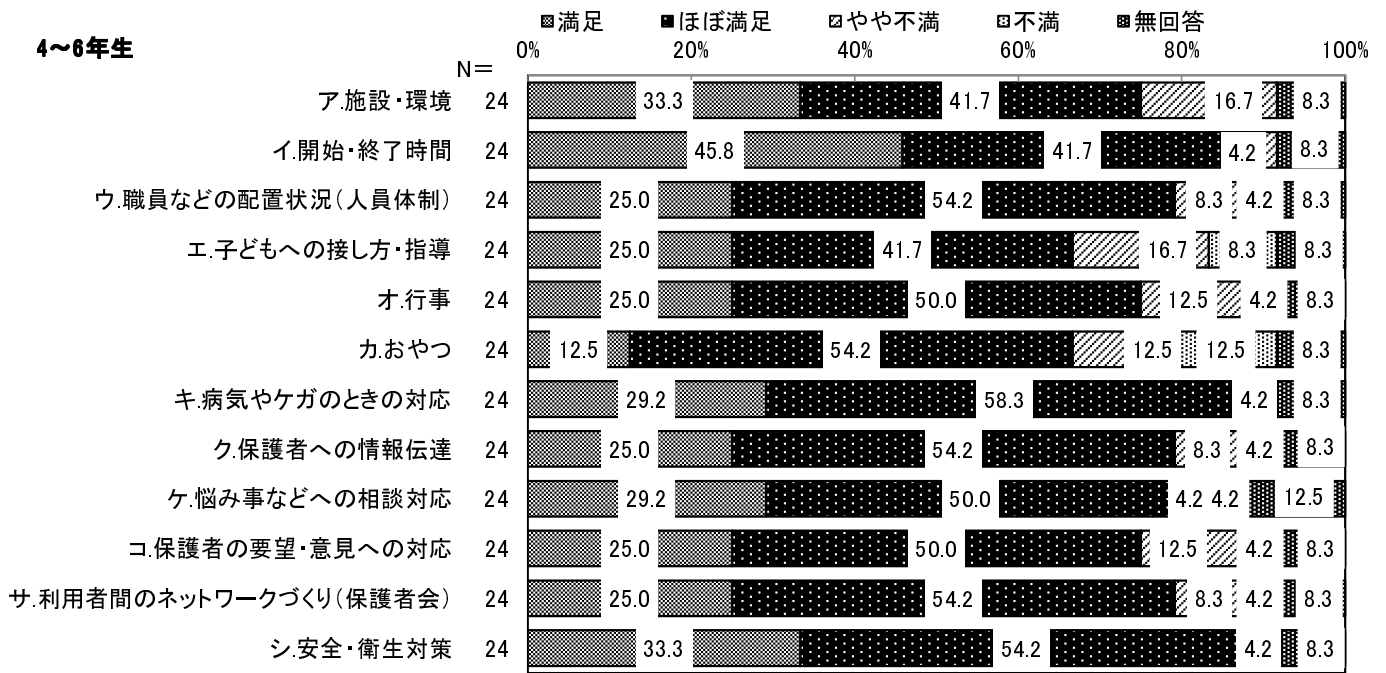


放課後児童クラブの満足度【%】



放課後児童クラブの満足度【%】

4～6年生

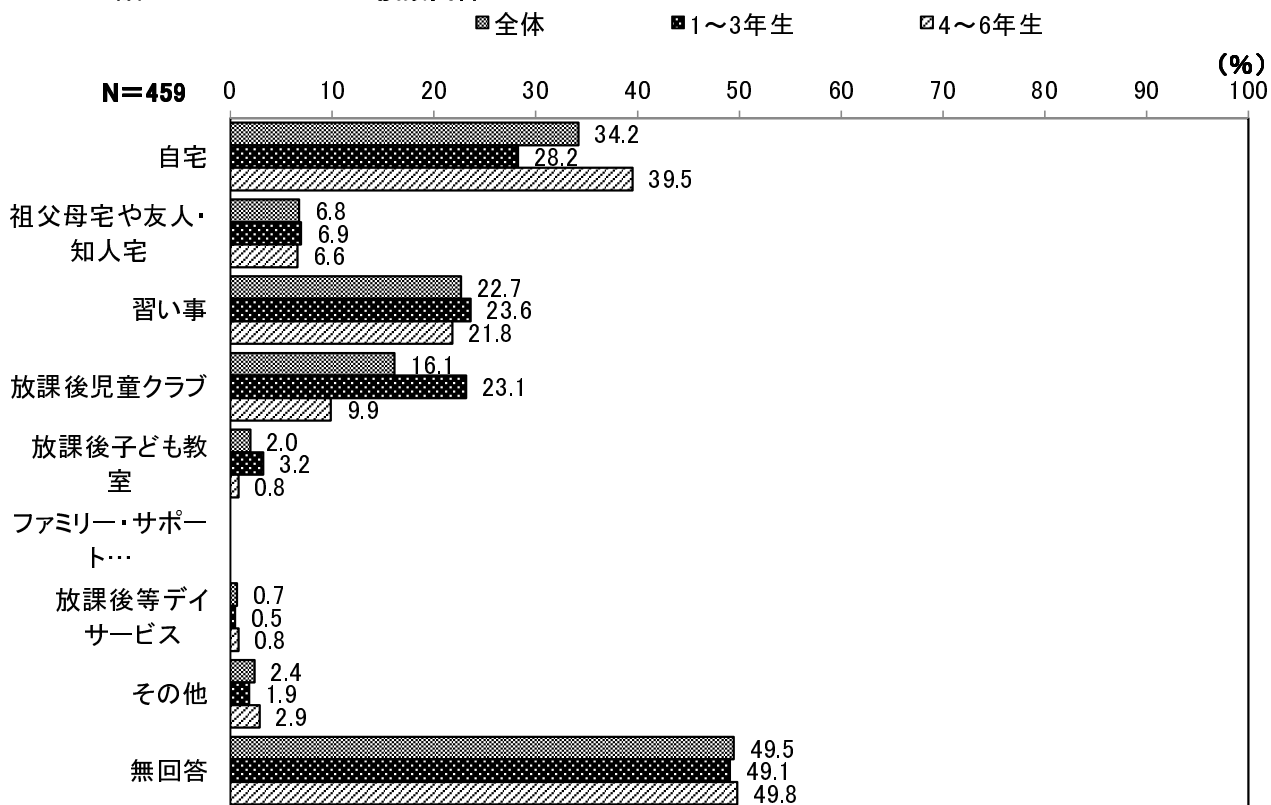


問 11 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間についてお答えください。（複数回答）また利用を希望する日数（放課後児童クラブの場合は利用時間も）をお答えください。

4～6年生では、「自宅」が39.5%と最も多く、1～3年生では「自宅」「習い事」「放課後児童クラブ」がそれぞれ20%台となっていて、実際の利用とほぼ同様の傾向です。希望利用日数も実際の利用と同様の傾向です。「放課後児童クラブ」の終了時間も1～3年生では実際の利用と同様の傾向ですが、4～6年生では18時までが27人と実際の利用にくらべ、2倍以上となっています。

ひとり親世帯では、「自宅（21.9%）」が少なく、「放課後児童クラブ（29.7%）」がふたり親世帯に比べ多くなっています。「習い事（16.2%）」はふたり親世帯に比べ少ないですが、実際の利用に比べると2倍となっています。「放課後児童クラブ」は、特に高学年で実際の利用に比べ、日数増、遅い終了時間の希望が増えていて、5日利用と、18時以降の終了を希望する人が、実際の利用に比べ3名から5名に増えています。

希望する放課後の過ごし方【%・複数回答】



放課後の希望する過ごし方・日数/週〔%〕

	低学年(n=258)								
	自宅	祖母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	放課後等デイサービス	その他	計
1日	3.5%	3.9%	15.5%	0.8%	1.6%	0.0%	0.8%	1.2%	27.1%
2日	10.9%	2.7%	16.3%	4.7%	1.6%	0.0%	0.8%	1.6%	38.4%
3日	8.9%	0.8%	7.4%	7.4%	1.2%	0.0%	0.4%	0.0%	26.0%
4日	3.1%	0.0%	1.6%	6.6%	0.4%	0.0%	0.4%	0.8%	12.8%
5日	20.9%	3.1%	0.4%	26.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	51.6%
6日	1.2%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	2.3%
7日	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%
計	52.3%	10.5%	41.1%	46.9%	5.0%	0.0%	2.7%	3.5%	

	高学年(n=256)								
	自宅	祖母宅等	習い事	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリーサポートセンター	放課後等デイサービス	その他	計
1日	5.5%	3.1%	14.1%	0.4%	2.0%	0.4%	0.4%	3.5%	29.3%
2日	12.1%	4.3%	16.0%	3.1%	1.2%	0.0%	0.8%	2.0%	39.5%
3日	10.2%	1.2%	13.3%	5.9%	1.2%	0.0%	0.4%	0.0%	32.0%
4日	6.3%	0.0%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
5日	31.3%	3.5%	2.0%	14.5%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	52.0%
6日	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
7日	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%
計	69.1%	12.1%	48.4%	27.0%	4.3%	0.4%	2.0%	5.9%	

放課後児童クラブの希望終了時間〔%〕

	低学年	高学年
～16時	10.0%	11.6%
～17時	33.3%	31.9%
～18時	46.7%	40.6%
～19時	10.0%	15.9%

低学年 n=120

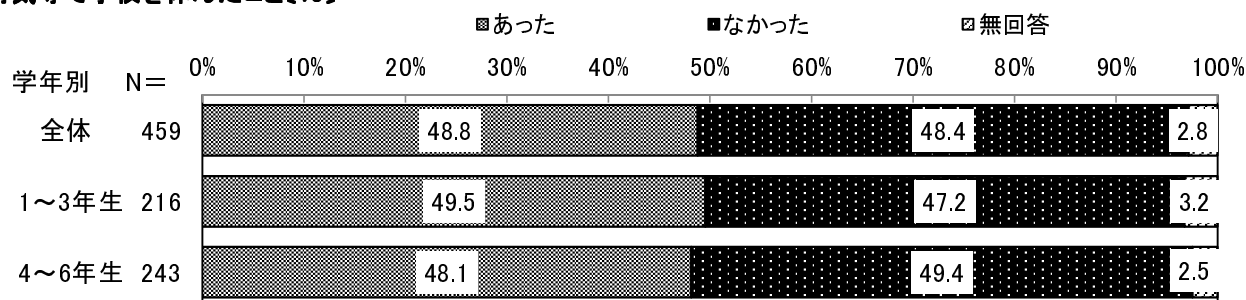
高学年 n=69

5 お子さんの病気の際の対応について

問 12 この1年間に、病気やケガで、学校を休んだことはありますか。(1つに○)

「あった」方は全体で48.8%、「なかった」方は48.4%で、ほぼ同数です。学年区分による差もありません。

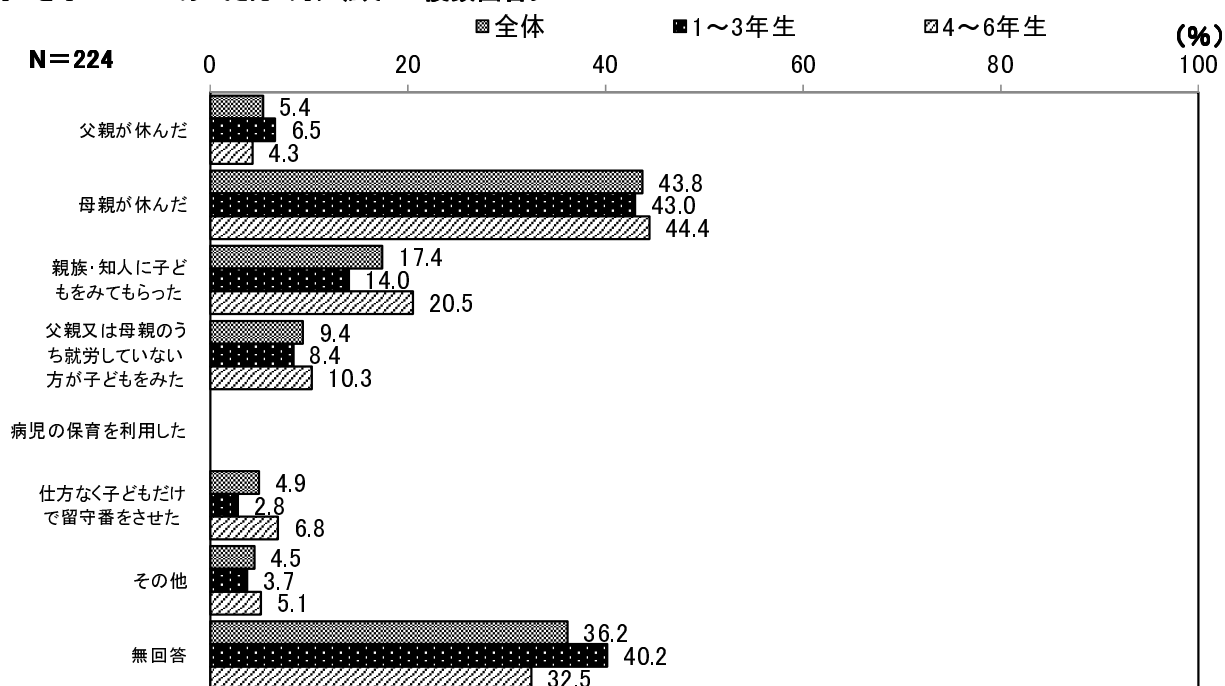
病気等で学校を休んだこと[%]



問 12-1 問 12 で病気やケガで、学校を休んだことがある方にうかがいます。病気やケガで、学校を休んだ場合に、この1年間、どのような対応をしましたか。(複数回答) また、あてはまる対応それぞれについて、おおよその日数をお答えください。

両親のどちらかが仕事を休まれた方は、全体で49.2%です。学年区分による差もありません。「親族・知人に子どもをみてもらった」比率は、4～6年生では20.5%ですが、1～3年生では14.0%です。対応でその他欄に記入された方は12名です。「休みを取った(3名)」「働きながら対応(3名)」「育休中・未就労(3名)」などです。また対応日数ですが、月2日以内が59.2%ですが、年間15日以上対応の方が3名で、最長の方は30日です。

利用できないことがあった方/対応法[%・複数回答]

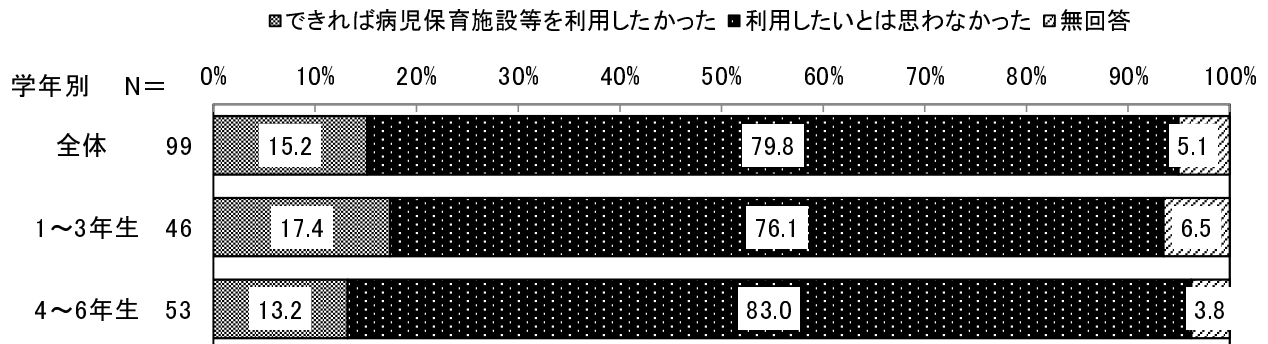


	休んだ日数 (人)						
	～2日	～4日	～6日	～8日	～10日	～15日	～30日
父親が休んだ	18	2	2	0	0	0	0
母親が休んだ	83	26	18	6	9	2	0
親族・知人にみてもらった	45	11	7	0	4	1	0
就労していない方がみた	10	11	4	3	1	0	2
病児の保育を利用	0	0	0	0	0	0	0
子どもだけで留守番	13	3	0	0	0	0	0
その他	4	4	1	2	0	0	0

問 12-2 「病気やケガで、学校を休んだ」際に「親が休んだ」方にうかがいます。その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。(1つに○) あてはまる番号それぞれについて、おおよその日数をお答えください。

病児保育施設の利用意向は、全体では 15.2%で、高学年の方の利用希望は少ない傾向です。希望利用日数では 2 日までで 16 人で、60%以上です。最長は 26 日です。ひとり親世帯では、7 名中 3 名の方が利用を希望されています。就学前児童の方よりも希望は結果となっています。

父母が休んだ方/病児・病後児保育施設等の利用希望[%]



		合計 (人)	利用したいと思った保育施設等の日数 (人)					
			1日	2日	3日	4日	5日	10日～
全体		25	8	8	4	2	1	2
学年区分	小学1～3年生	14	5	4	1	1	1	2
	小学4～6年生	11	3	4	3	1	0	0

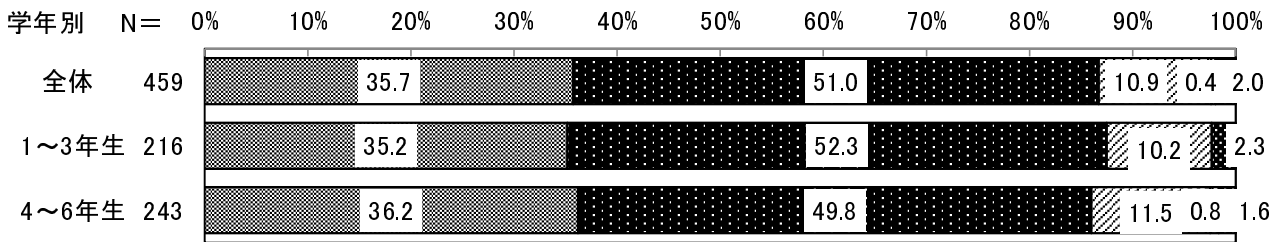
6 家庭の子育て、地域の子育て環境について

問 13 子育てをどのように感じていますか。(1つに○)

「喜びや楽しみが大きい」「どちらかという喜びや楽しみが大きい」と答えられた方は全体で87%ほどとなっています。年代による大きな差はありません。ひとり親世帯でも同様です。

子育て感[%]

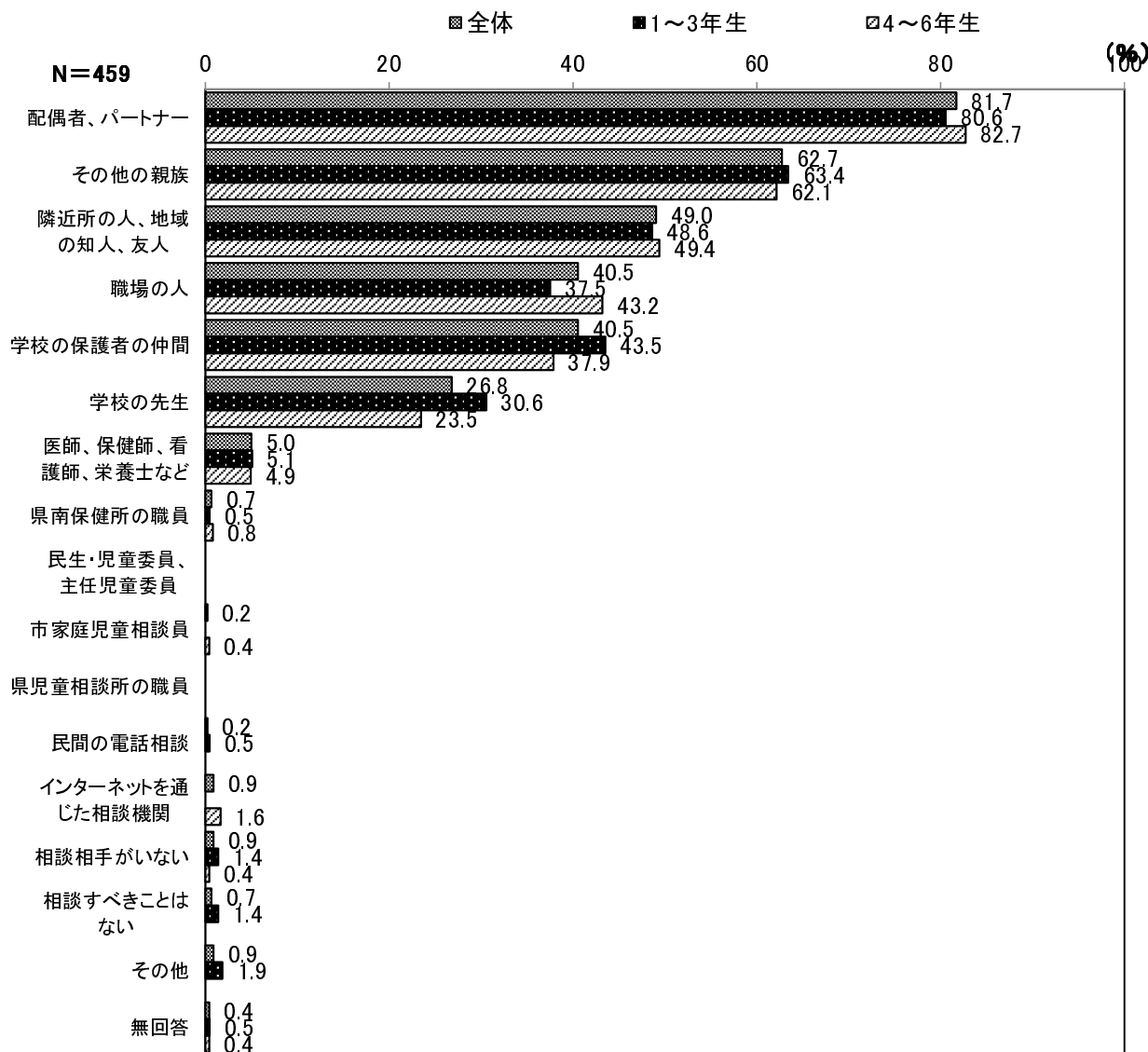
- 喜びや楽しみが大きい
- どちらかという、不安や負担の方が大きい
- 無回答
- どちらかという、喜びや楽しみの方が大きい
- とても不安や負担を感じている



問 14 子育て（教育含む）をする上で、気軽に相談できる相手はいますか。（複数回答）

「配偶者・パートナー」「その他親族」「知人・友人等」の比率が年代にかかわらず高く、全体で81.7%、62.7%、49.0%の順となっています。学年区分による差はあまりみられませんが、「学校の保護者仲間」「学校の先生」は1～3年生は、4～6年生に比べ、6%ほど高くなっています。「職場の人」は逆に5.7%低くなっています。ひとり親世帯では、「その他親族」「職場の人」「学校の先生」の比率がふたり親世帯に比べ6%程度高くなっていますが、逆に「学校の保護者の仲間」は8.7%低くなっています。

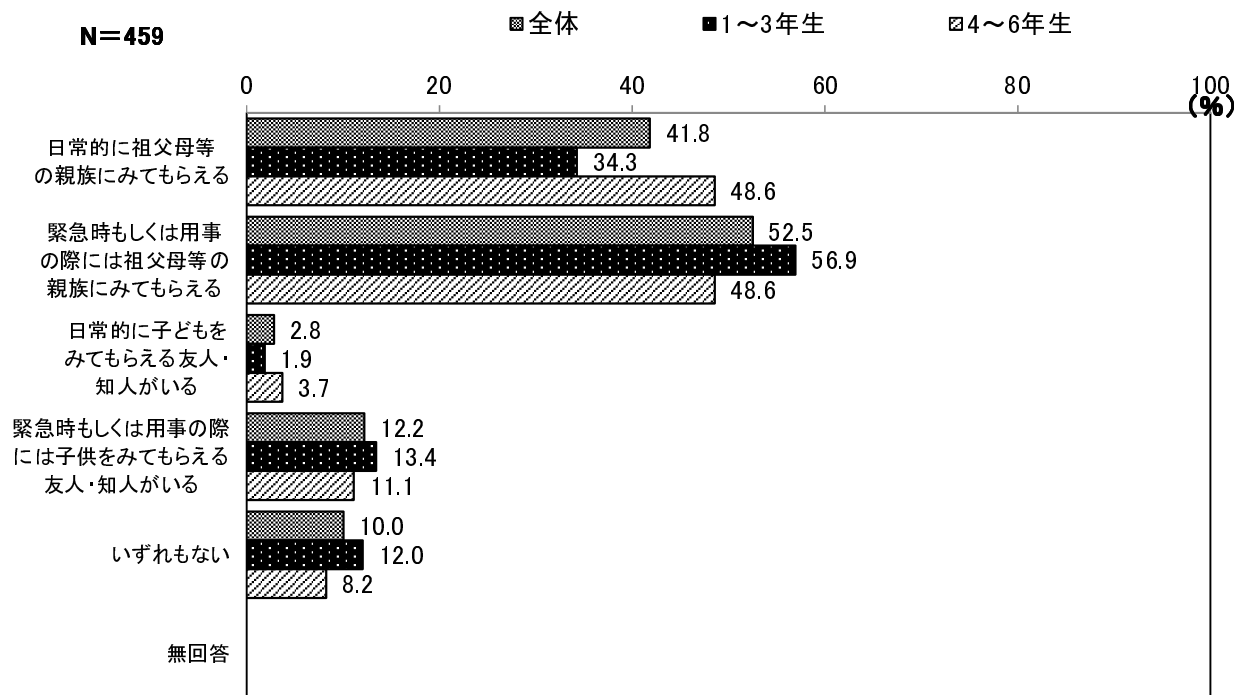
子育てで気軽に相談できる相手【%・複数回答】



問 15 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」方は全体で 41.8%ですが、「緊急時にみてもらえる親族や友人・知人等」は、全体で52.5%です。ただ、「いずれの場合もみてもらえない」方も 10.0%います。ひとり親世帯では、日常的、緊急的のともみてもらえる親族がそれぞれ51.4%、40.5%で、日常的に祖父母等の親族にみてもらえる状況が 10.7%高くなっています。また、「いずれもない」方は 5人で、ふたり親世帯の方よりも比率が高くなっています。

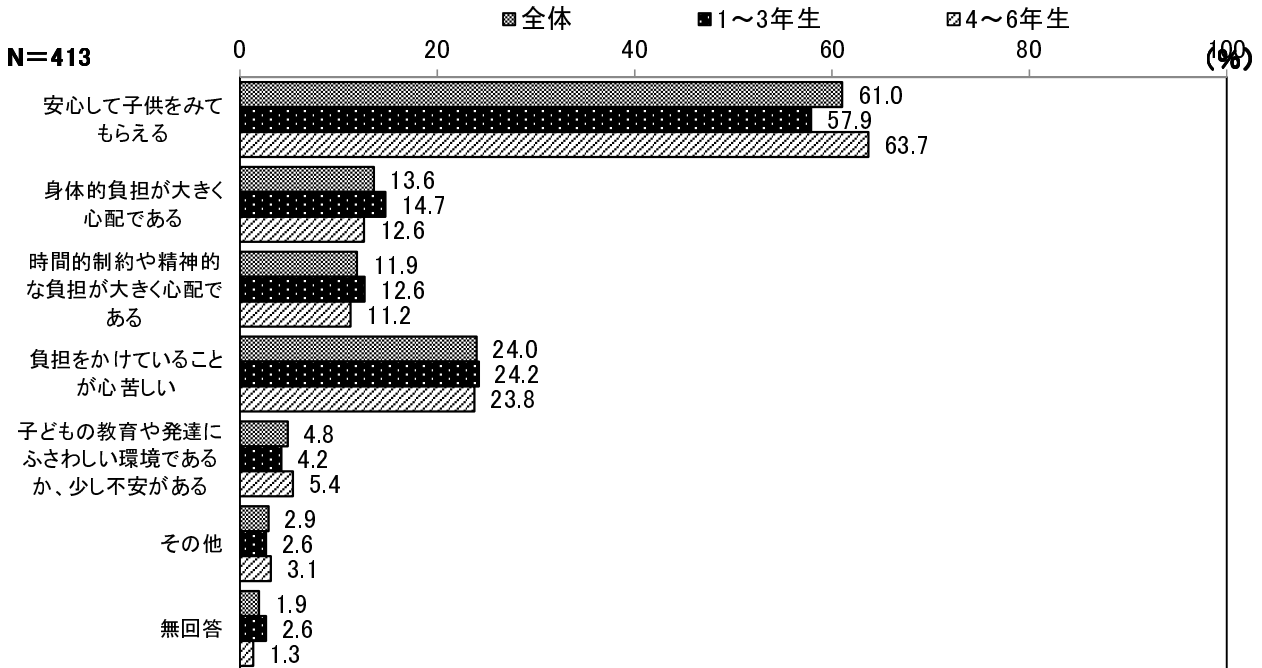
日頃子どもを見てもらえる親族・知人[%・複数回答]



問 15-1 問 15 で「お子さんをみてもらえる」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（複数回答）

「安心して子供をみてもらえる」方は全体で 61.0%ですが、1～3 年生の方が 5.8%低くなっています。また「身体的な負担」「時間や精神的な負担」を掛けていることを 13%程度の方が心配されています。

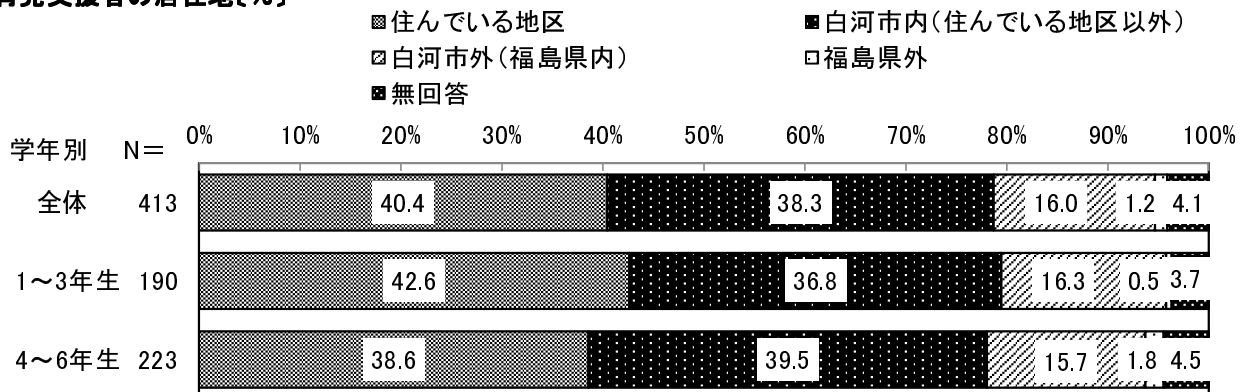
育児支援者がいる方/状況[%・複数回答]



問 15-2 問 15 で「お子さんをみてもらえる」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。お子さんをみてもらっている親族・知人は、どちらにお住まいですか。

1～3 年生では「住んでいる地区」に住んでいる方が 42.6%なのに対し、4～6 年生では 38.6%と同じ地域に住まわれている方は、4.0%少なくなっています。

育児支援者の居住地[%]



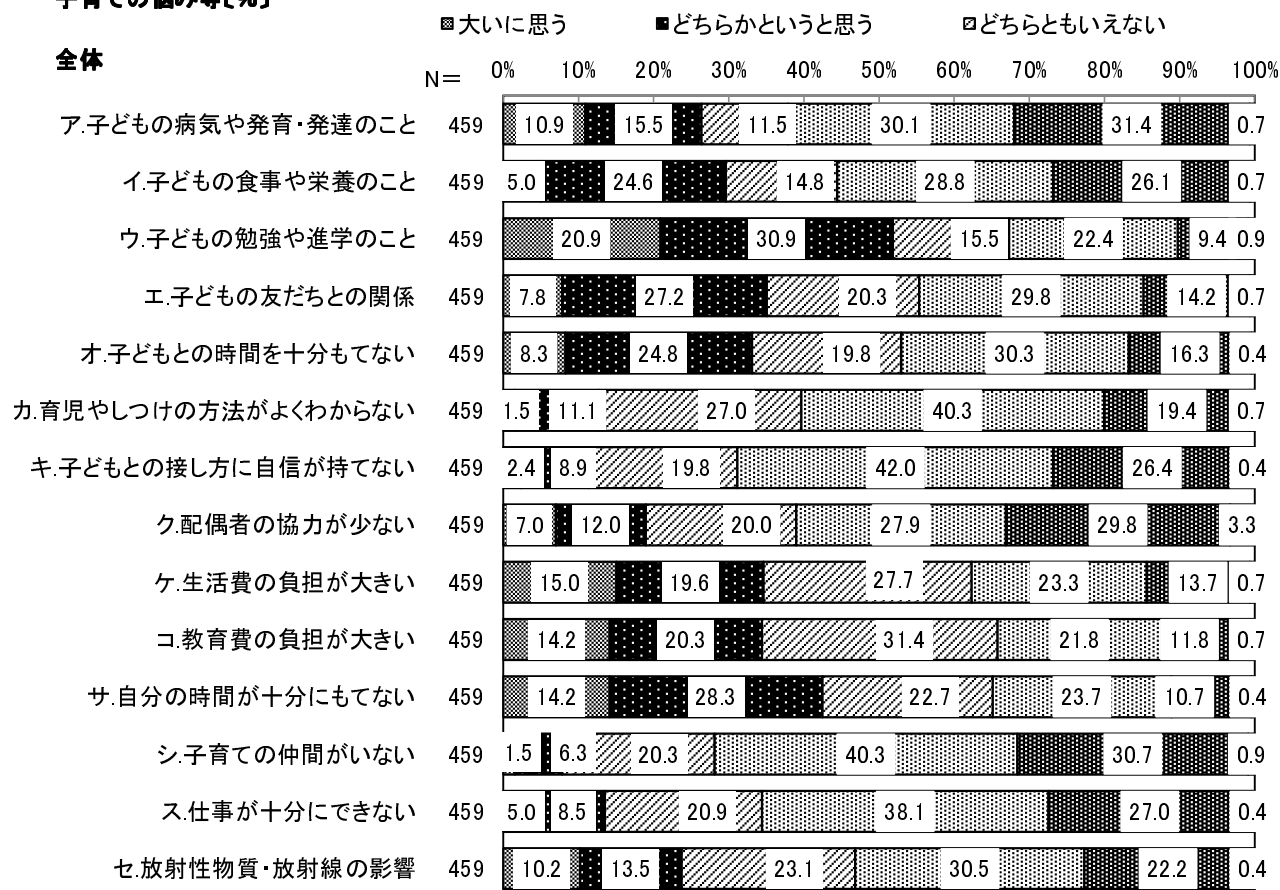
問 16 子育てに関して、悩みや気にかかることはありますか。(項目毎にあてはまる番号 1 つに○)

全体では、悩みやストレスについて「大いに思う」方が最も多いのは「子どもの勉強や進学のこと」で 20.9%ですが、「どちらかというと思う」方を入れても最も多い (51.8%) 項目となっています。次いで「大いに思う」で多いのは「教育費の負担」「生活費の負担」「自分の時間が十分にもてない」でそれぞれ 15.0%、14.2%、14.2%となっています。

また、1～3 年生では、「子どもの勉強や進学のこと」「自分の時間が十分にもてない」が 16.7%、16.2%と「大いに思う」方が多い項目です。4～6 年生では、「子どもの勉強や進学のこと」で「大いに思う」方が 24.7%と他の項目よりも 10%以上多くなっています。

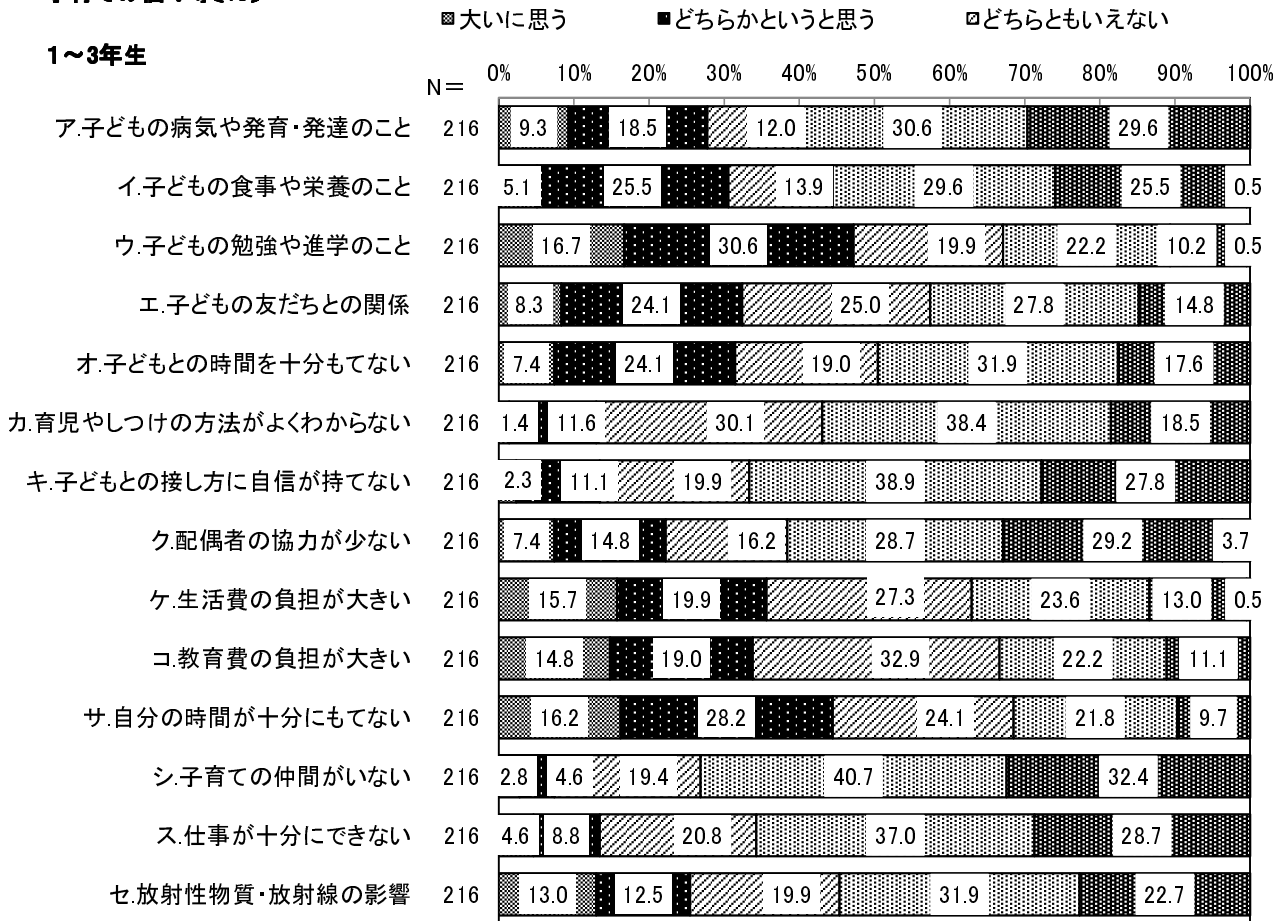
ひとり親世帯で「大いに思う」方が最も多いのは「生活費の負担」「教育費の負担」で 35.1%、32.4%となっています。「どちらかというと思う」まで含めると「子どもの勉強や進学のこと」「子どもとの時間を十分にもてない」「自分の時間が十分にもてない」が 56.8%、48.6%、48.6%と多くなります。

子育ての悩み等[%]



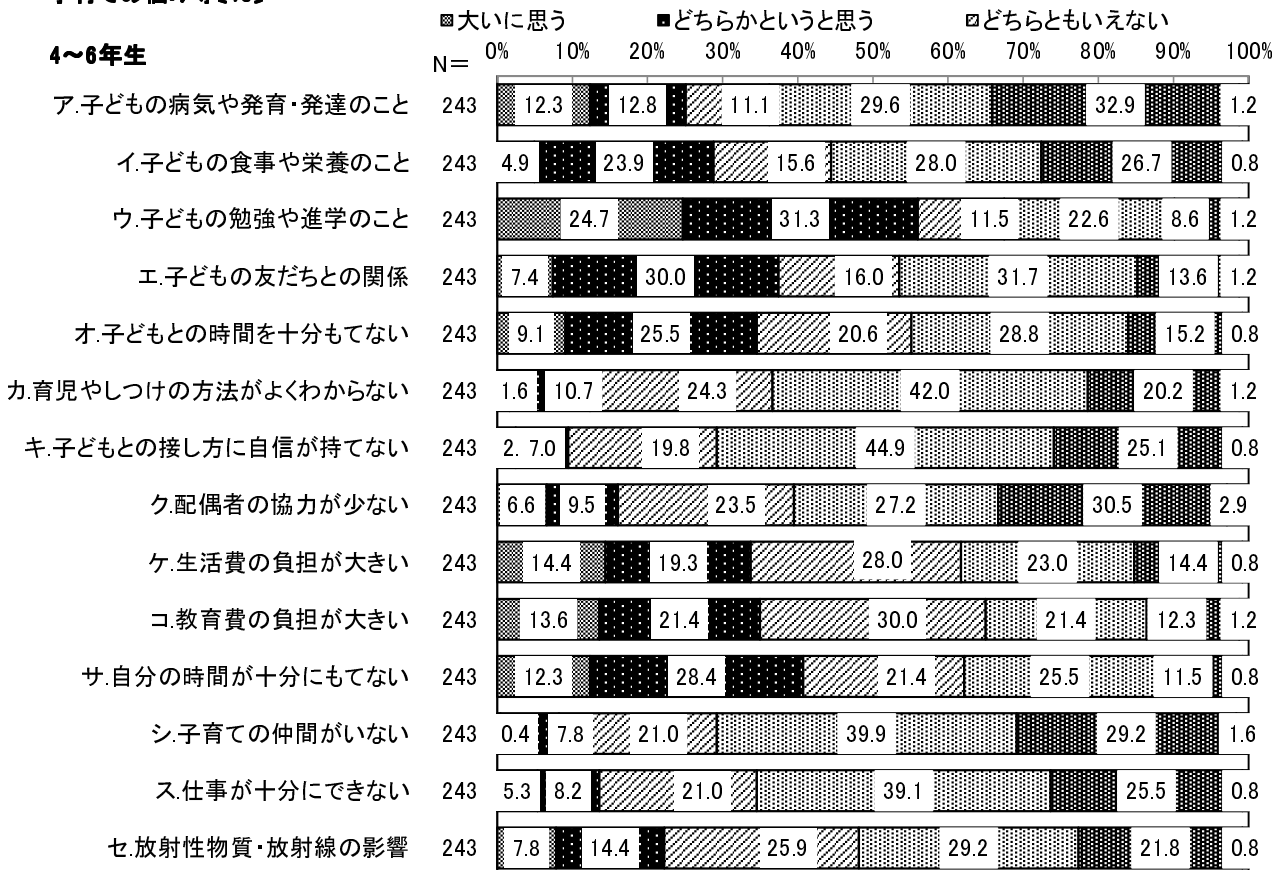
子育ての悩み等[%]

1~3年生



子育ての悩み等[%]

4~6年生

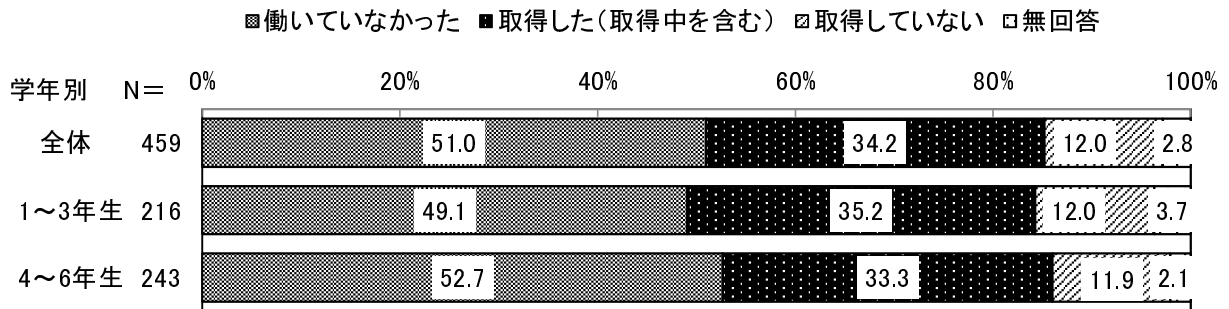


●仕事と子育ての両立について

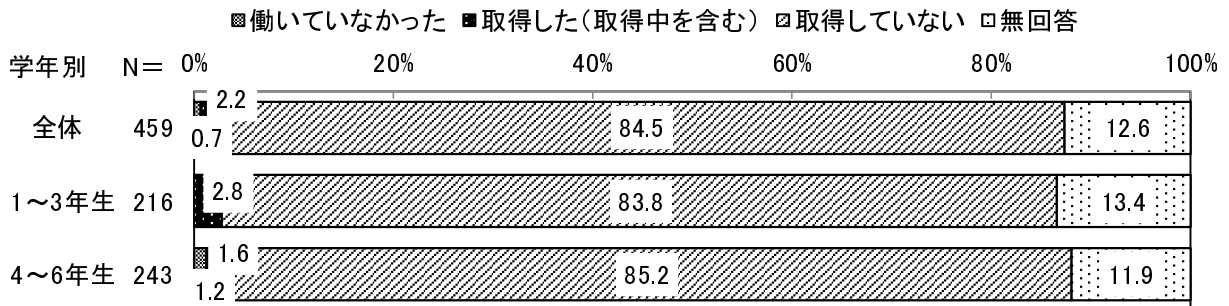
問 17 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれについて1つに○) 取得していない方はその理由をお答えください。

母親の育児休業は、全体で 34.2%と就学前児童の 0~2 歳の方に比べ、15.1%低くなっていますが、3~5 歳の方とは差が 3.7%しかありません。父親の取得率は全般的に低く、1~3 年生で 2.8%、4~6 年生では 1.6%です。

母親/育児休業の取得[%]



父親/育児休業の取得[%]



母親が育休を取得しない理由で多いのが、「職場の雰囲気や制度がない(パート)ため」で、20人、次が「退職した」、「自営業のため」でそれぞれ10人、「生活のため」が2人です。ひとり親世帯では、「職場の雰囲気や制度がない(パート)ため」が3人、「生活のため」が1人です。

父親が育休を取得しない理由で多いのが、「母親に任せた等」で119人、「職場の雰囲気や制度がない(パート)ため」が114人、「取るつもりはなかった」「自営業のため」「生活のため」がそれぞれ17人、14人、13人などです。ひとり親世帯では、「母親に任せた等」が4人で、「職場の雰囲気や制度がない(パート)ため」「生活のため」「自営業のため」がそれぞれ1人です。

●今後の市の取組について

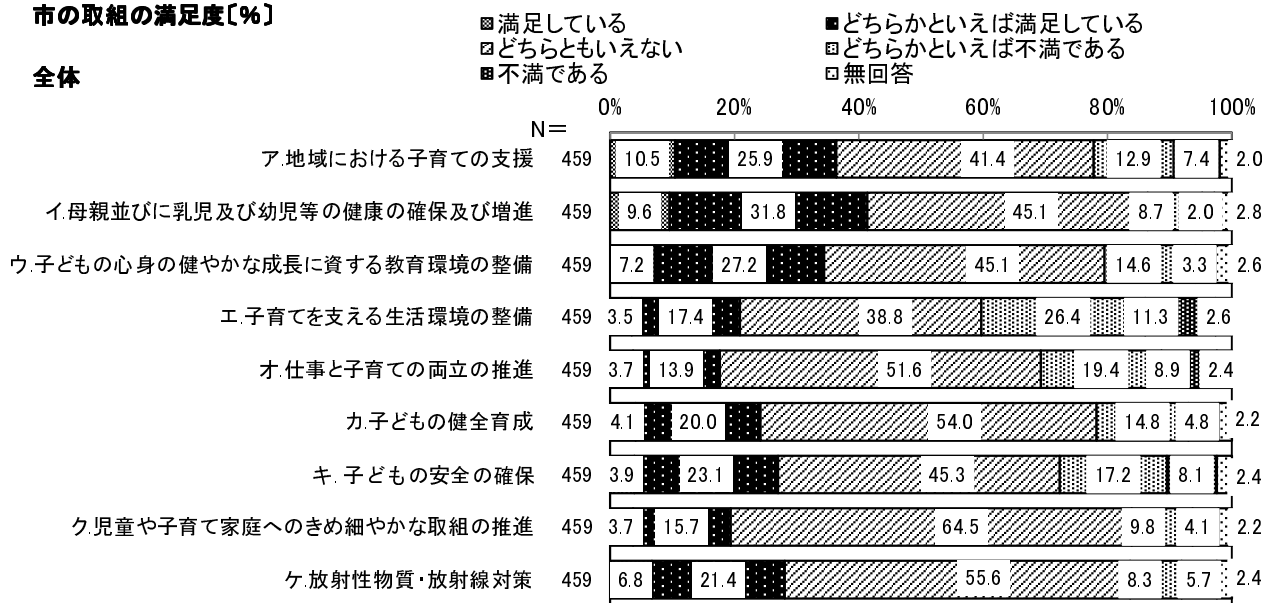
問 18 市の子育て支援の取組についてどのように感じていますか。(項目毎にあてはまる番号 1 つに○)

満足度で高い傾向にあるのが、「母親並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進」、「地域における子育ての支援」、「子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備」で、満足傾向の方はそれぞれ、41.4%、36.4%、34.4%です。逆に低い傾向のものは、「子育てを支える生活環境の整備」で不満傾向の方が37.7%です。

学年区分別でも全体と同様の傾向ですが、1～3年生の方が「放射性物質・放射線対策」に対して満足度が高い傾向で(30.5%)、逆に「子どもの安全確保」が満足度が低い傾向(28.8%)です。

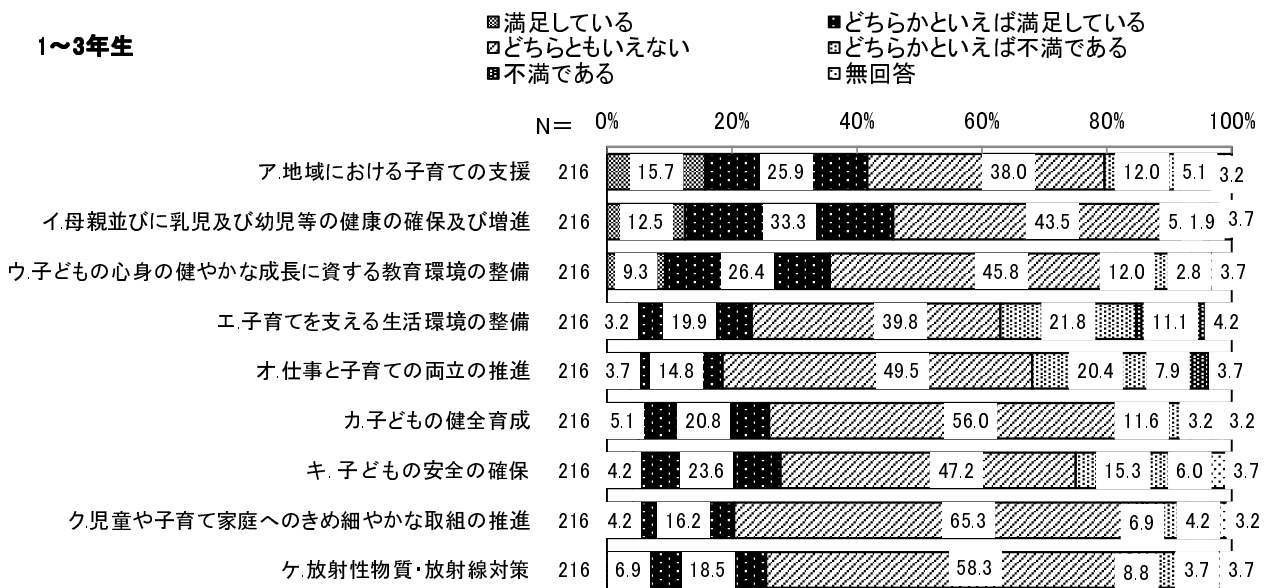
市の取組の満足度【%】

全体



市の取組の満足度【%】

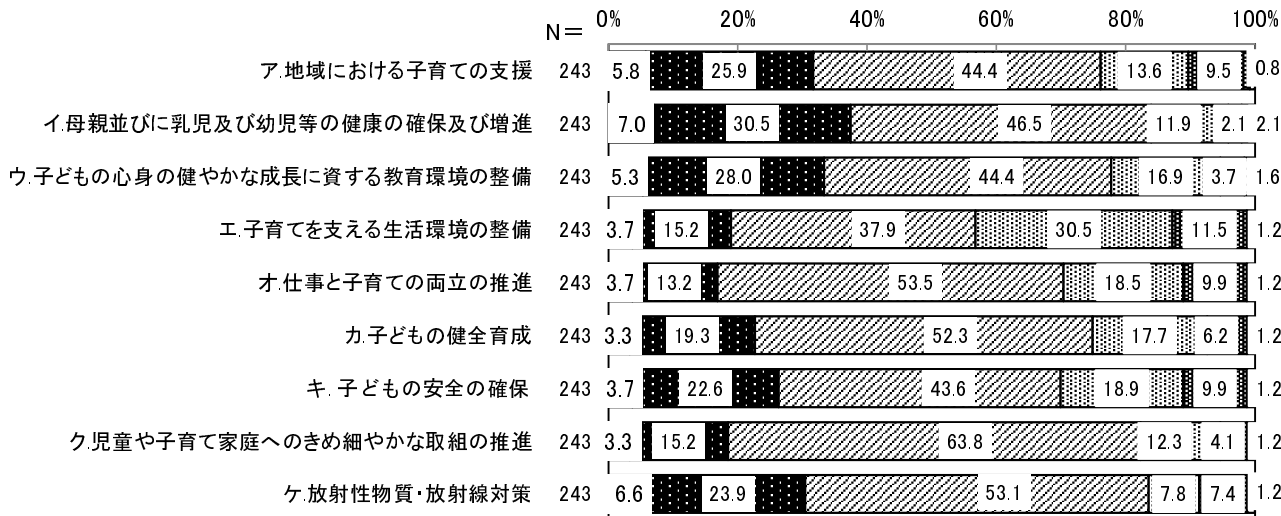
1～3年生



市の取組の満足度[%]

4～6年生

■満足している
 □どちらともいえない
 ■不満である
 ■どちらかといえば満足している
 ■どちらかといえば不満である
 □無回答

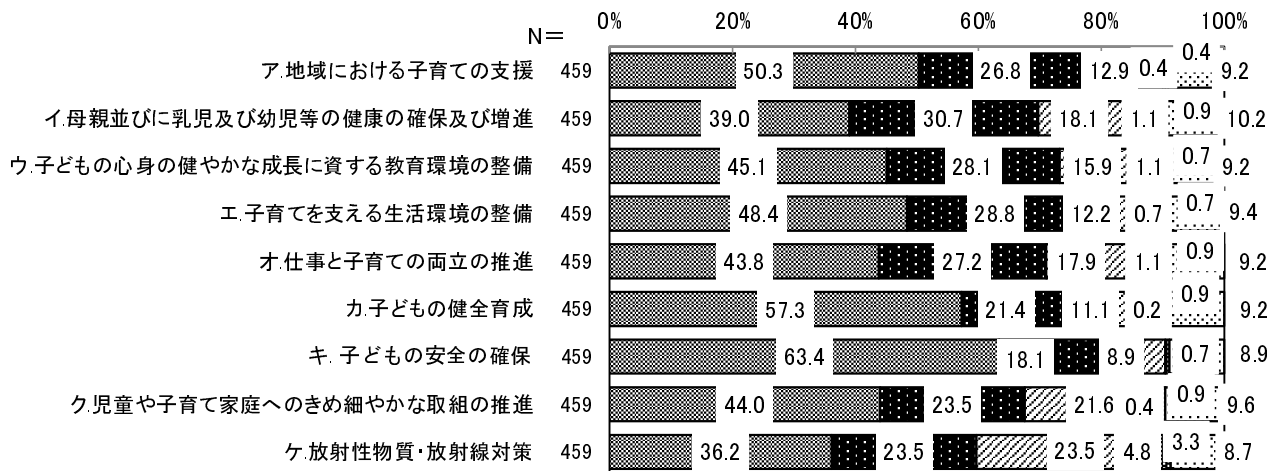


市の取組の重要度が高いと思われる施策は、「子どもの安全確保」「子どもの健全育成」「地域における子育ての支援」でそれぞれ「重要である」と回答された方は、63.4%、57.3%、50.3%です。また、1～3年生と4～6年生では、1～3年生の方が各項目重要度が高い傾向にありますが、4～6年生では、「子育てを支える生活環境の整備」「子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備」「児童や子育て家庭へのきめ細やかな取組の推進」が1～3年生よりも重要度が若干高い項目です。

市の取組の重要度[%]

全体

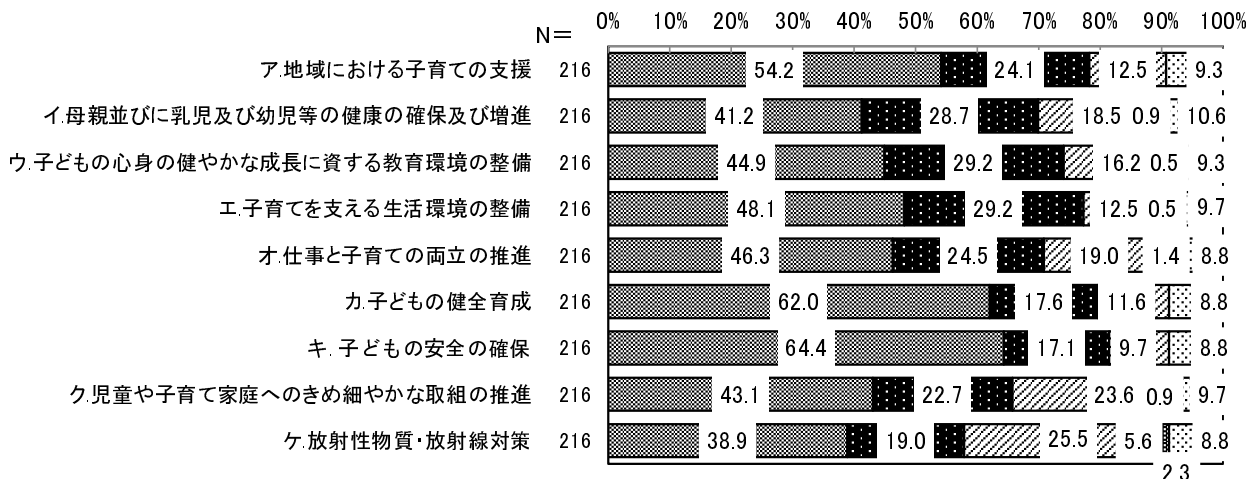
■重要である
 □どちらともいえない
 ■重要ではない
 ■どちらかといえば重要である
 ■どちらかといえば重要ではない
 □無回答



市の取組の重要度[%]

1～3年

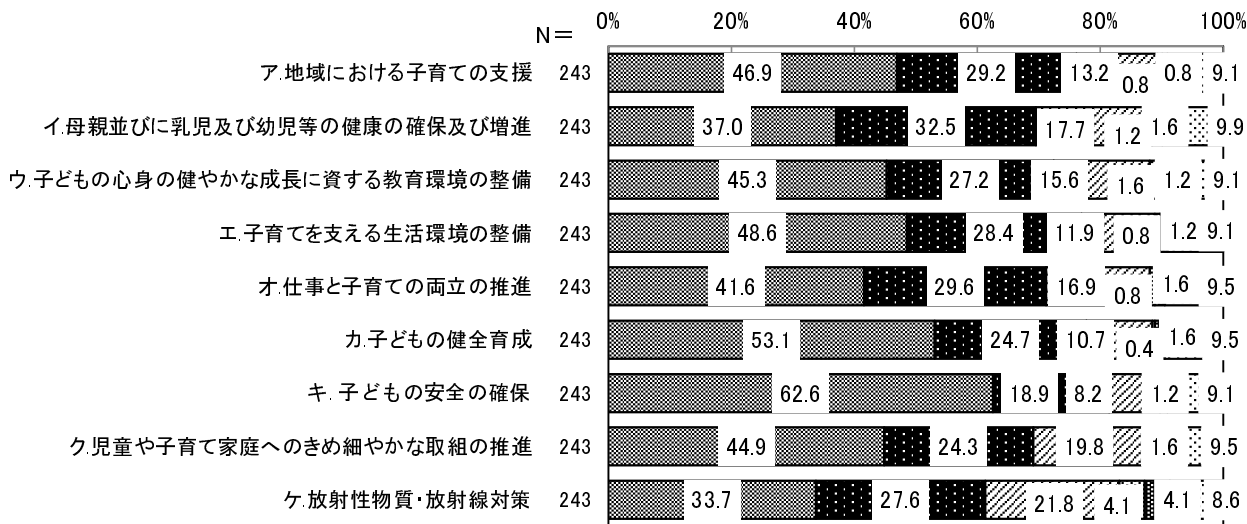
- 重要である
- どちらともいえない
- 重要ではない
- どちらかといえば重要である
- どちらかといえば重要ではない
- 無回答



市の取組の重要度[%]

4～6年生

- 重要である
- どちらともいえない
- 重要ではない
- どちらかといえば重要である
- どちらかといえば重要ではない
- 無回答



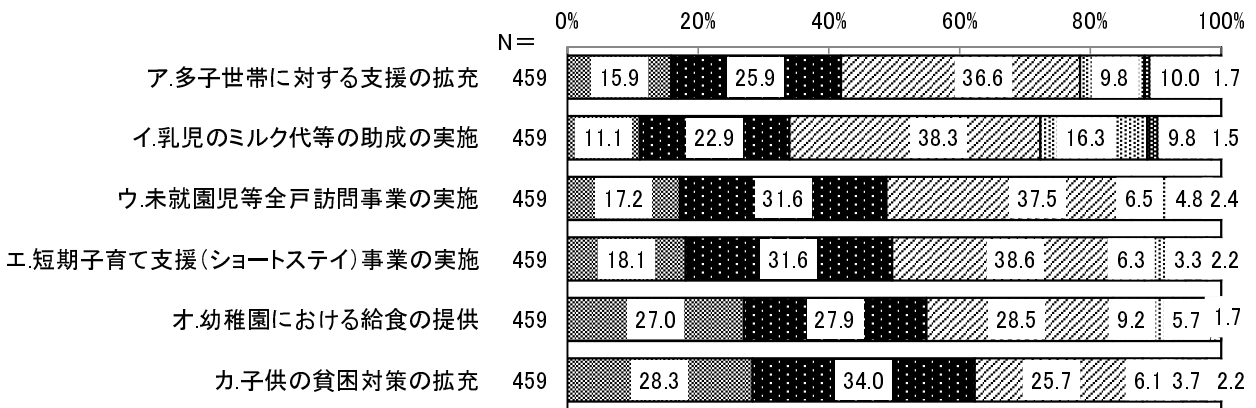
問 19 今後、市に優先的に取り組んで欲しい施策についてお答えください。(項目毎にあてはまる番号 1 つに○)

市で優先的に取り組んでほしい施策は、「子供の貧困対策の拡充」「幼稚園における給食の提供」が全体では高く、それぞれ「優先度が高いと思う」方の比率は、28.3%、27.0%となっています。また、1～3年生と4～6年生では同様の傾向ですが、1～3年生では「幼稚園における給食の提供」が7.4%、4～6年生では「子供の貧困対策の拡充」が10.0%他の学年区分より高くなっています。

市に優先的に取り組んで欲しい施策【%】

全体

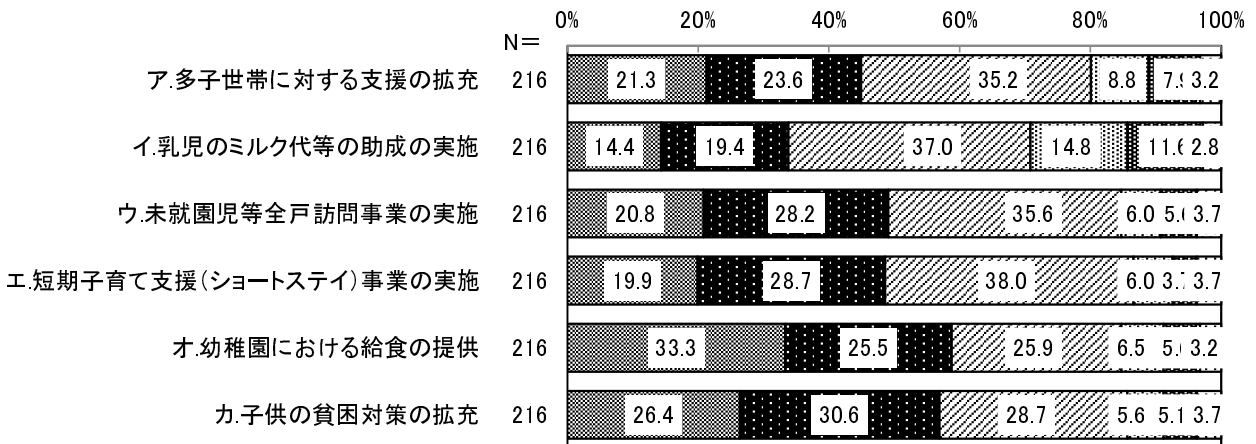
- 優先度が高いと思う
- どちらともいえない
- 優先度が低いと思う
- どちらかという高いと思う
- どちらかという低いと思う
- 無回答



市に優先的に取り組んで欲しい施策【%】

1～3年生

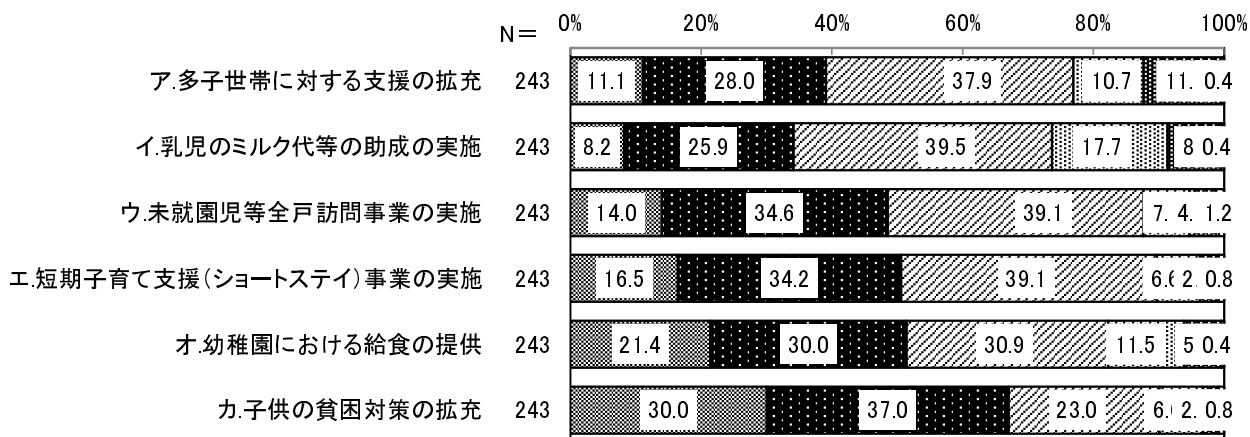
- 優先度が高いと思う
- どちらともいえない
- 優先度が低いと思う
- どちらかという高いと思う
- どちらかという低いと思う
- 無回答



市に優先的に取組んで欲しい施策【%】

4～6年生

- 優先度が高いと思う
- どちらかという高いと思う
- ▨ どちらともいえない
- ▨ どちらかという低いと思う
- 優先度が低いと思う
- 無回答



[自由記載]

問 20 市の子育て支援や環境づくりについてのご意見、ご要望をご自由にお書きください。

(2) 認可保育施設の開設及び利用定員の設定について

保育園名 託児所 びよびよ
 所在地 白河市金勝寺205番地25
 新規・変更の別 新規
 開設時期 平成31年4月(予定)
 運営者 酒井かおり
 新たな定員数 3人
 ※ 年齢別内訳 0歳 1名、1歳 1名
 2歳 1名

託児所 びよびよ の概要

No.	項目	内容
1	保育時間	平日：7時45分～18時00分 ※保育標準時間：10時間15分 保育短時間：8時間
2	休園日	土曜日、日曜日、祝日、夏期休所(8月13日から8月15日)、 年末年始(12月29日から1月3日まで)
3	設備基準	施設全体：128.92㎡ 主な内訳 保育室：20.29㎡ ※基準 0・1歳児 1人当たり3.3㎡ 2歳児 1人当たり1.98㎡
4	職員配置	保育士1名、調理員1名 ※配置基準 保育士1名当たり 0歳児：3名、1歳児：6名、 2歳児：6名
5	給食の提供	調理員を配置し、自園で調理し給食を提供する。
6	主体者の概要	酒井かおり
7	主体者の経験	平成21年9月より、託児所びよびよを経営 平成24年度より認可外保育施設として運営

場所

←栃木方面

国道四号線

郡山方面→

★金勝寺集会所

佐藤商店

片山商店

日産

県営住宅

県営住宅

★託児所
びよびよ

阿武隈川

金勝寺橋

阿武隈川

(3) 平成30年度実績値（見込み）について

3 子どもの数

(1) 就学前児童数の動きと計画期間の推計

【乳幼児年齢別推計数】

《見込み量》

(単位：人、4月1日現在)

	実績値						推計児童数	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
0歳	522	458	518	477	493	465	456	449
1歳	543	511	469	528	474	503	468	459
2歳	500	531	518	466	508	463	495	461
3歳	525	500	526	516	451	511	459	491
4歳	535	513	503	537	519	446	511	459
5歳	578	531	513	505	537	519	446	511
計	3,203	3,044	3,047	3,029	2,982	2,907	2,835	2,830

※住民基本台帳人口及びコーホート変化率法による推計値。

《実績値》

(単位：人、4月1日現在)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年 2/1現在
0歳	477	493	465	424	433
1歳	528	474	503	474	441
2歳	466	508	463	510	478
3歳	516	451	511	465	492
4歳	537	519	446	516	481
5歳	505	537	519	439	496
計	3,029	2,982	2,907	2,828	2,821

- ・平成31年2月1日現在、市内の0～5歳児数は2,821人となっています。
平成27年4月1日から208人減となっています。

4 教育・保育給付

(1) 特定教育・保育（施設型給付）

① 幼稚園

《見込み量》

（単位：人、4月1日現在）

	当初計画						中間年見直し			
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	1号	その他	1号	その他	1号	その他	1号	その他	1号	その他
利用者数	513	642	492	615	462	578	651	391	643	424
合 計	1,155		1,107		1,040		1,042		1,067	

《実績値》

（単位：人、4月1日現在）

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	1号	その他	1号	その他	1号	その他	1号	その他	1号	その他
利用者数	784	366	744	369	683	387	661	384		
合 計	1,150		1,113		1,070		1,045			

※「1号」は新制度に移行済みの幼稚園の利用者数、「その他」は新制度に移行していない幼稚園の利用者数を示しております。

② 保育園

《見込み量》

(単位：人(認定者数)、4月1日現在)

		当初計画						中間年見直し			
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
		3号	2号	3号	2号	3号	2号	3号	2号	3号	2号
認定者数	0歳児	68	335	68	321	68	302	151	443	148	427
	1・2歳児	384		385		384		473		452	
合 計		787		774		754		1,067		1,027	

《実績値》

(単位：人(認定者数)、4月1日現在)

		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
		3号	2号	3号	2号	3号	2号	3号	2号	3号	2号
認定者数	0歳児	148	430	191	427	160	436	179	435		
	1・2歳児	407		438		474		469			
合 計		985		1,056		1,070		1,083			

※実績値は、待機児童数を含んだ数です。

※「3号」、「2号」の意味は次のとおりです。

3号： 満3歳未満で保育の必要性があると認定された子ども

2号： 満3歳以上で保育の必要性の認定を受けた就学前の子ども

- ・待機児童数については、平成30年10月1日現在で、39名となっており、平成29年10月1日時点と比較し、29名減となっています。

5 地域子ども・子育て支援事業

(1) 利用者支援事業

《見込み量》

(単位：箇所)

	当初計画			中間年見直し	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
箇所数	1	1	2	1	1

《実績値》

(単位：箇所)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
箇所数	1	1	1	1	

(2) 地域子育て支援拠点事業

《見込み量》

(単位：人(年間延べ利用人数))

	中間年見直し				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
延べ利用人数	15,864	15,972	15,312	14,928	14,532

《実績値》

(単位：人(年間延べ利用人数))

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (12月末現在)	平成31年度
延べ利用人数	12,459	16,196	14,232	11,340	

(3) 妊産婦健康診査事業

《見込み量》

(単位：人・回)

	中間年見直し				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
妊娠届出者	461	460	460	456	449
受診回数	6,915	6,900	6,900	6,840	6,735

《実績値》

(単位：人・回)

実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (1月末現在)	平成31年度
妊娠届出者	483	481	423	338	
受診回数	6,067	6,083	5,487	3,925	

(4) 乳児家庭全戸訪問（こんにちは赤ちゃん訪問）事業

《見込み量》

(単位：人)

	当初計画				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
訪問人数	461	460	460	456	449

《実績値》

(単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (1月末現在)	平成31年度
訪問人数	480	469	434	330	

(5) 養育支援訪問事業

《見込み量》

(単位：回)

	中間年見直し				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
訪問回数	50	50	50	50	50

《実績値》

(単位：回)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (1月末現在)	平成31年度
訪問回数	12	30	37	19	

(6) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

《見込み量》

(単位：人 (年間延べ利用人数))

	当初計画			中間年見直し	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
延べ利用人数	8	7	7	7	7

《実績値》

(単位：人 (年間延べ利用人数))

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
延べ利用人数	0	0	0	0	

(7) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

《見込み量》

（単位：人（年間延べ利用人数））

	中間年見直し				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
乳幼児	344	270	330	295	289
小1～小3	196	185	183	130	125
小4～小6	0	0	0	50	48
合計	540	455	513	475	462

《実績値》

（単位：人（年間延べ利用人数））

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (12月末現在)	平成31年度
乳幼児	368	275	289	452	
小1～小3	172	126	174	88	
小4～小6	0	54	39	108	
合計	540	455	502	648	

(8) 一時預かり事業

① 幼稚園・認定こども園（在園児対象型）

《見込み量》

（単位：人（年間延べ利用人数））

	中間年見直し				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
延べ利用人数	12,715	12,486	12,526	46,180	44,830

《実績値》

（単位：人（年間延べ利用人数））

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (12月末現在)	平成31年度
延べ利用人数	50,255	47,065	52,284	34,548	

② 保育園・認定こども園（幼稚園在園児対象型以外）

《見込み量》

（単位：人（年間延べ利用人数））

	当初計画			中間年見直し	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
合計	4,422	4,328	4,189	3,085	3,307

《実績値》

（単位：人（年間延べ利用人数））

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (12月末現在)	平成31年度
保育園等	2,467	2,672	2,509	1,734	
おひさま広場	38	84	76	61	
ファミサポ	18	36	19	13	
合計	2,523	2,792	2,604	1,808	

(9) 時間外(延長)保育事業

《見込み量》

(単位:人)

	当初計画			中間年見直し	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
利用人数	102	100	97	55	55

《実績値》

(単位:人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
利用人数	58	53	54		

(10) 病児・病後児保育事業

《見込み量》

(単位:人 (年間延べ利用人数))

	当初計画			中間年見直し	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
延べ利用人数	992	971	939	633	632

《実績値》

(単位:人 (年間延べ利用人数))

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
延べ利用人数	0	0	0	0	

(11) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ、放課後子ども教室）

《見込み量》

(単位：人、5月1日現在)

	当初計画						中間年見直し			
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年
登録者数	611	195	576	188	571	179	750	341	734	379
合計	806		764		750		1,091		1,113	

《実績値》

(単位：人、5月1日現在)

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年
登録者数	667	212	698	217	706	175	720	265		
合計	879		915		881		985			

(4) 平成31年度会議計画について

○第1回会議

ア 開催時期 平成31年5月頃

イ 内 容

- ・委嘱状交付 ※変更者のみ
- ・平成30年度ニーズ調査について
- ・第2期子ども・子育て計画の策定について

○第2回会議

ア 開催時期 平成31年7月頃

イ 内 容

- ・白河市子ども・子育て計画の進行管理について
- ・第2期子ども・子育て計画骨子案(第1～2章)について
※計画策定の目的、位置付け、本市の現状と課題など。

○第3回会議

ア 開催時期 平成31年9月頃

イ 内 容

- ・子ども・子育て計画骨子案(第3～4章)について
※基本理念・基本目標、基本施策の見直しなど。

○第4回会議

ア 開催時期 平成31年11月頃

イ 内 容

- ・子ども・子育て計画骨子案(第5章)について
※量の見込み・供給量の算出など。
- ・パブリックコメントの実施について

○第5回会議

ア 開催時期 平成32年1月頃

イ 内 容

- ・パブリックコメントの結果について
- ・子ども・子育て計画(案)について ※提示

○第6回会議

ア 開催時期 平成32年3月頃

イ 内 容

- ・子ども・子育て計画の策定について ※最終確認・報告
- ・平成31年度実績値(見込み)について
- ・教育・保育施設の利用状況について
- ・平成32年度会議計画について

病気のお子さんをお預かりします

～ 病児保育室のご案内 ～



しらかわ病児保育室

お子さんが風邪や胃腸炎などで保育園等を利用できない時、仕事を休めない保護者に代わって病児保育室の看護師・保育士がお子さんの体調を見守ります。

**白河厚生総合病院 敷地内に
平成31年4月1日（月）午前8時から開設**

対象児童

満1歳から小学6年生までの児童

※ 白河市・西郷村・泉崎村・中島村・矢吹町に住所を有し、病気中の児童で、保護者の勤務の都合などで家庭での保育が困難な場合に限りです

保育時間

平日 午前8時から午後6時まで

※ 土日祝日・年末年始はお休みです。
延長保育はありません

利用定員

6名

※ 当日の利用人数によっては
利用をお断りする場合があります



利用料金

1人につき日額2,000円

※ お帰りの時にお支払い下さい
※ 生活保護世帯または市町村民税非課税世帯の場合は無料です

利用登録

利用にあたっては事前に登録が必要です

※ お住まいの市役所・町村役場またはしらかわ病児保育室へお問い合わせください。利用の可能性のある方は前もっての利用登録をお勧めします

詳しくは裏面をご覧ください

～ 病児保育室のご案内 ～

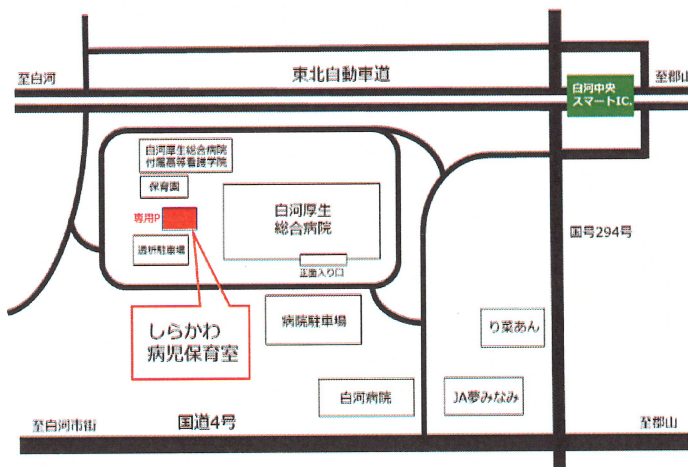
利用手続

- ① しらかわ病児保育室へ空き情報を確認のうえ、前日午後6時まで利用予約をしてください。定員に空きがあれば当日のご予約も可能です（予約をしても、利用当日にお子さんの症状が悪化している時などは、お預かりできない場合があります）
- ② かかりつけ医の診察を受けて「医師連絡票」を受領してください
※診察の際、病児保育室を利用する旨をお伝えください
- ③ 利用申込書にご記入いただき、医師連絡票と一緒に提出してください
- ④ 事業所規約がありますので、ご参照いただき承諾のうえご利用となります

ご持参いただく物

- 医療費受給資格者証・保険証
 - 母子健康手帳
 - 薬（主治医から処方された場合）・薬の説明書
 - お弁当・おやつ（体調に合わせてご持参ください）
 - スプーン、フォーク、はし、食事用エプロン
 - その他育児用品
哺乳ビン（必要な方のみ）、ミルク、飲み物
オムツ（紙パンツ）※足りないときは有料（1枚30円）でお出しします
バスタオル、フェイスタオル、洋服の着替え（1日分）
下着（2～3枚）、ビニール袋（汚物入れ）2枚、おしり拭き
お子さんが好きなおもちゃ等
- ※持ち物には必ず名前を記入し、1つの袋にまとめてお持ちいただきますようお願いいたします

【案内図】



※白河厚生総合病院の西側にあります

問い合わせ 予約の申し込み

しらかわ病児保育室

TEL/FAX:

0248-21-5833

住所：白河市豊地上弥次郎2-1

見学は随時受付けております。
お気軽にお問合せください